

会社要覧
2023





CONTENTS

トップメッセージ	2
役員および執行役員一覧	2
■Pick Up	
池袋駅・豊島園駅リニューアル	3・4
西武線アプリ・Smooz・ポイントサービス	5~8
無線式列車制御(CBTC)システム実証実験	9

■ 会社概要

■目指しているもの	
グループビジョン	11
西武鉄道の役割	12
■会社の紹介	
会社のあらまし	13
業績	14
路線図	15・16
業務組織	17・18
コンプライアンスに関する取り組み	19・20
人財を育成する仕組み	21・22
お客さまの声の活用	23

■ 事業紹介

■安全・安定輸送の提供	
安全に関する取り組み	25・26
お客さまの安全を守る設備	27~32
列車の安全を支える設備	33~39
連続立体交差事業	40
駅舎改良とバリアフリー推進	41~45
設備投資	46
■質の高いサービスの提供	
ニーズに合わせたダイヤ	47・48
サービスに関する設備	49・50
サービス向上への取り組み	51~54
沿線価値の創造	55~60
地球環境への配慮	61~66

■ データ集

業績データ	67・68
輸送データ	69~74
車両紹介	75~80
主要諸元	81・82
駅一覧	83~85
駅名の変遷	86
沿革図	87
年譜	88~94
主な沿線施設	95~97
西武線沿線施設マップ	98~100

お客さま・地域の皆さまとの
コミュニケーションを通じ、
沿線の新しい価値を創造し続けていきます。



西武鉄道株式会社 代表取締役社長 小川 周一郎

2023年6月に代表取締役社長に就任いたしました、小川周一郎でございます。

私たちは、これまで地域の皆さまとともに歩みながら「安全」「安心」を基本に、すべての事業・サービスを提供してまいりました。これから先も変わることなく、この基本を守り続けていきます。昨年、創立110周年という大きな節目を迎えることができましたが、これもひとえに日々鉄道をご利用いただいているお客さま、沿線地域にお住まいの方々をはじめとする、さまざまなステークホルダーの皆さまの支えによるものであり、当社へのご愛顧に対し、あらためて感謝申し上げます。

西武グループでは、2021年度に策定した「西武グループ中期経営計画」に基づき、アフターコロナの社会における「最良、最強の生活応援企業グループ」を目指し、「経営改革」「デジタル経営」「サステナビリティ」を重点テーマとした取り組みを進めております。本年4月には、鉄道事業に特化し、その運営機能と沿線価値創造機能の専門性を高めることで、沿線価値を創造し、より質の高いサービスの提供に注力できる組織体制に移行しました。また、環境への配慮や持続可能な経営を意識した事業運営に取り組むほか、従業員一人ひとりが働きがいを実感できるよう、従業員エンゲージメントの向上にも努めてまいります。

私たちは、これからも変わらず「安全」「安心」を最優先としたサービスを提供し続けるとともに、沿線地域や企業の皆さまとの連携を通じて、新しい経験・新しい知識・新しい技術を積極的に取り入れ、魅力あふれる沿線を目指してまいります。

引き続き、皆さまのご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 役員および執行役員一覧

取締役会長	後藤	高志
代表取締役社長 社長執行役員	小川	周一郎
取締役 常務執行役員	藤井	高明
取締役 常務執行役員	山崎	公之
常勤監査役	上野	彰久
監査役	深澤	勲
常務執行役員	町田	明

常務執行役員	鈴木	昌勝
常務執行役員	石崎	仁志
常務執行役員	川上	清人
常務執行役員	内野	誠
常務執行役員	富田	恭史
執行役員	四十崎	裕
執行役員	福岡	昌幸

2024年4月1日現在

Pick Up

池袋駅・豊島園駅 リニューアル

This Way to a Wonderful World of Fantasy

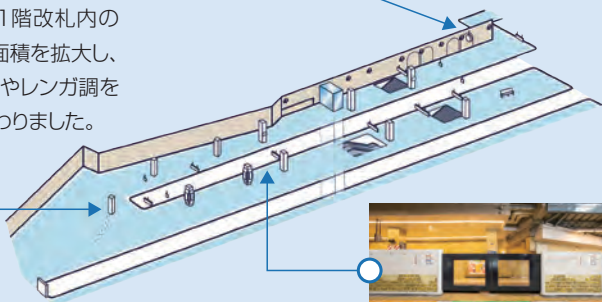
～ ファンタジーの世界へつづく道 ～



池袋駅

スタジオツアー東京への玄関口

池袋駅は、英国・ロンドンの「キングス・クロス駅」をイメージしたデザインにリニューアルしました。豊島園行きが主に発着する1・2番ホームの壁面をレンガ調に、駅サインもネイビーを基調に改修しました。随所に魔法使いやフクロウのイラストを施し、フィルム・メイキング(映画制作)の魅力を堪能できるスタジオツアー東京への玄関口として、お客さまをお迎えします。また、池袋駅1階改札内の駅ナカ・コンビニ「トモニ」も店舗面積を拡大し、外観・内装にブリティッシュグリーンやレンガ調を施し、英国風のデザインに生まれ変わりました。



池袋駅と豊島園駅が魔法の駅になるまで
池袋駅と豊島園駅リニューアルの様子、スタジオツアー東京 エクスプレスのラッピング風景を動画にしました。いったいどんな魔法がかかっているのでしょうか…?



としまえんの跡地に

「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京 - メイキング・オブ・ハリー・ポッター」が
開業するにあたり、スタジオツアー東京への玄関口となる

池袋駅と最寄り駅の豊島園駅を

お客様の期待感を高める空間にリニューアルしました。

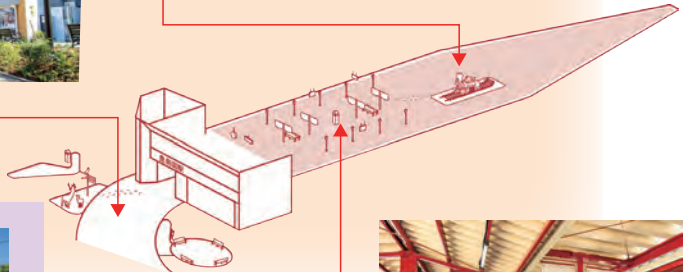


豊島園駅

スタジオツアー東京の最寄り駅

豊島園駅の新駅舎は「イマジネーションが日常に溶け込む駅」をコンセプトに、日常と非日常空間をつなぐゲートをイメージしたシンプルなデザインに、魔法の世界を感じられる仕掛けをプラスした駅舎となり、豊島園駅ホーム上は、柱や駅名標、自動販売機など、ホグワーツ魔法魔術学校へとつづく「ホグズミード駅」を彷彿させる赤を基調とした意匠です。

また2020年8月に閉園した「としまえん」のレガシーとして、模型列車や電話ボックスオブジェ、ベンチなどを、新たなコンセプトにあわせてリメイクして展示しています。駅名標には「スタジオツアー東京」のロゴを掲載しました。



Pick Up

シームレスな移動と 快適な暮らしのために

西武線アプリ

運行情報をリアルタイムに通知!

「手のひらステーション」というコンセプトから生まれた、公式スマートフォンアプリ「西武線アプリ」を無料配信しています。

電車や西武バスの運行情報から、イベント情報までいろいろな情報をタイムリーにお届けする便利なアプリです。



機能のご紹介

最寄駅を「マイ駅」に登録

「マイ駅」としてご自宅やお勤め先の最寄駅などを登録可能です。
(最大10駅)

電車の発車案内

現在時刻の発車案内を表示しています。車種も一目で分かります。
※一部路線や状況により車種が表示されない場合があります。

2022年12月にチケットレスサービス「Smooz」の特急券・指定券をアプリ内で購入できるようになりました。

●その他の機能

- バスの現在位置情報が分かる
西武バスの現在位置情報や混雑情報を配信しています。
- 運行情報をすぐお知らせ
プッシュ通知で運行情報をお知らせします。詳細を路線図方式でご覧いただけます
- イベント情報やクーポンも配信
アプリを通じて各種イベントへの参加やクーポンの取得ができます。
- 多言語対応
英語・中国語(繁体字・簡体字)・韓国語に対応!



電車の走行位置をリアルタイムでチェック

アイコン表示により全線の列車走行位置を確認可能です。人気のラッピング列車も簡単に見つかります。

列車位置情報画面



乗車ポイントの確認

各キャンペーンのエントリー状況やリピートプラスであと何回乗車すると進呈率がアップするか確認できます。

お子さま向け会員サービス「西武鉄道キッズクラブ」

年少児から小学生までのお子さまが「西武線アプリ」に会員登録することで入会できるサービスです。(入会費・年会費無料) 入会時や記念日などにグッズのプレゼントを行うほか、会員限定のイベント・キャンペーンの開催や対象施設での特典や優待など、お子さまとご家族にさまざまな特典を提供いたします。



当社では新しい生活様式に合わせ
お客さまにシームレスな移動や暮らしを提供できるよう
便利なアプリ、チケットレスサービス、ポイントサービスなど
さまざまな施策に取り組んでいます。



チケットレスサービス「Smooz」

ネットで購入、チケットレスで乗車

Web上で特急券・指定券を購入することができ、駅の窓口や券売機で引き換えることなくチケットレスで特急電車・座席指定列車をご利用いただけるサービスです。

2022年12月にフルリニューアルを行い、新機能を搭載してますます便利になりました。現在、会員登録数は10万人を突破し、多くのお客さまからご好評いただいています。

新しくなった機能

①ご利用シーンに合わせた使い方が可能に!

利用頻度が高い方はおトクがいっぱいの会員サービスを。お出かけなどの際には、会員登録をしなくてもご利用可能です!



②決済手段が選べます

決済はクレジットカードのほか、PayPayもご利用いただけます。また、会員登録するとSEIBU Smile POINTとの引き換えも可能に!



③会員登録で、もっと便利に!さらにお得に!

Smoozの会員登録を行うと、西武線アプリからも特急券・指定券が購入できるようになります。また、SEIBU PRINCE CLUBに自動的に連携し、SEIBU PRINCE CLUBの会員サービスがご利用いただけます。さらに、Smoozで特急券・指定券を購入するとSEIBU Smile POINTが貯まり、西武プリンスクラブ加盟店でのお買い物などに使えます。



シームレスな移動と快適な暮らしのために

乗車ポイントサービス

いろいろな乗り方でポイントが貯まる

SEIBU PRINCE CLUBに登録(スマイルリンク)したPASMOを使い、特定の条件で西武線にご乗車いただくと「SEIBU Smile POINT」が貯まる、2022年7月より開始したポイントサービスです。



いろいろな乗り方でポイントが貯まります



平日朝、特に混雑する区間のピーク時間帯のご利用を前後にシフトすることによる混雑緩和を目的に、PASMO定期券(通勤・大人)でのオフピーク乗車を対象にポイントを進呈するキャンペーンです。



沿線の観光地やイベント等へおでかけの際に特定の条件の乗車でポイントを進呈するキャンペーンです。おでかけ需要を創出するとともに、対象時間帯を設定することで混雑緩和にもつながります。



2023年4月よりサービス開始!

西武線の同一運賃区間を同一月内に複数回ご乗車いただくと、ご利用金額に対して、ご利用回数に応じた進呈率のポイントを進呈するキャンペーンです。モバイル対応のPASMOを利用すると、さらにポイントが貯まります。

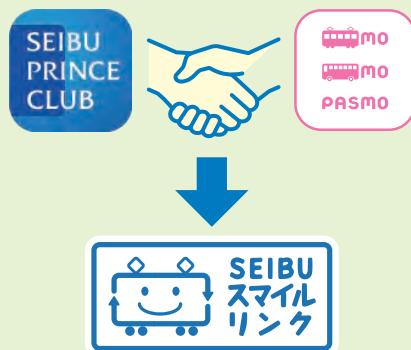
スマイルリンク

PASMOを活用したポイントシステム

PASMOとSEIBU PRINCE CLUBをリンク（紐付け登録）させると、駅ナカ・コンビニ「トモニー」や自動販売機、西武スマイルパークなど、対象施設でのPASMO利用でSEIBU Smile POINTが貯まるサービスです。

※PASMOは株式会社バスモの登録商標です。

SEIBU PRINCE CLUBとPASMOを紐付ける



SEIBU PRINCE CLUB

西武グループの会員サービス



SEIBU PRINCE CLUBは、さまざまなシーンで西武グループの特典を利用できるほか、対象加盟店でSEIBU Smile POINTを貯めたり、1ポイント=1円で使えたりすることができます。公式アプリならクレジットカード決済もご利用でき、クーポンやキャンペーンを始めとした、アプリならではのうれしい特典もたくさんあります。さらに、当社発行の定期券を「SEIBU PRINCE CLUB セゾン」で購入するとSEIBU Smile POINTと永久不滅ポイントがダブルで貯まります。



無線式列車制御(CBTC)システム 実証実験

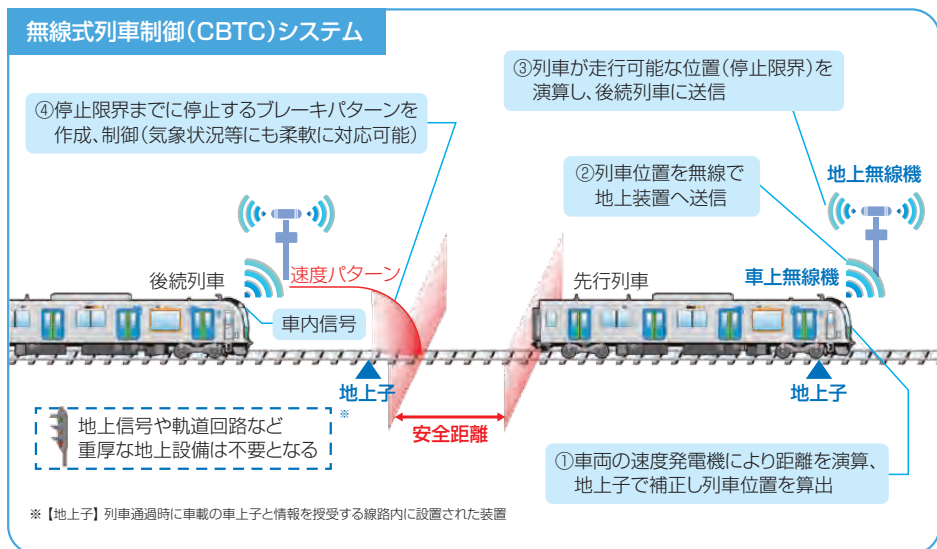
2023年1月より多摩川線において、無線式列車制御(Communications-Based Train Control・CBTC)システムの実証試験を準備しています。

CBTCシステムとは、無線技術を活用して列車の位置と速度を常時把握し、列車間の安全な距離を確保するように速度を制御する次世代の信号保安装置です。

今回の実証試験は列車情報装置(列車種別を認識して踏切の鳴動時間を適正化する装置)の機能を拡張した「西武式CBTCシステム」として、効率的なCBTCシステムの実現を検証します。検証結果と鉄道各社の動向を踏まえ、次世代信号システムの方式を決定し、2030年代に全線での導入を目指します。

【次世代信号システムに期待する効果】

- ヒューマンエラーを事前に回避し、安全輸送のさらなる向上に寄与します。
- 省設備化による維持コストの削減と信頼性の高いシステム構成による故障リスクの低減により、スマートかつ安定的な鉄道運営に寄与します。
- 自動運転など将来の技術革新の基盤となります。



会社概要

■目指しているもの	
グループビジョン	11
西武鉄道の役割	12
■会社の紹介	
会社のあらまし	13
業績	14
路線図	15・16
業務組織	17・18
コンプライアンスに関する取り組み	19・20
人財を育成する仕組み	21・22
お客さまの声の活用	23

グループビジョン

私たちはグループビジョンを実践し、お客さまに「行動」と「感動」を提供します。

グループ理念

私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、安全で快適なサービスを提供します。
また、お客さまの新たな感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。

グループ宣言

私たちは、「お客さまの行動と感動を創りだす」サービスのプロフェッショナルをめざします。

1. 誠実であること

常に、「安全」を基本にすべての事業・サービスを推進します。
常に、オープンで、フェアな心を持って行動します。
常に、お客さまの声、地域の声を大切にします。

2. 共に歩むこと

常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。
常に、地域社会の一員として行動します。
常に、グループ内外と積極的に連携を図ります。

3. 挑戦すること

常に、グローバルな視点を持って行動します。
常に、時代を先取りする新しいサービスを提案します。
常に、お客さまの生活に新しい感動を提供します。

スローガン

でかける人を、ほほえむ人へ。

◎ グループスローガンロゴ

西武グループのブランドを創りあげていくために、私たちの姿勢をビジュアルとして明確にしたものが、このロゴです。未来へと向かって革新的なサービスを生みだす「西武グループのたゆまぬ挑戦」を表現するもの。そして、爽やかなSeibu Group Blueとそのグラデーションは、常に変化していく私たちの革新性・先進性を象徴しています。このロゴは、グループ全社をひとつにまとめ、西武グループのブランドの価値を一目でお客さまに伝える役割を果たします。

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。

西武鉄道の役割

グループの広がり

■ 西武グループの事業

西武グループの事業は、お客さまの“行動”と“感動”を創り出す「都市交通・沿線事業」「ホテル・レジャー事業」「不動産事業」および「その他」の4つのセグメントで構成されています。

グループビジョンのスローガンである「でかける人を、ほほえむ人へ。」のもと「最良、最強の生活応援企業グループ」の実現に向けて、グループ企業間におけるシナジーを最大限に追求しながら各事業を推進し、成長を続けています。

[グループ事業概念図]



■ 西武鉄道の事業

西武グループの成長の安定的基盤としてその中核を担う西武鉄道は、東京・埼玉エリアにおいて通勤・通学・観光など、お客さまの生活に欠かせない公共交通機関として事業を展開しています。

その社会的使命である「安全・安心」を基本に、新宿線連続立体交差事業、ホームドアの設置を進めるほか、新型車両の導入や、変化するお客さまのニーズに合わせた特急電車・座席指定列車の増発など、利便性の向上や快適なサービスの提供に努めています。

鉄道事業

池袋線・新宿線のふたつの幹線を中心とした176.6kmの路線を有し、2022年度は1日153万人のお客さまにご利用いただきました。変化するニーズに柔軟に対応した、お客さま本位の質の高いサービスのご提供と、デジタル技術などを活用した安全性のさらなる向上により、快適で安定した交通ネットワークをご提供します。

沿線価値創造機能

沿線にお住まいの方々には魅力を再発見していただき、沿線外の方々には何度も当社線をご利用いただけるように、沿線の活性化に努めています。沿線自治体や地域社会と連携しながら新規事業の創出やイベント開催を行い、西武線沿線の魅力をさらに高めていきます。

会社のあらまし

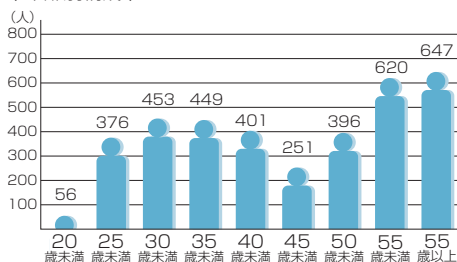
会社のあらまし

- **社名**
西武鉄道株式会社
SEIBU RAILWAY Co., Ltd.
- **設立**
1912年(明治45年)5月7日
- **本店所在地**
東京都豊島区南池袋一丁目16番15号
- **本社所在地**
埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1
- **資本金**
21,665,232,000円
- **事業内容**
鉄道事業

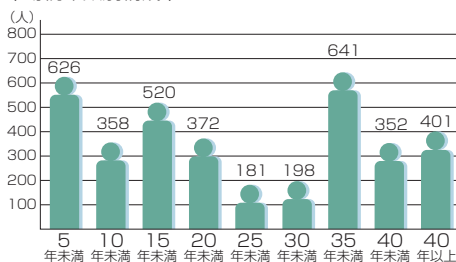
- **従業員数**
3,650人(2022年度末)
- **売上高**
1,270億円(2022年度)
- **旅客営業キロ**
176.6km(2022年度末)
- **駅数**
92駅(旅客駅のみ)
- **在籍車両数**
1,227両(2022年度末)
- **輸送人員**
153万人(2022年度1日平均)
- **運輸収入**
2億33百万円(2022年度1日平均)

従業員の状況 ※派遣社員を除く

〈年齢別構成〉



〈勤続年数別構成〉



平均年齢	41.2歳	平均勤続年数	20.8年	男女比率	男 92.0% : 女 8.0%
------	-------	--------	-------	------	------------------

SYMBOL & COLOR

◎ コーポレートロゴ



社名左側のシンボルマークは、西武グループの「西」の文字がモチーフ。2つの輪は、人と人、地域と地域、都市と自然など、鉄道によって、さまざまなものが出会い、交わり、つながる姿を表しています。マーク全体が果実のように見えるデザインは、その交流によって生まれる「実り」「地域・社会の発展」を表しています。

◎ ブランドカラー



「Seibu Blue」には「信頼感」「安心感」、「Seibu Light Blue」と「Seibu Green」の2色には、人の暮らしや環境と共生していきたいという想いが込められています。

2022年度業績の概況(単体)

2022年度の営業収益(売上高)は1,270億円(前期比8.0%増)で、経常利益は56億円(前期比236.6%増)、当期純利益は75億円となりました。

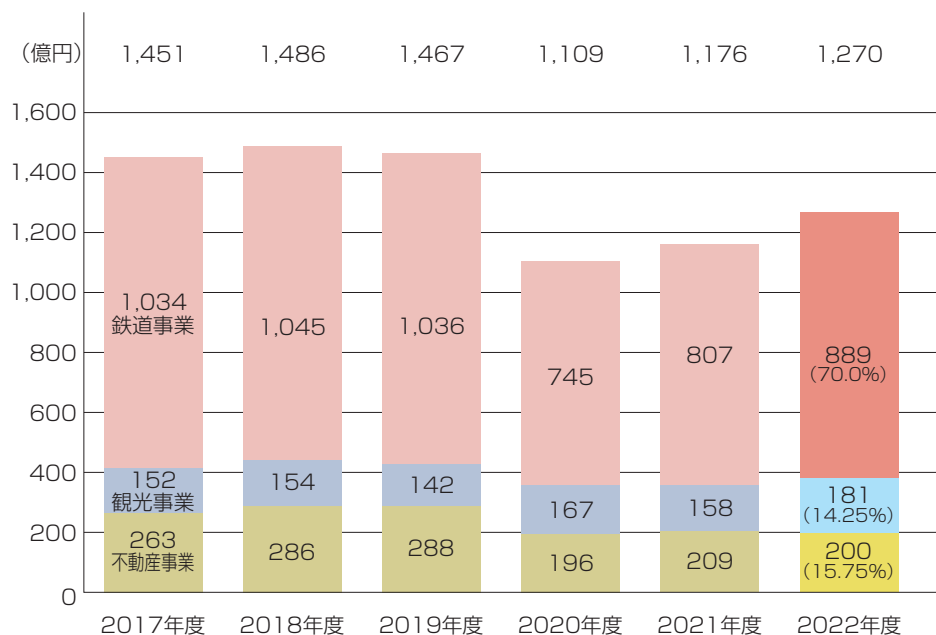
鉄道事業

当期の鉄道事業の営業収益は889億56百万円(前期比10.1%増)、営業利益は50億93百万円(前年度実績▲2億92百万円)となりました。また、輸送人員は、定期旅客が3億35百万人(前期比7.4%増)、定期・定期外合計で5億59百万人(前期比10.0%増)となりました。

沿線観光事業・不動産事業

当期の沿線観光事業の営業収益は181億2百万円(前期比13.9%増)、営業利益は▲31億82百万円(前年度実績▲43億円)、不動産事業の営業収益は200億21百万円(前期比4.5%減)、営業利益は59億36百万円(前期比14.3%減)となりました。この結果、沿線観光事業・不動産事業の営業収益は381億24百万円(前期比3.4%増)、営業利益は27億53百万円(前期比4.8%増)となりました。

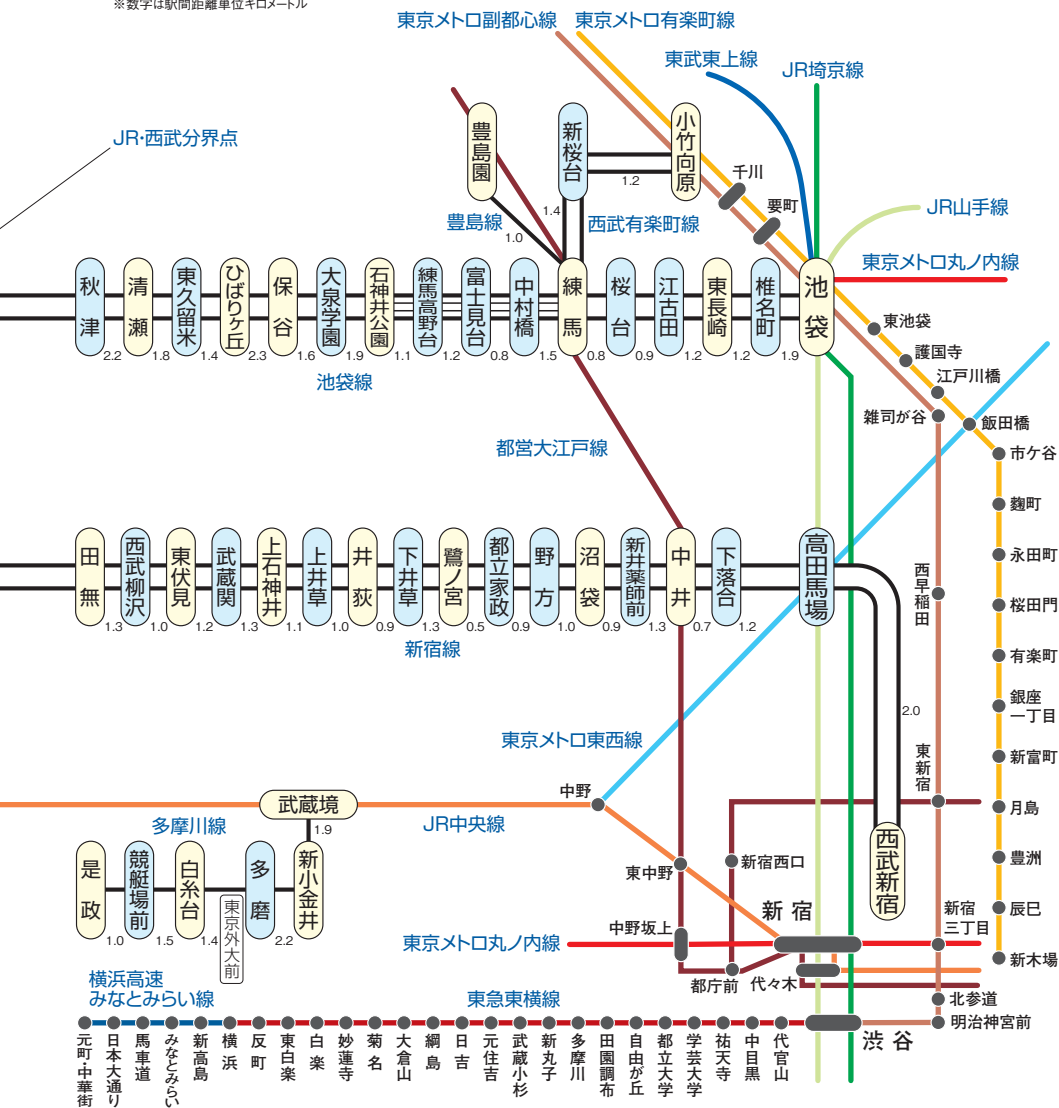
■最近6年間の営業収益(売上高)の推移 (億円未満切り捨て表示)



■線別営業キロ

線名	区間	営業(km)	線名	区間	営業(km)
池袋線	池袋～吾野	57.8	新宿線	西武新宿～本川越	47.5
西武秩父線	吾野～西武秩父	19.0	西武園線	東村山～西武園	2.4
西武有楽町線	練馬～小竹向原	2.6	国分寺線	国分寺～東村山	7.8
豊島線	練馬～豊島園	1.0	小牟平線	小牟平～拝島	14.3
狭山線	西所沢～西武球場前	4.2	多摩湖線	国分寺～多摩湖	9.2
山口線	多摩湖～西武球場前	2.8	多摩川線	武蔵境～是政	8.0
				合計	176.6

- 停車場 (57カ所)
 - 停留場 (35カ所)
 - 信号場 (9カ所)
 - 貨物会社・西武分界点 (1カ所)
 - 複々線
 - 複線
 - 三線
 - 単線
- ※数字は駅間距離単位キロメートル

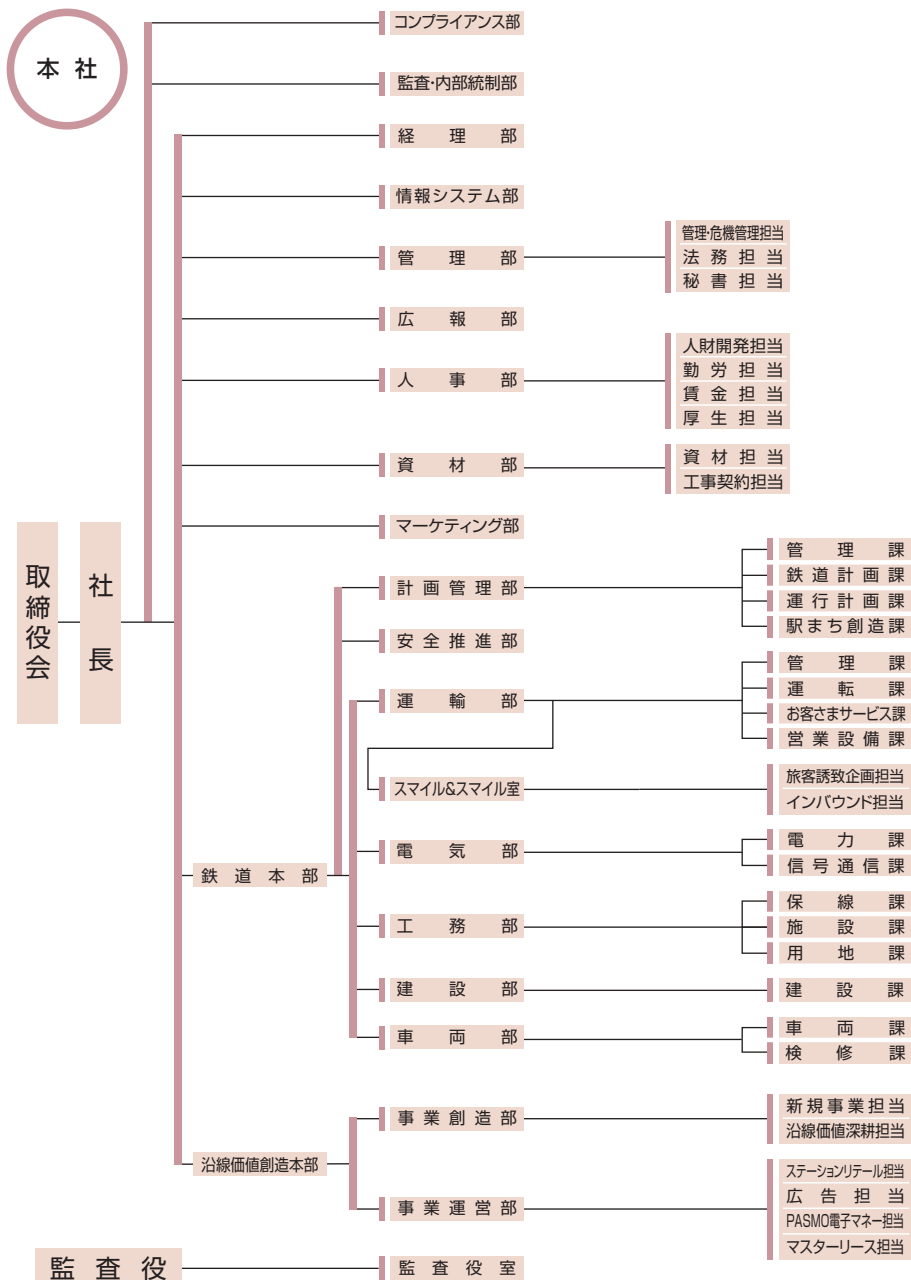




業務組織

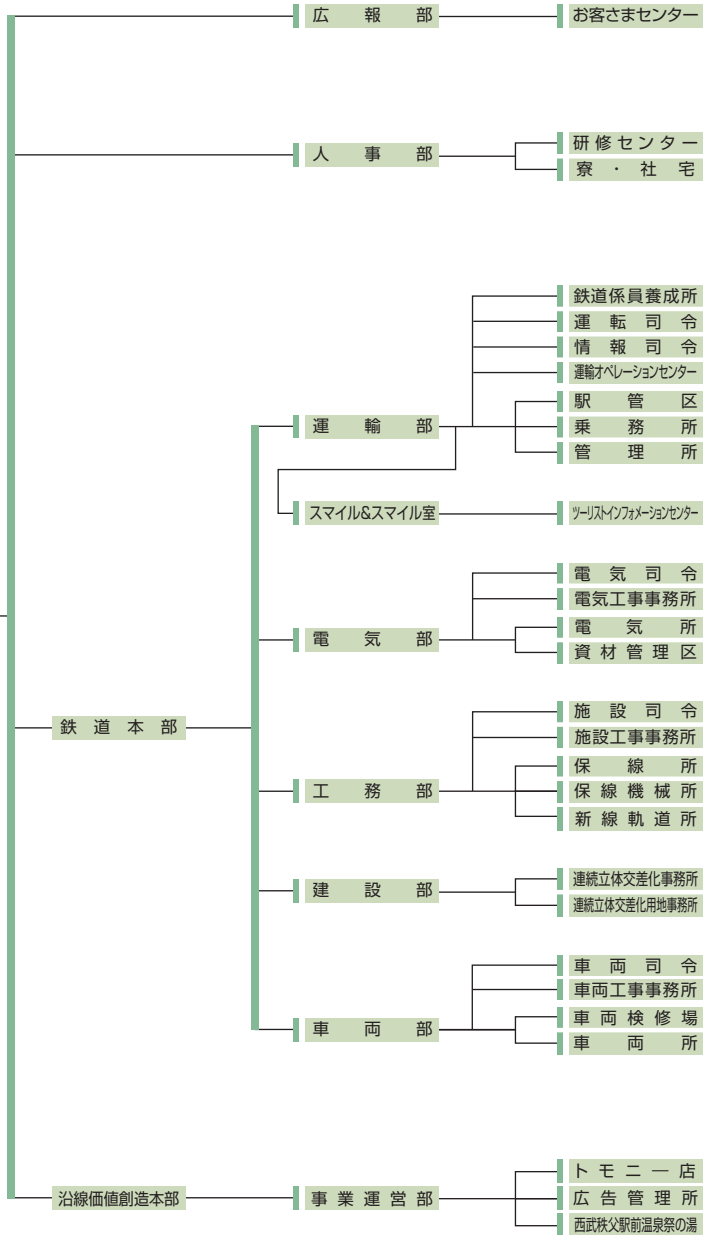
※2023年4月1日現在

会社概要



現業事務所

取締役会
社長



コンプライアンスに関する取り組み

グループビジョンに基づいたコンプライアンスを実践しています。

コンプライアンス体制の確立を目指して

西武グループでは、西武ホールディングスを中心とするグループ全体のコンプライアンス体制の確立を目指しています。そのために西武ホールディングスでは、次の項目を実施しています。

1. コンプライアンスに関する基本方針の決定
2. グループ各社への支援・助言
3. グループ各社のコンプライアンスに関する情報の一元管理
4. グループ各社の重要な案件について
問題解決・再発防止の検討

なお、すべての役員および社員に「西武グループ企業倫理規範」「西武グループ行動指針」が記された西武グループ共通の「コンプライアンスカード」を配付し、「コンプライアンスマニュアル」を社内ポータルサイトで閲覧できるようにしています。

西武グループ企業倫理規範

西武グループのコンプライアンスに関して、最も基本的な統一ルールとなるのが「西武グループ企業倫理規範」です。西武グループが社会の一員として責任を果たし、信頼される企業グループとなるために、常に心掛けるべき項目がまとめられています。また、「西武グループ人権方針」を定め、人権尊重の取り組みを推進しています。

コンプライアンス委員会

グループ全体でのコンプライアンス意識の統一と体制強化を目指し、西武ホールディングスには西武グループ企業倫理委員会が設置されています。西武鉄道にはコンプライアンス委員会を設置し、西武グループ企業倫理委員会の決定事項を社内に速やかに伝達・反映させるとともに、企業倫理に関する問題発生を未然防止するための具体的施策の決定、活動状況の検証・見直し、問題解決および再発防止策の検討を行っています。

中期目標達成のための取り組み

西武グループの中期目標(2019~2023年度)である「従業員一人ひとりが、コンプライアンスを正しく理解し、コンプライアンスを『当たり前のこと』として行動する」のもと、西武鉄道では「コンプライアンス実践の必要性再認識」「相手を思いやるコミュニケーションの実践」「ハラスメントの防止・根絶」「『社会や相手の期待』にこたえる行動の実践」を2023年度の重点テーマとしています。

具体的な取り組みとして、各種階層別のコンプライアンス研修や社長と若手社員との意見交換会を実施するほか、従業員向けにコンプライアンス関連のさまざまな情報を発信しています。

西武グループコンプライアンス基本方針

『グループビジョンに基づいたコンプライアンスの実践』

中期目標
(2019~2023年度)

従業員一人ひとりが、コンプライアンスを正しく理解し、コンプライアンスを「当たり前のこと」として行動する。

2023年度
西武グループ
コンプライアンス活動方針

(スローガン)
「一人ひとりが相手を思いやるコミュニケーションを実践し、社会や相手の期待にこたえよう」

企業倫理ホットライン

コンプライアンスに反するような事柄を従業員が発見したとき、それを会社として速やかに把握し、大きな問題に発展することを防ぐために設置しています。特定の行動が、コンプライアンス違反かどうかの相談も受け付けます。

セクハラ・人間関係ホットライン

セクシュアル・ハラスメントおよび職場の人間関係についての相談窓口として設置しています。より気軽に相談できる環境の整備および職場におけるハラスメントを抑止する効果を発揮しています。

西武グループコンプライアンス基本方針に基づいた西武鉄道の取り組み

西武グループとしてのコンプライアンスの取り組みを踏まえ、西武鉄道では「ルール」「組織」「浸透・定着活動」を柱として、コンプライアンス体制の構築、コンプライアンス意識の浸透・定着を図っています。

グループビジョン

■グループ理念 ■グループ宣言 ■スローガン

西武グループ企業倫理規範

「グループビジョン」に基づき定めた、コンプライアンスに関する最も基本的なグループ統一のルール

■経営トップのコミットメント

実践していくために

当社の取り組みの柱



【ルール】

- 西武グループ行動指針
- コンプライアンスマニュアル
- コンプライアンスカード
- 西武グループコンプライアンス体制基本規程
- コンプライアンス体制規程

【組織】

- コンプライアンス委員会
- コンプライアンス部
- コンプライアンス・リーダー、推進者
- 企業倫理ホットライン
- セクハラ・人間関係ホットライン

【浸透・定着活動】

- コンプライアンス行動計画の策定
- コンプライアンスウィークの実施
- コンプライアンスアンケートの実施
- コンプライアンス研修・職場教育の実施
- 情報誌「コンプラステーション」の制作・発行



新任コンプライアンス・リーダー研修の様子

人財を育成する仕組み

明日の西武鉄道を創造する人財を育成するため、教育・環境を整備しています。

職場の業務に直結した知識・スキルの習得

専門教育

- 社内教育／各部別教育、講習会、訓練、競技会など
- 社外教育／他社見学、各種講座、研究派遣など

社員一人ひとりの意識向上、能力開発を目的とした教育

集合教育

- 新入社員教育／入社後に行う各部合同基礎教育および、職場での経験の振り返りやフォロー研修、追研修など
- 年次別研修／入社4・10・20年目社員、50歳社員に対する研修
総合職に対する職種に応じた研修
- 合格者研修／各種試験合格者に対する研修
- 階層別研修／各階層に対する研修
- OJTリーダー・指導員研修／指導スキル、教育文化の定着、職場のOJT展開・支援環境の整備、社員育成のための研修
- 西武グループ合同研修／グループビジョン実現のための戦略の実行と組織の活性化を図るための研修

社員一人ひとりが学び続ける姿勢を育む

自己啓発の支援など

社員の自己啓発を支援するグループ合同通信教育や、自主参加型の全社員向け公開講座、テーマ別公募型研修を行っています。

各職種に必要な知識・技能の教育

鉄道係員養成所職能教育

■ 運転士教育

- ◎ 運転士養成教育・再教育
 - ◎ 構内運転士養成教育・再教育
 - ◎ 指導操縦者の養成教育
 - ◎ 既成乗務員研修
- 電車運転用シミュレータでは、CG映像による操縦方法・非常時の処置・車両故障などの訓練が可能です。屋外には保線・信号・電力を実習できる教材を備えています。



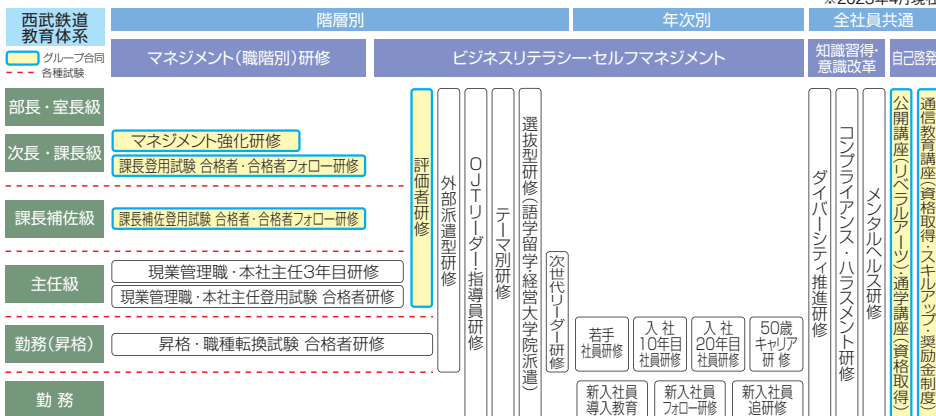
電車運転用シミュレータ

■ 車掌教育

- ◎ 車掌養成教育・再教育
- ◎ 指導車掌の養成教育
- ◎ 既成乗務員研修

■ 信号係教育

※2023年4月現在



さまざまな設備を備えた教育施設

西武研修センター(鉄道係員養成所 併設)



西武研修センター全景

- ◎鉄骨鉄筋構造
3階建
- ◎敷地面積
22,639.19㎡
- ◎延床面積
5,251.08㎡

最大250人収容可能な教室のほか、コンピュータ教室・視聴覚室・大広間(95畳)・食堂・喫茶コーナー・宿泊施設(最大100人宿泊可能)・サッカー場1面などを備え、さまざまな研修・講習会などを行うことができる施設です。

安心して仕事に取り組むための施設・制度

福利厚生施設・制度の概要

■ 世帯用住宅・独身寮

世帯用住宅が新狭山に159戸あるほか、独身寮が萩山、所沢、東村山、保谷の4カ所にあり、定員は合計266人です。



世帯用住宅(新狭山住宅)



西武グループ保谷寮

■ 健康支援センター

産業界を中心に保健師、衛生管理者が社員の健康管理に当たっています。

■ 社員食堂

沿線に24カ所あります。

■ 保険制度

団体割引が適用されるグループ保険のほか、傷害保険、医療保険、ガン保険、自動車保険があります。

■ その他

社員持株会、個人積立年金、積立貯蓄制度、互助会制度、各種割引制度、社員・家族行事などがあります。

働く人の「働きがい」「ほほえみ」創出

西武グループ人財戦略基本コンセプト策定

西武グループ人財戦略の基本コンセプトとして、スローガン「はたらく人を、ほほえむ人へ。」を掲げ、「人財の見える化」「従業員満足度(ES)向上」「マネジメント強化」「人財の創出・精鋭化」「多様性推進」「経営人財育成」の6つの戦略テーマに沿った各施策を推進することで、エンゲージメント向上、人財創出を実現します。

約6か月間のキャリアアッププログラムを開催

自分らしい女性リーダーを目指して

「自分らしい女性リーダー」を育成することを目的として、女性社員とその上司で参加する、OJTリーダー・指導員研修を中心とした約6か月間のキャリアアッププログラム「SEIBUダイバーシティカレッジ」を定期的で開催しています。



育児関係制度の充実と環境の整備

仕事と育児の両立実現

西武グループ全体の取り組みと連携して、仕事と育児の両立環境実現に向け、制度の充実、環境の整備を図っています。

◎育児関係制度の充実のほか、全従業員にデジタルデバイスを配付し、育児休業中の会社との情報共有ツールとしても活用しています。

◎男性の育児休業取得促進に向けて、育児休業取得促進パンフレットを作成し、こどもが誕生した男性社員に対して配付しています。



お客様の声の活用

お客様の声を、サービス向上に役立てています。

お客様の満足度向上のために

CSへの取り組み

時代とともに多様化するお客様のニーズを的確にとらえ、よりご満足いただけるサービスを提供していくことが西武鉄道の使命です。そのため当社ではCS(顧客満足=Customer Satisfaction)推進活動に積極的に取り組み、お客様の満足度の向上に努めています。

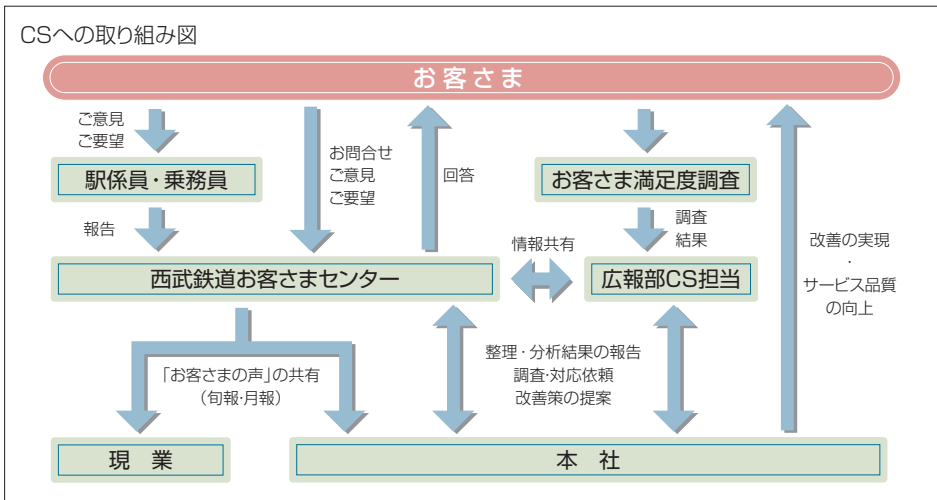
「西武鉄道お客様センター」はもちろん、駅係員・乗務員に直接寄せられたご意見・ご要望は、

すべて「お客様の声」として整理・分析したうえでデータベース化され、各担当部署に届けられます。この「お客様の声」は、1ヵ月分をまとめ月報として全職場に配信し、情報を経営陣および全社員が共有しています。

また、当社の取り組みを客観的に評価いただく「お客様満足度調査」を実施し、その結果を施策に活用しています。

今後もお客様のご意見・ご要望を真摯に受け止め、「お客様の期待値を超えるサービス」の実現に努めてまいります。

CSへの取り組み図



お客様とのコンタクトステーション

西武鉄道お客様センター

西武鉄道お客様センターは、CS推進体制構築の一環として2006年4月に開設しました。

お客様とのコンタクトステーションとして、積極的にお客様の声を広くお聴きし、ニーズを的確にとらえたサービスを提供していけるよう生かしてまいります。また、外国のお客様からのお問合せは、2011年より通訳を介し三者間通話(現在6か国語)で対応しています。

■ 営業時間：全日 9:00～17:00
(12/30～1/3を除く)

■ TEL.(04)2996-2888

(音声ガイダンスによりご希望の内容をお選びください。)

■ Webサイト

<https://www.seiburailway.jp>

内の「お問合せ・よくあるご質問」をお選びください。

<受付内容>

- サービスや施設に関するご意見・ご要望
- 電車の時刻・運賃のお問合せ
- 特急電車・座席指定列車の空席ご照会
- お忘れ物のお問合せ

Shinjuku Line

事業紹介

■安全・安定輸送の提供

- 安全に関する取り組み……………25・26
- お客さまの安全を守る設備 ……27～32
- 列車の安全を支える設備……………33～39
- 連続立体交差事業……………40
- 駅舎改良とバリアフリー推進…41～45
- 設備投資……………46

■質の高いサービスの提供

- ニーズに合わせたダイヤ……………47・48
- サービスに関する設備……………49・50
- サービス向上への取り組み ……51～54
- 沿線価値の創造……………55～60
- 地球環境への配慮……………61～66

安全に関する取り組み

常に「安全」を基本に、すべての事業を推進しています。

各管理者、関係部長の責務を明確に規定

安全管理体制

「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築して運用しています。「安全統括管理者」ならびに「運転管理者」「電気施設管理者」「工務施設管理者」「建設施設管理者」「車両管理者」「乗務員指導管理者」および関係部長の責務を明確に規定し、これに基づいておのおのが輸送の安全確保のための役割を担っています。(下図参照)

安全方針・スローガン

地域・社会の発展や環境の保全に貢献し、安全で安定した輸送と快適なサービスを提供すべく、誠実に事業に取り組みます。

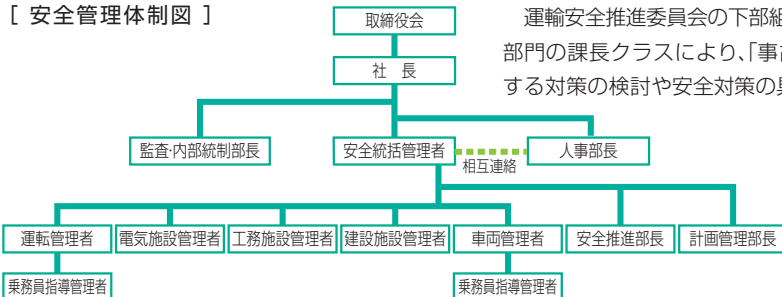
■ 安全方針

- 1.常に一人ひとりが安全最優先意識を持って、事業・サービスを推進します。
- 2.常に法令・規則を守り、誠実に職務を遂行します。
- 3.常にコミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境を構築します。
- 4.常に安全管理体制をチェックし、その向上に努めます。

■ 安全スローガン

『責任事故・インシデント「0(ゼロ)」』

[安全管理体制図]



事故防止のためのさまざまな対策

主な安全管理活動

[経営層による安全巡視および意見交換会の実施]

夏季および年末年始輸送の安全確保総点検期間中を中心に、社長をはじめとする役員が現場を巡視して安全管理の状況を確認するとともに、現業社員との意見交換会を実施してコミュニケーションを図っています。



意見交換会

[安全に関する各種会議の開催]

■ 運輸安全推進委員会

社長・安全統括管理者および、安全管理規程に責務が規定された各管理者・関係部長により構成されている会議です。輸送の安全を確保するための方針・重点施策のほか、事故情報、現業社員から報告された「事故の芽情報」をもとに、さまざまな対策や安全性の向上に関する事項について審議しています。(月1回)

■ 運輸安全推進部会

運輸安全推進委員会の下部組織で、安全統括管理者をトップに関係する部の部長クラスが中心となり、「事故の芽情報」に関する確認・調整や専門事項についての調整・研究を行っています。(月1回)

■ 鉄道安全幹事会

運輸安全推進委員会の下部組織で、関係する各部門の課長クラスにより、「事故の芽情報」に関する対策の検討や安全対策の具体的な内容について調査・研究を行っています。(月1回)

〔異常時に備えた体制整備および各種訓練〕

鉄道事故、自然災害、テロ、その他さまざまな非常事態に備え、「西武グループ危機管理規程」「災害対策規程」「鉄道事故処理要領」「鉄道テロ対策における行動基準」など規程類のほか、BCP(事業継続計画)を策定し、緊急時の対応体制を確立しています。

また、脱線、踏切事故、大震災、鉄道テロなどを想定した実践的な訓練を定期的実施し、万一の際

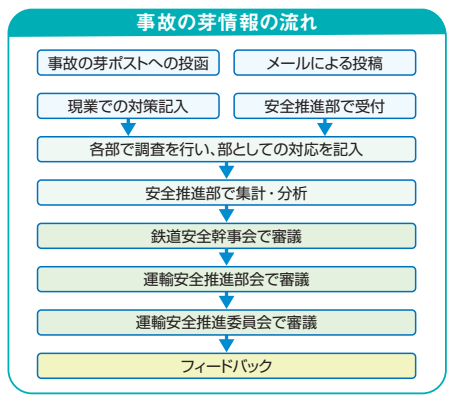


総合復旧訓練

〔「事故の芽情報」の収集・活用〕

「輸送の安全に支障を及ぼす恐れのある事柄」「事故には至っていないが、事故につながる可能性がある(あった)」と社員各個人が感じた「ヒヤリ・ハット事象」や「気がかり事象」に関する情報を幅広く収集しています。

その後、分析・評価を行ったうえで、内容やリスクの大きさに応じて対策を講じ、事故を未然に防ぐという取り組みを行っています。報告された案件について順次対策を講じるとともに、現場にフィードバックすることで情報の共有化を図り、安全性の向上に役立てています。



〔過去の事故事例の教育〕

当社では、1986年3月23日の降雪時に、田無駅に停車していた列車に、後続の列車が停止できずに追突するという事故を起こし、多数の負傷者を出しました。これを受け、この事故の概要や当社および他社の事故事例を、写真や映像を用いて社員に安全教育するための「事故情報展示室」を2008年度に開設し、「安全最優先」の大切さを学んでいます。

併せて「安全輸送推進週間」を設定し、輸送の安全講演会などを行っています。



事故情報展示室



展示品

安全対策の全般を告知
「安全・環境報告書」の公表

鉄道事業法の規定に基づき、安全に関する基本方針と目標、事故・障害の発生状況と再発防止策、安全確保のための取り組み、安全管理体制など、当社の安全対策全般をお客さまにお知らせすることを目的とし「安全・環境報告書」をWebサイトで公表しています。



<https://www.seiburailway.jp/company/report/>

お客さまの安全を守る設備

ホーム

ホーム上の危険を運転士に通報

列車非常通報装置

ホーム上で、お客さまや列車運行への危険がある場合、列車の運転士に知らせる装置です。非常停止ボタンを押すと、ランプが点滅しブザーが鳴動します。防護無線や非常灯により運転士に危険を知らせます。



非常停止ボタン



非常灯

列車の接近を知らせる回転灯と警報音

列車進入警報装置

列車が駅に接近すると、線路脇に取り付けられた黄色回転灯が点灯し、同時に警報音で列車の進入を知らせます。



乗降時の死角を無くして安全を確認

乗降監視用テレビ（ITV）

列車の長編成化により、列車の前部や曲線ホームなどお客さまの乗降状態が車掌から確認しづらい場所（83駅）に、補助手段としてカメラおよびモニターを設置しています。



ワンマン運転を行っている路線に導入

画像監視装置

多摩川線および多摩湖線のワンマン運転区間に導入しています。ホームに設置した監視カメラ画像を、多摩川線は白糸台駅、多摩湖線は国分寺駅へ伝送し、集中監視しています。

異常時には列車非常通報装置を遠隔作動させ、運転士に危険を知らせます。



監視画面



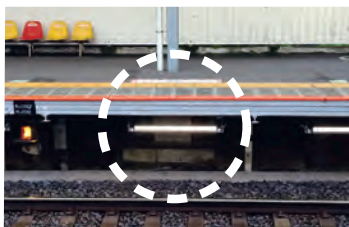
操作盤

ホームの安全性向上

ホームの安全を確保する各種設備

■ 足元注意喚起灯・音声転落防止装置

光や音声により、足元への注意を促す装置を設置し、ホーム下への転落防止を図っています。



足元注意喚起灯

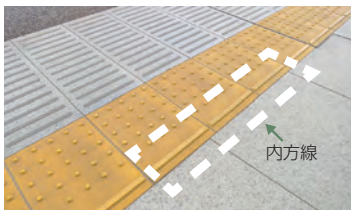
■ 転落防止ゴム

列車とホームの隙間が広い駅の一部に、くし型のコムを設置し、隙間を狭めることで転落防止を図っています。



■ 内方線付き・JIS規格適合の点状ブロックの整備

目の不自由な方に対しホームの内側が分かるよう、内側に内方線がある点状ブロックを整備しています。



■ ホーム隙間転落検知システムの導入

曲線ホームにおいて列車とホームの隙間に転落したお客さまを検知する装置を、新井薬師前駅1番ホーム・萩山駅3番ホーム・稲荷山公園駅1番ホームの3駅に設置しています。



もしもの際に命を守る待避スペース

ホーム下避難場所

お客さまが線路上に転落し、列車が接近している場合に安全を確保するためのスペースです。避難場所には、分かりやすくオレンジ色のマーキングを施しています。75駅179ホームに設けています。



お客様の安全を守る設備

踏切

さらなる踏切の減少を目指して

踏切設備

踏切の自動化や立体交差化を進めてきた結果、踏切事故が著しく減少しています。

現在踏切数は340カ所です。今後も安全輸送のため、踏切の除却を図っていきます。

異常を知らせるとともに、危険を察知する装置

踏切支障報知装置・支障検知装置

踏切道に支障が発生した際、列車に停止信号を現示する装置で、次のもので構成されています。

■ 特殊信号発光機

5つの赤色灯が2灯ずつ循環明滅する特殊信号発光機で、列車へ踏切の異常を知らせます。

■ 踏切支障報知装置(非常ボタン)

踏切際非常ボタンを押すと、特殊信号発光機が動作し、列車に踏切の異常を知らせます。全踏切に設置しています。



■ 踏切支障検知装置

踏切に自動車などの支障物がある場合、レーザ光線網などにより支障物を自動検知し、特殊信号発光機を動作させます。現在、234踏切に設置しています。そのうち、50踏切に検知能力の高い支障検知装置を設置しています。

■ 踏切異常検知システム

踏切の更なる安全性向上を目的に、踏切監視カメラ画像をAI処理する「踏切滞留AI監視システム」(3踏切)と、左右2つのレンズを内蔵した3Dカメラによる「3D画像解析踏切監視システム」(2踏切)を2022年から導入しています。

警報時間の均一化と誤通過防止のために

列車情報装置(急緩行列車選別装置)

踏切の警報時間の均一化および中間駅での列車誤通過防止対策として、列車種別選別方式による列車情報装置を設けています。

この装置は、運行管理システム(SEMTRAC)のダイヤ情報に基づき、列車種別に応じて踏切の警報開始地点を自動的に変えることができる装置です。

また、列車種別により、通過駅・停車駅を判別し、停車駅へ接近した際、運転士へ停車を知らせる機能も有しています。

お客さまの安全を守る設備

車両設備

車内で異常があった場合の通報手段

車内非常通報装置

車内での異常発生を乗務員に知らせる装置で、各車両に2・3カ所設置しています(一部の車両を除く)。また、一部の車両では、乗務員と直接通話もできます。

なお、車内の設置場所をより分かりやすくするために、装置本体と付近には「SOSシール」を貼り、目立つようにしています。



衝撃や脱線などを防ぐ

前面下部覆い

車両の前面下部をカバーする部分のことで、スカートとも呼ばれています。障害物の巻き込み防止のほか、床下機器の損傷防止、衝撃を和らげ脱線を防ぐ役割があります。



転落事故を未然に防ぐ

車両連結部分の外幌そとほろ

車両連結部分に設けたゴム製のホ口のことです。ホームを移動されるお客さまの連結部分への転落事故を未然に防ぐためのものです。

音声による案内放送

連結部転落防止放送装置

運転室付きの車両同士を連結する際、連結部分に外幌を設置できず、連結部分に大きな隙間が生じます。このような場合にお客さまが転落する事故を防止するために、案内放送が流れる装置を一部の運転室付き車両に設置しています。列車の中間部に運転室付き車両があり、停車中にドアを開けている際に音声の流れます。

お客さまの安全を守る設備

自然災害対策

駅舎や高架橋の耐震性を高める

耐震補強

駅舎や高架橋の耐震性を高めるため、耐震補強の工事を進めています。



秩父高架橋

初期微動をキャッチして、安全を確保

早期地震警報システム

気象庁の緊急地震速報を活用したシステムです。地震が発生した場合、初期微動(P波)を解析し、大きな揺れとなる主要動(S波)の到達前に列車に音声を送り、乗務員が手動で列車を非常停止させます。

震度4以上の地震発生情報を受信した場合は、全列車を直ちに停止させ安全を確保します。

早期地震警報			
	予測震度	到達までの時間	観測震度
東長崎	2	-5 秒	1
横瀬	1	0 秒	
南入曽	2	-3 秒	
白糸台	2	-1 秒	
予測最大震度		発生時刻 22時36分16秒頃	
高田馬場	2	震源地 茨城県北部 マヅニョウト0.2	

地震表示盤

二次災害を最小限に食い止めるために

地震計

当社線を大きく4つに分割し、それぞれのエリアに地震計を設置しています。

震度4~5弱では列車を一旦停止後、通常より速度を落とした注意運転を行い、安全を確認してから正常運転に戻します。震度5強以上では全列車を停止させ、全線の安全が確認でき次第、運転を再開します。

橋りょうなど、全線で13カ所に設置

風速計

全線で13カ所に設置しています。主な跨線橋、橋りょう、架道橋上に設けており、計測した風速は隣接駅と運転司令で表示されます。

風速が秒速20m超では時速55km以下、秒速25m超では時速25km以下の注意運転、風速が秒速30m以上では列車の運転を一時中止します。

安全のため、降雨量を自動的に記録

雨量計

受水部(雨量ます)と記録部(記録計)からなり、降雨状況を観測室内で自動記録、同時に運転司令へ伝送されます。

全線で15カ所に設置しており、特に山間部の武蔵丘信号場~西武秩父駅間では降雨が毎時30mmに達したときは時速35km以下で運転、降雨が毎時50mmまたは継続降雨量が250mmに達したときは列車の運転を一時中止します。

土砂崩壊や落石の危険箇所を検知

土砂崩壊検知装置

山間部の土砂崩壊や落石の危険のある切り通しに設置。センサーを取り付けた検知柵と金網で異常を検知します。池袋線6カ所、西武秩父線22カ所に設けており、運転司令では常に動作の有無を監視しています。



安全・安定輸送のため、線路の状態を把握

レール温度監視システム

常にレール温度を監視し、レール温度が45℃以上に達したときは注意、50℃以上に達したときは警戒とし、安全・安定輸送のため線路状態を把握しています。

通常の運行にかかわる分岐器に100%設置

電気融雪器

電熱ヒーターにより、降雪による分岐器の転換不能を防ぎます。駅構内および車庫線など約700カ所に整備されており、通常の運行にかかわる分岐器には100%設置しています。

積雪状況を常時確認

監視カメラの設置

降雪時の列車運行の安全を確保するため、積雪量の多い西武秩父線に監視カメラを4カ所設置し、常に積雪状況を確認しています。



土砂崩壊を防止

のりめん 法面の改良

列車運行の安全確保のため、線路脇の法面を改良することで斜面の安定化を図り、土砂崩壊を防止して安全性を向上させています。



芦ヶ久保駅

列車の安全を支える設備

運行管理体制・設備

“万一”に備え「情報の共有化」を重視した体制

司令

全線で約176kmある線路のどこで何が起きているかを迅速に把握するには、設備はもとより、機能的な組織体制が重要です。

その意味からも、当社では「運転」「電気」「施設」「車両」「情報」の5つの司令が常に「情報の共有」を図りながら、最も大切な「安全確保」という共通目的を遂行しています。この体制のもと、たとえ災害が発生したときでも最良の形で復旧を目指し、お客さまへのご迷惑を最小限にとどめるよう努めています。

信頼性の高いさまざまな装置を導入

信号保安設備

信号保安設備とは、列車を安全・正確・迅速に運転するための設備です。列車速度の高速化、本数の増大、種別の多様化に伴い、当社ではATS・ATC・CTCなどを導入しています。

■ ATS [Automatic Train Stop]

ATSは自動列車停止装置の略称です。乗務員が万が一運転を誤り、列車の速度が速くなり過ぎたとき、列車を止めて安全を保ちます。

■ ATC [Automatic Train Control]

ATCは自動列車制御装置の略称で、西武有楽町線に導入されています。先行列車の位置および進路の条件に応じ、列車の速度を自動的に制御します。

■ CTC [Centralized Traffic Control]

CTCは列車集中制御装置の略称で、多摩川線の武蔵境～是政駅間に導入しています。白糸台駅多摩川線運転司令所の中央操作卓で信号操作を集中制御しています。

質の高い列車運行ときめ細かな情報提供

運行管理システム(SEMTRAC)



運行表示盤

運行管理システム=セムトラック(SEIBU MULTIPLE TRAFFIC CONTROL SYSTEM)は、コンピューター制御により、運転司令業務の迅速性、確実性を向上させ高品質の列車運行を確保するとともに、駅における信号取り扱いの自動化、旅客サービスのためのきめ細かい行先案内表示や放送制御を行います。

司令所に池袋線系と新宿線系の中央制御装置、主要駅には駅制御装置を設置した分散制御方式とし、中央制御装置は基本ダイヤの管理や運転整理などのように複数駅にかかわるものを制御しています。駅制御装置は、進路の制御など各駅の条件に属するものを制御しています。

導入線区は、池袋線系(池袋線、西武有楽町線、豊島線、西武秩父線、狭山線)=84.6km、新宿線系(新宿線、西武園線、拝島線、国分寺線、多摩湖線)=81.2kmです。

なお、機器集約を図った新たなシステムを導入するための更新工事を進めており、2023年度は池袋線系で先行導入します。

※2023年8月1日現在

列車の安全を支える設備

保守管理体制・設備

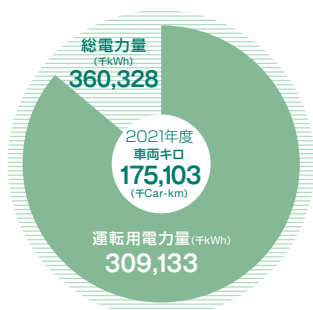
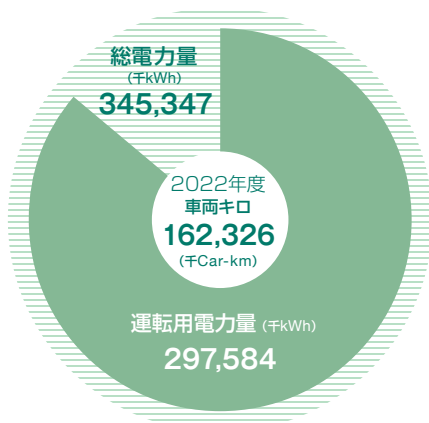
電車運行のためのエネルギー

鉄道用電力

鉄道で使う電力は、電車を動かす「運転用電力」と、駅の照明や信号機などに使う「付帯用電力」に大別されます。

「運転用」は直流1,500Vまたは750Vで電車に、「付帯用」は交流6,600Vで信号機などに供給しています。

電力消費量は、年間3億4,535万kWhで、一般家庭8万世帯の使用量に匹敵します。全消費量のうち「運転用」が86%、「付帯用」が14%です。



電気設備系統を24時間監視し、集中管理

電力管理システム

電力管理システムは、系統の状態と異常を感知する系統監視機能、故障の種類を選別し機器を自動的に投入する故障処理機能、変電所機器の「運転」「停止」を自動制御するスケジュール運転機能などを備えています。

電線や電柱、電灯動力の負荷設備など

電路設備

線路上の電線、これを支える電柱などの支持物および電灯・動力の負荷設備が電路設備です。

■ 電線

池袋線・新宿線の高圧線は、ケーブル使用回線と被覆線使用回線の二重系となっており、異常時でも、どちらかの電源を供給する仕組みになっています。

■ 支持物

コンクリート柱、鉄柱、鋼管柱があります。

■ 電灯・動力設備

主なものに駅の照明設備および昇降機などのための動力設備があります。また、電気融雪器や踏切事故防止用の照明灯などもあります。

特別高圧の電力を鉄道用に変換

変電所

変電所では、電力会社から送られてくる特別高圧の電力を鉄道用電力に変換しています。現在の変電所数は34ヵ所あり、電車や駅などさまざまな設備に電力を供給しています。

列車の安全を支える設備

保守管理体制・設備

鉄道の電気を守るさまざまな設備

電力設備の保守効率化

■ 高圧設備

駅構内にキュービクル(地上変電設備)を設置し、駅間などに点在していた柱上変圧器を集中化しています。複数の変圧器を地上にまとめることで、保守の安全性と効率性が高まりました。

■ き電設備

練馬～練馬高野台駅間および石神井公園～大泉学園駅間の高架区間に、き電ちよう架式架線を導入しています。従来と異なり、き電線とちよう架線が一体構造のため、景観性にも優れます。また、軌陸作業車から電車線と同時に点検できるため、作業効率が大きく向上しました。



き電設備

■ 電車線設備

電車線に適切な張力を与えるバランス装置にバネ式を導入しています。従来のタイプと異なり、滑車のワイヤーや重錘(重り)の点検が不要のため、大幅な保守の省力化になりました。

■ 作業用車両

軌陸作業車により保守作業を行っています。道路と線路を走行できる特殊な車両で、線路沿いの電力設備を効率よく保守できます。



軌陸作業車

■ 変電所設備

変電所設備の老朽取替時には、密閉型の受電設備を導入しています。特別高圧電路の露出部分がないため汚損、劣化がなく、保守作業の効率化が図れます。

■ 変電所監視カメラ・保全データシステム

無人変電所に監視カメラを設置し、構内や機器の状態などを電気司令や保守区で監視しています。また、機器類のデータを保守区に電送し、管理するシステムを導入しています。規定の巡回時以外は、係員が現地に向くことなく状況やデータを確認できるため、保守効率が向上しました。

緊急時に高い信頼性が求められる重要な設備

無線設備

■ 列車無線

運転司令と列車との間で正確かつ迅速な情報伝達を行うための列車無線を、全線・全列車に設置しています。

また、運転士が列車運行の危険を発見した場合、近傍を走るほかの列車に危険を知らせる防護無線を全列車に備えています。さらに、運転司令から全列車への一斉指令、地震発生時の緊急停止警報などの機能もあります。

電波の送受信のためのアンテナには、漏えい同軸ケーブル(LCX)を主に使用し、安定通話を確保しています。LCXは全区間の約70%に架設しています。



■ その他

構内作業を行う駅係員が駅事務室や信号扱所と連絡を取ることができる「駅保守無線」のほか、「構内無線」「乗務員無線」などがあります。

指令、通報、報告のため、各種の鉄道電話を設置

鉄道電話

全線に独自の通信ケーブルを張り巡らせ、各種電話を設置しています。

■ 自動交換電話

本社および全線の各業務部門が、自動電話で結ばれています。

- デジタル電子交換機：6局
- 電話中継線：約2,000回線
- 電話機：約3,000台

■ 専用電話

[指令電話] 走行列車の安全と正確かつ迅速な運転管理を行うため、運転司令と全駅・乗務所および車両所を結ぶ電話です。

[沿線電話] 沿線500m以内ごとに設置した沿線電話機から、司令・駅・電気・工務の各部門に連絡が取れる電話です。

列車の安全を支える設備

保守管理体制・設備

さまざまな部材で構成される線路

線路の構造

線路とは、狭義には、レール・マクラギ^{どうしょう}・道床・路盤^{のりめん}およびこれらに付帯する建造物、保安装置をいいます。広義には、トンネル・橋・法面などの諸施設を含む総称です。

レール

■ 種類

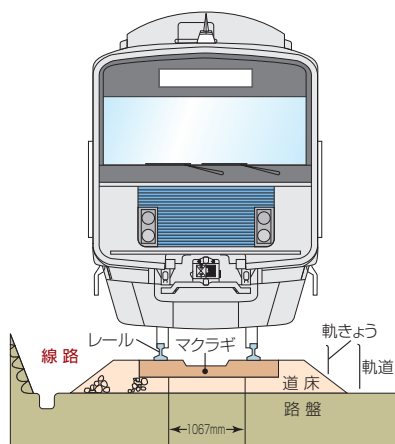
用途、断面形状などにより呼び名も豊富ですが、通常1m当たりの重量で呼びます。本線では、50Nレール・60kgレールを使用しています。

■ ロングレール

1本の長さが200m以上のものをいいます。継ぎ目が少なくなるため、列車の騒音、振動の低減による沿線環境の改善、作業の省力化などの効果があります。

本線長(山口線を除く)329.5kmのうち、2022年度末現在で、急曲線などを除く251.6kmに敷設されています。

■ 構造図



マクラギ

マクラギにはPCマクラギと合成マクラギがあり、本線部のPCマクラギ化は完了しています。耐腐食性に優れる合成マクラギ化は、橋りょう部が完了し、現在は分岐器部について進めています。

■ ラダーマクラギ

特殊な鋼管でマクラギを縦型に連結したもので、形状がはしご(LADDER)に似ていることから、ラダーマクラギと呼ばれます。保守量は従来^{ラダー}の横マクラギに比べ1/5以下、また列車の荷重分散性に優れるため騒音、振動の低減効果が得られます。当社では、野方～都立家政駅間、小平～久米川駅間、保谷駅構内でバラスト・ラダーマクラギを敷設しています。



弾性バラスト直結軌道



ラダー軌道

道床

道床は、軌きょう(レール、マクラギ)からの列車荷重を路盤に分散させる役目を果たします。軌道に弾性を持たせて乗り心地を良くしたり、軌道整正の簡便性などが要求されたり、これらの条件に最も適したものとして「砕石」を用いています。

省力化軌道

軌道整備の大きなウエイトを占める「総つき固め」や「道床交換」などの作業を廃し、軌道保守周期の延伸を図るため、直結軌道をはじめとする省力化軌道の導入を進めています。

軌道の強化

列車通過回数に比例して線路の壊れ方も大きくなります。これを防ぐため、「50Nレール」「PCマクラギ」「砕石道床厚200mm以上」による軌道強化を実施しており、おおむね完了しています。

25カ所のトンネルと932カ所の橋りょう

施設

トンネル	<ul style="list-style-type: none"> ■25カ所(うち西武秩父線16カ所) ■最も長いもの…正丸トンネル 全長4,811.4m、山岳トンネルで私鉄 第2位の長さです。トンネル中央部に 列車の交換設備があります。
橋りょう	<ul style="list-style-type: none"> ■932カ所 ■最も高い橋…第15高麗川橋りょう32.0m ■最も長い橋…入間川橋りょう169.9m

用途に応じて使い分けられる保線機械

保線作業の機械化

1967年から保線機械の導入を図っており、軌道の整正をはじめ保線作業の合理化に大きな効果をあげています。機械による保線作業は深夜に限られ、短時間で精度の高い仕事が要求されるため、専門知識・技能とともに高性能の機械が不可欠です。

当社では下表の通り、用途別の保線機械を保有しています。なかでも総合検測車は、これまで別々に行っていた軌道関係の検測(軌道変位などの検測)と電気関係の検測(架線の高さ・偏位などの検測)を一台で同時に行うことができる検測車で、2006年度に導入しました。

主な保有機械

機 械 名	用 途
マルチブルタイタンバー	道床のつき固め作業
総合検測車	軌道変位、遊間などの検測
ダンプトローリー	工事中砕石などの運搬
砕石運搬車	道床砕石の運搬
軌道モーターカー	トローリー、貨車などのけん引
超音波レール探傷車	レールの欠陥検査
レール削正車	レールの波状摩耗削正など



超音波レール探傷車



マルチブルタイタンバー



総合検測車

列車の安全を支える設備

保守管理体制・設備

6ヵ所の車両基地と1ヵ所の検修場

車両の検査と検修設備

国土交通省の省令に基づき社内で「車両整備実施基準」を定め、6ヵ所の車両基地と1ヵ所の検修場で約1,230両の車両検査を行っています。

■ 車両基地での検査

「定期健康診断」のように、定期的に車両検査や修繕作業などを実施します。また、小手指・南入曽車両基地では、乗り心地や安全に欠かせない車輪削正を行います。

■ 武蔵丘車両検修場での検査

「人間ドック」のように、決められた期間または走行距離により、車両の主要部分を大がかりに分解・点検・修理するなどの定期検査を実施しています。

また、ロボットをはじめとする最新設備を整え作業効率や安全性の向上を図るほか、周囲の自然環境にも十分に配慮しています。2000年12月には国際標準規格「ISO14001」の認証を取得し、「人と環境にやさしい」検修場としてさまざまな取り組みを行っています。

■ 車両保守の効率化

20000系・30000系・40000系・001系車両では、列車情報管理装置での車上検査や機器の動態記録ができるため、省メンテナンスが可能となりました。武蔵丘車両検修場には、各種設備を多数導入し、メンテナンスの効率化を図っています。



収容能力	検修車両数(2022年度)
36(26)	全般検査142両 重要部検査68両

注：()内は検査可能両数



武蔵丘車両検修場

連続立体交差事業

交通渋滞の解消、安全性・快適性向上を推進します。

新宿線の立体交差化

新宿線連続立体交差事業

■ 中井～野方駅間(地下化)

東京都・中野区などと協力し、中井～野方駅間の約2.4kmを地下化する事業です。この事業により、中野通りを含む7カ所の踏切が除却され、新井薬師前駅、沼袋駅の2駅も地下化されます。これにより、交通渋滞の解消、安全性の向上、まちづくりの促進などが図られます。

2011年8月に都市計画決定され、2013年4月に事業認可を取得、2014年1月から工事に着手しています。

■ 東村山駅付近(高架化)

東京都・東村山市などと協力し、東村山駅を中心とした新宿線、国分寺線、西武園線の合わせて約4.5kmを高架化する事業です。この事業によ

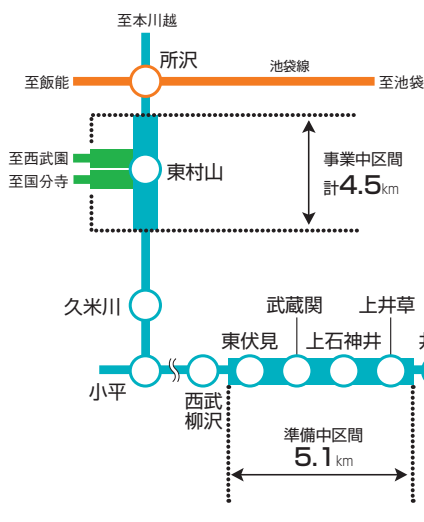
り、府中街道を含む5カ所の踏切が除却され、5本の側道が整備されます。また、東村山駅が3面6線から2面4線になることで、新宿線と国分寺線の乗り換えが同一ホームで可能になり、利便性も向上します。

2012年10月に都市計画決定され、2013年12月に事業認可を取得、2015年1月から工事に着手しています。

■ 井荻～西武柳沢駅間および野方～井荻駅間

井荻～西武柳沢駅間は、2021年11月に東京都により高架方式で都市計画決定されました。野方～井荻駅間は、2016年3月に東京都により新規に着工を準備する区間として社会資本総合整備計画に位置付けられました。引き続き、連続立体交差事業の早期事業化に向けて、事業主体である東京都や地元自治体と協力し、新宿線沿線の安全性・快適性向上を推進します。

■ 新宿線連続立体交差化



中井方取付部工事桁架設工



東村山駅高架橋構築状況

駅舎改良とバリアフリー推進

国・自治体と協力し、駅を中心としたまちづくりを進めています。

新たなまちの顔として、生まれ変わります

駅舎改良事業

■ 飯能駅

フィンランド発祥の『ムーミン』の世界などを体験できるテーマパーク「メッツァ」の最寄り駅であり、自然あふれる飯能エリアの玄関口にふさわしい駅へとリニューアルしました。フィンランド大使館と共催で実施したデザインコンペの最優秀デザインに基づき工事を実施。2019年3月、飯能駅は「本物のフィンランドデザイン」に生まれ変わりました。



3・4番ホーム



改札外コンコース

■ 西武秩父駅

秩父エリアの観光の玄関口である西武秩父駅のリニューアル工事が2017年3月に完了しました。

駅舎外装は、「西武秩父駅前温泉 祭の湯」と一体感を持たせたデザインとしたほか、コンコース、特急改札口および特急ホーム、跨線橋などの美装化を実施しました。装飾には提灯や杉材といった地元秩父ならではの素材を採用し、駅舎を通じて秩父の魅力を発信しています。また、待合室を改札外にも新たに設置するなど、お客さまの利便性向上を図っています。



駅舎外観



改札口



改札内コンコース

■ 所沢駅

線路上空に地上3階、東口には地上5階建ての複合施設「グランエミオ所沢」を開発し、多様なテナントを集積した店舗フロアなどからなる次世代型駅ビルを目指しました。駅から商業施設へ直接出入りできる改札や、商業施設・駅を利用されるお客さまの駐車場・駐輪場を設置、さらに災害時の防災機能などを整備しました。東口の敷地を中心としたエリアで開発するI期計画は2018年3月に、南改札・南自由通路を含むII期計画は2020年9月に完了しました。



東口外観



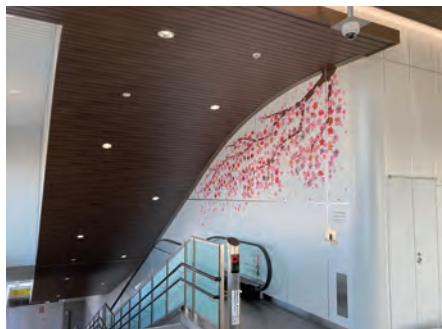
改札前吹き抜け(セントラルプラザ)

■ 多磨駅

2020年度、橋上駅舎化と自由通路を供用開始し、2021年度に事業が完了しました。本リニューアルの実施により、新たに東口を新設しました。これにより、構内踏切を廃止し、ホームを拡幅することで、混雑緩和と安全性が向上しました。また、エレベーターやエスカレーターなどのバリアフリー施設の整備により、利便性が向上しました。



東口外観



桜壁面



桜天井

駅舎改良とバリアフリー推進

すべてのお客さまに安全・安心かつ快適にご利用いただくためにバリアフリー設備を整備しています。

バリアフリー設備の整備費に充当 鉄道駅バリアフリー料金制度

当社では、ホームドアをはじめとしたバリアフリー設備の整備を促進するため、国土交通省により創設された「鉄道駅バリアフリー料金制度」を活用します。収受した料金は、すべてバリアフリー設備の整備費に充当します。詳細はWebサイトで公表しています。



<https://www.seiburailway.jp/safety/barrierfreechargeplan/>

駅構内のバリアフリー

ホーム下への転落を防止 ホームドア

ホーム上からの転落や車両との接触を防止するため、ホームドアを設置しています。現在、池袋(2~6番ホーム)、練馬、西武新宿、高田馬場、所沢、国分寺の計6駅に設置済みです。2030年度までに23駅62番線に整備する予定です。



ホームドア(所沢駅)

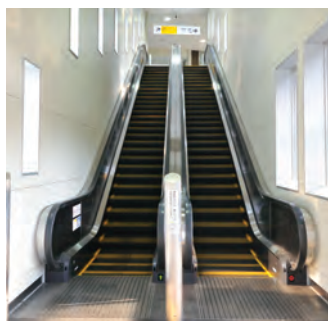
さらに快適な駅を目指して

エレベーター・エスカレーター・スロープ

エレベーターを69駅、エスカレーターを55駅、スロープを36駅に設置しています。



エレベーター(武蔵砂川駅)



エスカレーター(狭山市駅)



スロープ(本川越駅)

多くの機能を備えたトイレを設置

バリアフリートイレ

車いすをご利用の方、オストメイトの方、小さなお子さまをお連れの方など、多様なお客さまにとって使いやすいトイレです。手すり、オストメイトのパウチの洗浄機能、おむつ交換シートなどの設備もあり、81駅に設置しています。



狭山市駅

車いすやベビーカーでも安心

ワイド型自動改札機

自動改札機を80駅506台設置しています。なお、車いすやベビーカーをご利用のお客さま、大きな荷物をお持ちのお客さまにも便利な、ワイド型自動改札機を80駅すべてに設置しています。



高麗駅

安心して駅・電車をご利用いただくために

点字誘導ブロック・点字案内設備

目の不自由なお客さまを誘導し、転落を防止するため全駅に点字誘導ブロックを設置しています。そのほか、バリアフリー対応券売機、点字運賃表、点字手すりプレート、触知案内板を一部の駅を除いて設置しています。



点字誘導ブロック



点字運賃表

駅のご案内業務におけるバリアフリー

簡易筆談器

聴覚や言語が不自由なお客さまと駅係員のコミュニケーションを円滑にするために簡易筆談器を備えています。文字のほかにも駅周辺の地理などを実際に図に示しながら分かりやすくご案内できます。文字はボタンひとつで消去できるため、個人情報保護されるだけでなく、紙やインクも使わず環境にも配慮しています。



※小竹向原・武蔵横手・東吾野・西吾野・正丸・芦ヶ久保駅を除く

駅舎改良とバリアフリー推進

すべてのお客さまに安全・安心かつ快適にご利用いただくためにバリアフリー設備を整備しています。

電車内のバリアフリー

やさしさと思いやりの空間

車いすスペース

2両編成、特急車両、8500系車両(レオライナー)を除き、最低2カ所以上の車いす用スペースを設置しています。



固定用ロープ付車いすスペース

譲り合いのコミュニケーションスペース

優先席

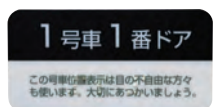
お年寄りやおからだの不自由なお客さま、妊娠されているお客さまなどに優先的に座っていただくための座席です。特急電車・座席指定列車を除く全車両に設置しています。



電車の位置のお知らせ

点字案内・文字表示

目の不自由なお客さまに安心して電車をご利用いただけるよう、各車両(一部を除く7車種)の内側ドアに乗車位置をお知らせする点字案内を設置しています。これに合わせ文字表示を各車両(一部の車両と既設の車両を除く)の車内外の側面に設置しています。



点字案内



文字表示



文字表示

新しい車両バリアフリーへの取り組み

パートナーゾーン

40000系車両では、パートナーゾーンを設置。車いす、ベビーカーをご利用のお客さまや大きな荷物をお持ちのお客さまも安心して快適に過ごせる、新たな「車両バリアフリー」の形を提案しています。



設備投資

安全対策、サービス向上のため、設備投資を行っています。

過去10年間の設備投資総額は2,044億円

設備投資の実績

鉄道の使命である安全・正確・快適な輸送をモットーに、積極的に設備投資を実施してきました。過去10年間の設備投資総額は2,044億円です。

■ 鉄道事業設備投資額(実績) (単位:億円)

年度	自社工事
2013年度	155
2014年度	167
2015年度	175
2016年度	197
2017年度	215
2018年度	231
2019年度	300
2020年度	194
2021年度	196
2022年度	214

総額251億円の設備投資を計画

2023年度の主な設備投資計画

安全・快適な設備の追求

■ バリアフリー

- ホームドア整備
- 列車運行情報提供システム整備
- 段差解消・内方線付点状ブロック整備
- エレベーター・エスカレーター更新

■ 踏切

- 高規格な踏切支障検知装置の新設・更新
- 特殊信号発光機のATS連動化
- 踏切異常検知システムの新設

■ 車両

- 車内防犯カメラの整備推進
- ドライブレコーダーの全編成導入

環境対策

- 40000系車両増備(4編成40両)
- 省エネルギー性能の高い走行機器への更新
- LED照明の導入
- サステナ車両[※]導入

車両新造や既存車両の機器更新に加え、省エネルギー化を加速推進すべく、環境負荷の少ない「サステナ車両」の導入を予定しており、現在準備を進めています。

[※]VVVFインバータ制御車両等の環境負荷の少ない他社からの譲受車両を指す(当社独自呼称)

駅・まちづくりの推進

- 池袋駅・豊島園駅のリニューアル
- 西武新宿駅 新たな地下通路整備の計画
- 中井～野方駅間連続立体交差事業(地下化)
- 東村山駅付近連続立体交差事業(高架化)
- 井荻～西武柳沢駅間および野方～井荻駅間、早期事業化に向けた準備

技術革新への基盤づくり

- 無線式列車制御(CBTC)システム実証試験
- 新運行管理システムの導入
- 転てつ器監視装置の導入

職場環境の改善・整備

従業員が働きやすい・働きがいのある環境を整え、将来を担う人財を確保する観点から、職場環境の整備を行います。現業施設の建て替え、宿泊施設の個室化、駅の従業員用休憩室のリニューアル等により、従業員のプライバシー確保や労務環境の改善を図ります。

ニーズに合わせたダイヤ

お客様のニーズに合わせた利便性向上のために。

都心へ横浜へ長瀬へ、さらに広がる直通運転

ネットワークの拡大

乗り継ぎをなくして利便性を向上させるため、他社線との相互直通運転・直通運転、自社線内の直通運転を行っています。

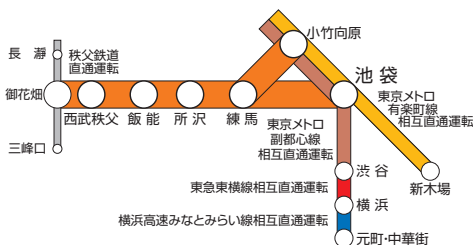
■ 他社線との相互直通運転

池袋線飯能駅と東京メトロ有楽町線新木場駅間および東京メトロ副都心線・東急東横線を經由し、横浜高速みなとみらい線元町・中華街駅間で相互直通運転を行っています。東京メトロ副都心線方面との直通電車は各社最速(当社線内は快速急行、東京メトロ線内は急行、東急・みなとみらい線内は特急)の種別でつなぎ、分かりやすいご案内を提供するため愛称を「Fライナー」として運転しています。



■ 他社線との直通運転

土休日には、池袋線飯能駅と秩父鉄道長瀬駅・三峰口駅間で直通運転を行っています。



■ 自社線内の直通運転

自社線内においても、線区をまたいだ直通電車を運転しています。また、接続駅での乗り継ぎに配慮したダイヤ編成を行い、お客様の利便性向上を図っています。

よりスピーディーに、より快適に

速達性・利便性の向上

■ 特急「ちちぶ」・「むさし」・「小江戸」号の運転

特急電車は、1969年10月の西武秩父線開通とともに池袋～西武秩父駅間で運行を開始しました。奥武蔵・秩父・川越への観光特急として、また都心への通勤特急として親しまれています。現在、池袋線で平日59本、土休日59本、新宿線では平日57本、土休日50本を運行しており、また池袋線では2019年3月から新型特急車両Lviewの運行を開始しました。

■ S-TRAINの運転

2017年3月より運行を開始しました。平日は都心への通勤に、土休日は秩父・横浜方面への観光にご利用いただいております。現在、平日は上り所沢～豊洲駅間、下り豊洲～小手指駅間で7本、土休日は元町・中華街～西武秩父、飯能、所沢駅間で計5本を運行しています。



■ 拝島ライナーの運転

2018年3月より運行を開始しました。都心への通勤やおでかけにご利用いただいております。西武新宿～拝島駅間で運行しており、平日は8本、土休日は6本を運行しています。



■ 各種優等電車の運転

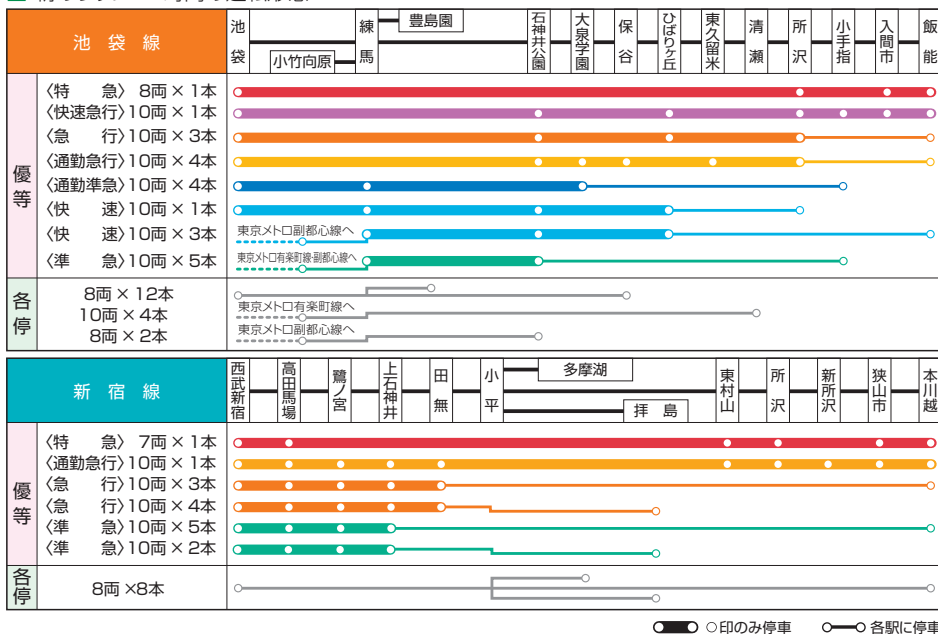
中・長距離をご利用のお客様のために、快速急行・急行・快速・準急など一部の駅を通過する優等電車を設定しています。また、優等電車と各駅停車の乗り継ぎをスムーズにするなど、通過駅をご利用のお客様の利便性向上にも努めています。

最混雑時間帯に最大限の輸送力を

朝ラッシュ時の輸送

1日のお客さまの約22%が集中することから、輸送力を最大限に発揮できるダイヤ編成を行っています。

■ 朝のラッシュ1時間の運転形態



沿線のイベントに合わせ臨時電車を増発
野球開催時およびイベント輸送

■ 野球

埼玉西武ライオンズの本拠地であるペルーナドームでのプロ野球公式戦開催日には輸送力を増強し、試合開始時刻に合わせ池袋、本川越、新木場、元町・中華街駅から西武球場前駅への直通電車を増発しています。

試合終了時には、急行や快速の池袋行き臨時電車を集中的に運行しています。

また、池袋～西武球場前駅間で臨時特急「ドーム」号を上り下りともに1本ずつ運行しています。

■ 沿線のイベント

航空自衛隊入間基地の入間航空祭やユネスコ無形文化遺産に登録されている秩父夜祭、ペルーナドームでのコンサート開催に合わせ臨時ダイヤを編成し、輸送力を増強しています。

横瀬、西武秩父駅が最寄りの羊山公園「芝桜」や高麗駅が最寄りの巾着田「曼珠沙華」の見頃に合わせ臨時電車や臨時特急電車を運行しています。



秩父夜祭

事業紹介

サービスに関する設備

便利で利用しやすい、サービスの充実に努めています。

分かりやすいインフォメーション・サービス

案内設備

■ お客さまご案内用オープンカウンター

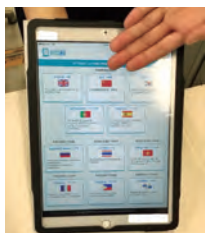
50駅52改札口に設置しています。自動改札と区別することで、ゆとりあるご案内が行えます。



野方駅

■ タブレット端末導入

お客さまによりきめ細やかなサービスを提供するため、駅係員にタブレット端末を貸与しています。係員がインターネットや駅周辺の地図、翻訳などのアプリケーションを自由自在に操作することにより、スピーディーかつ正確で分かりやすいご案内を行うことが可能となりました。



■ 駅ナンバリング

当社線に初めて足を運ぶお客さまなど、どなたにも分かりやすくご利用いただけるよう、全駅の駅名標や路線図などに駅ナンバリングを導入しています。



■ 列車案内表示器

列車情報を総合的に提供し、ご案内の充実に図るため、78駅に設置しています。行先・種別・発車時刻はもちろん、次の電車の位置を示す「接近案内」なども表示します。また、液晶画面のLCD式列車案内表示器を池袋、所沢駅など21駅に導入し、より明確な文字で情報をお伝えしています。



新所沢駅



所沢駅

■ 列車運行情報提供システム

当社線および他社線で運転見合わせなどの運転障害が発生した際に、文字情報と路線図にて運転見合わせ区間や振替輸送経路などをディスプレイに表示するシステムです。日本語のほか英語・中国語・韓国語の計4か国語で情報を発信します。ターミナル駅、他社線との乗換駅を中心に導入しています。



■ 遠隔放送装置

事故などで電車の運行が乱れた際、当社線の運転状況を一元管理している「情報司令」から、各駅のホームなどに情報を一括放送できる装置です。駅係員を介さず、情報司令から直接お客さまに事故情報や運転状況などを正確・迅速にご案内できます。小竹向原駅と多摩川線を除く85駅に設置しています。

■ 総合案内板

駅名・路線案内・停車駅案内が一体の総合案内板を68駅のホームに設置しています。また、本川越駅の駅名看板などには副駅名「時の鐘と蔵のまち」を、案内表示として多磨駅には「東京外大前」、武蔵砂川駅には「国営昭和記念公園砂川口」を表示しています。



萩山駅

クレジットカードでの購入も可能

定期券

6駅に「定期券発売窓口」があるほか、一部駅を除き定期券が購入できる自動券売機を設置しています。なお、ご購入には西武グループの「SEIBU PRINCE CLUBカード セゾン」などの各種クレジットカードをご利用いただけます。

※小竹向原・武蔵横手・東吾野・西吾野・正丸・芦ヶ久保駅を除く。



自動券売機

駅を快適・安心に

駅設備

待合室

静かで快適な空間で電車をお待ちいただくため、44駅に設置しています。



所沢駅

授乳室

池袋駅の駅事務室内、所沢駅南改札内の待合スペース「とことこひろば」に設置しています。ご家族でのお出かけも安心です。

駅でもスマホ・PCでも購入可能

特急券 / 指定券

特急ラビュー・レッドアロー号の特急券、S-TRAINおよび拝島ライナーの指定券を西武線内48駅で取り扱っています。

■ 特急券 / 指定券券売機での発売

次に発車する電車の特急券 / 指定券を発売する「単機能型券売機」、当日に発車する電車の特急券 / 指定券を発売する「多機能型券売機」を、ホーム・コンコースなどの発売場所にに応じて配置しています。

特急券 / 指定券券売機



■ 駅窓口での発売

ご乗車日の1ヵ月前からの前売り、1ヵ月+7日前から団体予約などを行います。

万一のために「AED(自動体外式除細動器)」を設置

A E D

心停止状態となった際、心臓に電気ショック(電氣的除細動)を与え、救命を図る医療機器です。音声により、心臓マッサージと人工呼吸をガイドします。全駅に設置しています。



サービス向上への取り組み

お客さまにさらに便利に、安心してご利用いただくために。

全国相互利用サービス

PASMO

「PASMO」および「モバイルPASMO」の利用サービスを導入しています。首都圏をはじめとする、全国の鉄道・バス路線などに加え、電子マネーとしてお買い物にもご利用いただけます。



※PASMOは(株)パスモの登録商標です。

外国人のお客さまにも分かりやすく

観光・暮らしのサポート

■ 駅施設のサイン

駅設備サインや誘導サインなどは、ピクトグラムや日本語・英語・中国語(簡体字)・韓国語の4カ国語で表記しています。車内では、英語による行先・乗換放送が行える機器を導入しています。



4カ国語の駅サイン

より便利に使えるPASMO定期券

Oneだぶる♪・だぶるーと

多くのお客さまからのご意見・ご要望にお応えし、西武新宿駅と高田馬場駅乗り換えでJR山手線新宿方面のどちらもご利用いただけるJR線との連絡定期券「Oneだぶる♪」と、小竹向原駅経由と西武線池袋駅乗り換えのどちらもご利用いただける東京メトロ線・東急線との連絡定期券「だぶるーと」を発売しています。どちらも2つのルートが選べる便利なPASMOの通勤定期券です。



安全・安心な地域づくりのために

こども110番の駅

地域の一員でもある鉄道事業者では、より安全・安心な地域づくりに貢献するため「こども110番の駅」の取り組みを進めています。

当社でも2006年4月から取り組んでおり、お子さまが助けを求めてきたときに保護し、110番通報するなどの対応を取っています。地域の安全・安心を担う一員として、お子さまにとって楽しく、安心な駅を目指します。



©2023 Gullane(Thomas) Limited

瞬時に各所で情報を共有し、返還率アップ

お忘れ物取扱システム

お忘れ物の返還率向上を目指し、社内LANを利用した「お忘れ物取扱システム」を導入しています。情報は各駅または「西武鉄道お客さまセンター」で検索できます。

Webサイト上で「遅延証明書」を発行

「遅延証明書」のWeb化

遅延証明書は、事故などで電車が遅れた際に各駅で発行していましたが、振替輸送のご利用により入手が困難だったり、混雑でお待ちいただくことがありました。こうしたご不便を解消するため、Webサイト上での発行を実施しています。

“おもてなしの心”を

ユニバーサルマナー検定(鉄道)

変化する社会の中、今まで以上にお客さまの安全・安心を守ることを目指し、当社は株式会社ミライロと「ユニバーサルマナー検定(鉄道)」を共同開発しました。この検定は、障がいのある方やご高齢の方のお困りごとや適切なサポート方法などを、鉄道利用のシーンを想定して学ぶ実践的なプログラムです。2023年3月から駅係員を中心に受講を開始しています。



バッジデザイン

専門能力の向上を目指し、高レベルで競われる競技会

乗務競技会

お客さまへのサービス向上、係員の技術向上を目的に行っています。運転士は定時運転による安全な運転技術と乗り心地の向上を競い、車掌は案内放送と接客技術を競う「乗務競技会」があります。

ご高齢者や障がいをお持ちの方々をサポート

駅ボランティア

所沢市と協力し、2004年度より「駅ボランティア」を開始。所沢市内の駅を利用する中学生以上の方、秋草学園短期大学の皆さまなどが活動しています。駅をご利用のご高齢者や障がいをお持ちのお客さまのために、きっぷの購入や手荷物の運搬、通路や階段の移動などをサポートしています。



航空公園駅で実施された駅ボランティア体験会

妊産婦の方々へやさしさを

マタニティマークの配布

鉄道利用の際「妊娠初期の場合は外見からは分かりにくく、妊婦と気づいてもらえない」「勘違いに対する恐れから、妊婦の方へ席を譲れない」。こうした声にお応えし、全駅で妊婦の方々へマタニティマーク(ボールチェーンタイプ)を配布しています。



サービス向上への取り組み

さまざまなふれあいを通じ、お客さま・地域とともに歩みます。

広報誌、Webサイトなどを通じて

情報発信

■ 広報誌

「西武鉄道かわら版」

当社の安全・安心・快適のための取り組みや沿線のトピック、グループ情報などを紹介しています。全駅で配布しているほか、Webサイトでも公開しています。



■ 西武ニュース remo(レモ)

毎月1日に定期発行している西武線沿線のおでかけ情報誌です。西武線沿線のできる「あんなコト」「こんなコト」を冊子、Webサイト、SNSで発信しています。



■ その他のパンフレット

◎ウォーキング&ハイキングなど

■ 西武鉄道Webサイト

<<https://www.seiburailway.jp>>

運行情報、乗換案内、企業情報、観光情報などを発信しており、最新の情報は、スライド式のメインバナーで紹介しています。



◎ 花めぐり

<<https://www.seiburailway.jp/sightseeing/hanameguri/>>

沿線に咲く四季折々の花々を花スポットとともに紹介しています。

◎ ぐるっとプラス

<<https://grutto-plus.com>>

“遊んで”“食べて”“自然に触れる”西武線沿線地域の魅力を共有・発信する情報サイトです。さまざまなスポットを8つのジャンル・エリアに分類。おでかけがもっと楽しくなる情報を随時公開・発信しています。



■ 駅員さんキャラクター

硬くなりがちなお客さまへの告知などを親しみやすくするために登場しました。さまざまなポスターやパンフレットなどで見られるほか、着ぐるみも製作し、各種イベントで活躍しています。



■ テレビCM

2013年3月より、秩父地域などへの旅客誘致や、沿線ブランドイメージの向上を目指してテレビCMを放映しています。

さまざまなSNSで情報発信

西武鉄道公式アカウント

当社のニュースリリースやおすすめ情報、西武線沿線や電車の写真、YouTubeの更新情報等、さまざまなSNSを通じて定期的に投稿しています。

■ YouTube

西武鉄道公式チャンネル

—SEIBU RAILWAY Official Channel—

鉄道に関わる業務を担っている社員の1日密着動画や各種イベントの紹介動画等、文章や写真では伝えきれない西武鉄道および西武線沿線の魅力を動画で定期的に配信しています。



■ X (旧 Twitter)

西武鉄道運行情報【公式】@seiburailway

当社線の電車の運行に15分以上の遅れが発生、または見込まれる場合に「西武鉄道Webサイト」で発信している運行情報をお客さまのスマートフォンなどの端末にお届けしています。

西武鉄道【公式】@seibu_info



■ Instagram

西武鉄道【公式】@seibu_railway_information

<https://www.instagram.com/seibu_railway_information/>

■ Facebook

西武鉄道

<<https://www.facebook.com/seiburailway/>>

公式アカウント一覧



<https://www.seiburailway.jp/officialsns/>

親子で楽しく電車が学べるWebサイト

西武鉄道キッズ

<<https://www.seiburailway.jp/railways/kids/>>

魅力的なキャラクターたちとクイズやゲームを楽しみながら、電車のマナーや沿線の魅力などを学べます。電車のお仕事を体験できるコンテンツやおでかけ情報などもあり、親子で楽しめるWebサイトです。



沿線価値の創造

地域の活性化のために、さまざまな連携を行っています。

地域団体との協力関係

地域の活性化

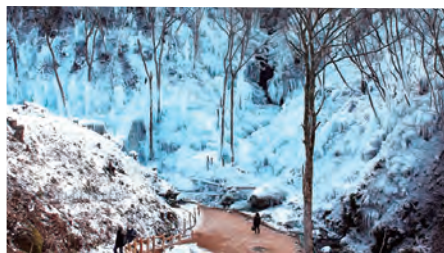
秩父地域活性化の一環として、秩父市・羊山公園「芝桜の丘」への旅客誘致を地域団体とともに展開しているほか、芝桜の見頃となるゴールデンウィークを中心に臨時電車・臨時特急も増発しています。曼珠沙華まんじゆしゃげの群生地である日高市・高麗の里「巾着田」きんちやくだについても同様に協力しています。また、横瀬町で開催する「あしがくぼの氷柱」ひょうちゆうに合わせ、特急電車の臨時停車や氷柱のライトアップに合わせた一部電車の徐行運転も行っています。



秩父市・羊山公園「芝桜の丘」



日高市・高麗の里「巾着田」の曼珠沙華



横瀬町「あしがくぼの氷柱」

沿線地域観光の新しい提案

西武 旅するレストラン「52席の至福」

沿線各地域の活性化と新しい旅行スタイルの提供を目的として、2016年4月にデビュー。4000系車両をリメイクし、外観は荒川の水の流れを表現して、車内の一部には伝統工芸品や地産木材である「西川材」を使用しています。また、当社初となるレストラン車両を設け、すべての座席で食事が楽しめます。



西武 旅するレストラン「52席の至福」



3号車(厨房車両オープンキッチンスペース)



4号車(ダイニング)

地域の活性化を目的に、自治体と連携

地域との連携

■ 西武線沿線サミット協定

2012年に池袋線・西武秩父線の起点・終点をつなぐ4者(豊島区・飯能市・秩父市・当社)にて発足。2018年より新たに2者(所沢市・横瀬町)を、2023年にはさらに1者(清瀬市)を加え、観光・文化・教育・産業・環境などの幅広い分野で連携し、イベントなどを実施しながら各自自治体の魅力を発信しています。



協定締結式の様子(2018年4月)

■ 江古田キャンパスプロジェクト

2019年度より、江古田駅周辺に所在する武蔵大学、日本大学芸術学部、武蔵野音楽大学とともに、江古田のまちを一つのキャンパスに見立て、音楽やアート、カルチャーなど自由な発想・表現で彩り、人と人、人とまちをつないでいくプロジェクトを実施しています。街の活性化とともに、学生の学びを応援することにより地域連携を深めています。



■ はんのーと

2021年度より、地元まちづくり会社の(株)Akinaiや飯能市とともに、飯能エリアの魅力を発信し、飯能に繰り返し訪れる人(=交流人口や関係人口)を増やすことで、飯能エリアへの移住を促進することを目的としたプロジェクトを実施しています。Webサイトでは地域情報や移住をテーマにした情報をお届けするほか、地域の魅力を発信するイベントも実施するなど、飯能エリアでの暮らしが想像できるコンテンツを多数用意しています。



西武線沿線に彩りある暮らしをお届け

SEIBU Green Marchéを開催

2017年より練馬区後援のもと、石神井公園駅中央口改札前にて「SEIBU Green Marché」を開催しています。このマルシェは、練馬区を中心とした西武線沿線産の食材や名産品のおいしさ、すばらしさを生産者さまから直接伝え、味わっていただくことで、西武線沿線の魅力を再発見していただき、その街や駅での暮らしをもっと好きになっていただきたいという想いを込めています。

また、2022年より、厳選された西武線沿線のおいしい食材などをいつでもご自宅でお楽しみいただけるECサイト「SEIBU Green Marché Online」を開設しています。



■ Hanako w/ Seibu

ライフスタイル誌「Hanako」とタイアップし、魅力的なお店や暮らし人をきっかけにライフスタイルやコミュニティの輪を知ることで、西武線沿線の街で暮らすイメージを思い描くことができるサイトとなっています。

Hanako w/ Seibu

ハナコウイズセibu

■ すもうよ! 西武線沿線

2019年度より、SUUMOとタイアップし、西武線沿線の住まい情報を発信することを目的としたWebサイトを制作しています。街の情報・魅力をお届けするとともに、より西武線沿線で暮らすイメージを深めていただけるコンテンツをご用意しています。

沿線価値の創造

各種イベント

当社へより親しみを持っていただくために

さまざまなイベント

当社では、グループスローガン「でかける人を、ほほえむ人へ。」を実現するために、さまざまなイベントを継続して開催しています。

■ 西武・電車フェスタ in 武蔵丘車両検修場

当社最大の車両検修施設を特別に一般公開して、車両検修作業の見学や実演・体験イベントなどを行い、毎年多くのお客さまにご来場いただいています。なお、2023年はコロナ禍前の賑わいに戻すことを目標に、各イベントを実施しました。



■ ウォーキング&ハイキング

当社が行っているウォーキングイベントです。街歩きからハイキングまで幅広く、季節に応じて楽しめるコースを設定しています。



■ WEST CODE第五弾 西武今昔謎物語 ～わがまま姫君の無理難題～

西武線沿線の駅および駅周辺を実際に散策しながら、冊子に記載されている謎を解き明かしていく、分散周遊型のイベント「WEST CODE第五弾 西武今昔謎物語～わがまま姫君の無理難題～」を実施しました。



■ 駅の推し獅子

西武線91駅(小竹向原駅を除く西武線全駅)が、それぞれ応援する「推し」の埼玉西武ライオンズの選手(推し獅子)を設定し、シーズンを通し装飾や演出などによって応援していくプロジェクトをプロ野球2023シーズン開幕日より実施しています。



■ その他のイベント

◎アニメーションとコラボレーションしたスタンプラリーや鉄道ファンや親子を対象としたツアーなど



沿線価値の創造

おでかけをサポートするサービス

人気の観光地へのおでかけに便利でおトク

おトクなきっぷ

当社では、秩父方面、川越方面、横浜方面、都心方面などへのおでかけに、便利でおトクなきっぷを発売しています。

- 秩父フリーきっぷ
- 秩父フリーきっぷ(デジタル)
- 秩父漫遊きっぷ
- 小江戸・川越フリークーポン
- 川越アクセスきっぷ
- 西武横浜ベイサイドきっぷ
- 西武横濱中華街グルメきっぷ
- 西武東急線トライアングルパス
- 西武東京メトロパス
- 箱根フリーパス
- 江の島・鎌倉フリーパス
- 西武線発 みさきまぐるきっぷ
- 西武鉄道サイクルトレインきっぷ(デジタル)
- ムーミンバレーパークおでかけパス(デジタル)
- SEIBU KAWAGOE PASS(西武川越パス)
- SEIBU 1Day Pass・2Day Pass
- MOOMINVALLEY PARK Ticket & Travel Pass

各種おトクなきっぷのパンフレット



外国人のお客さまにも分かりやすく

観光・暮らしのサポート

■ 西武ツーリストインフォメーションセンターの開設

池袋駅構内において、海外からのお客さま向けに、より安心・快適に当社線沿線を観光いただくため、西武ツーリストインフォメーションセンターを開設。西武線沿線の魅力を訪日外国人のお客さまにご案内します。

■ 訪日外国人向けSNS・居住外国人向けSNS

沿線の行事、旬の観光・生活情報およびグループ施設の案内などを発信しています。

■ 外国人定住

外国人の方が沿線でライフサイクルを構築し、住み続けていただくための施策を実施しています。観光目線とは異なり、沿線のお店や人にフォーカスを当てた情報を発信しています。

■ 翻訳対応透明ディスプレイ実証実験

急速に需要が回復する訪日外国人の対応に備え、アプリ等の操作を必要とせず、相手の表情を見ながらの円滑な多言語コミュニケーションが可能となる本ディスプレイの実証実験を、訪日外国人が多く利用する西武新宿駅にて実施しています。また、本ディスプレイにより、外国語話者のスタッフを配置せずとも円滑な多言語コミュニケーションが可能となります。



西武新宿駅

沿線価値の創造

駅ナカ・沿線内外のライフサポート。

コンビニ定番商品など、豊富な品揃え

駅ナカ・コンビニ「トモニー」

「トモニー」は、株式会社ファミリーマートと当社が共同展開している当社線の駅ナカ・コンビニです。立地条件に合わせて「ウォークイン、ステップイン、カウンター、オートマチック・スーパー・デリス(自販機コンビニ)」型の4つのタイプがあり、おむすび・サンドイッチなどのコンビニ定番商品に加え、公共料金の支払いなどサービス機能も充実させ、41店舗(無人店舗6店舗を含む)を展開しています。

2021年8月には、無人決済システムを導入した実用化店舗として「トモニー中井駅店」をリニューアルオープンしました。同店舗は、当該システムを導入したファミリーマートフランチャイズ店舗の第1号店となります。



※店舗によりサービスが一部異なります。※2023年8月1日現在 中井駅店

多様化する働き方に応える

新しい働き方の提供

■ ワークスポット

西武鉄道の駅構内では、隙間時間にプライベートな環境を提供するボックス型のオフィス「テレキューブ」を4駅に、「ステーションブース」を8駅にそれぞれ設置しています。

お客様の多様な働き方のニーズに応えるため、今後もワークスポットを拡充していきます。



所沢駅中央改札内「テレキューブ」



国分寺駅改札内「ステーションブース」

駅構内の利便性向上のために

駅ナカ・駅チカ商業施設「Emio(エミオ)」

「Emio」は、駅をご利用になるお客さまや地域の方々から親しみを持っていただけるよう「あなたの暮らしにほほえみを」という思いを込めて、地域に合わせたテーマを持って展開している駅ナカ・駅チカ商業施設です。エミオ練馬をはじめエミオ狭山市、エミオ石神井公園など16施設あり、駅と沿線の価値向上に努めています。



※西武リアルティソリューションズの運営

エミオ石神井公園

お客さまに好評の西武鉄道グッズ

西武鉄道グッズ

「トモニー」や「西武鉄道オンラインショップ」では、西武鉄道グッズを取り扱っています。当社の電車がデザインされた日用品や雑貨など、おとなからおさままで幅広い世代のお客さまより好評をいただいています。



実車の「端材」を使用した商品



プラレール「西武鉄道001系 Laviaw」

© TOMY 「プラレール」は株式会社タカトミーの登録商標です。

電子マネー決済で簡単・便利・スピーディーに

交通系電子マネー決済

PASMOなどにチャージされた交通系電子マネーは、鉄道やバス以外に、駅ナカ、駅チカ、街ナカの店舗で幅広くご利用いただけます。小銭不要なキャッシュレスは便利で安全。他の決済事業者と協力してマルチマネー(クレジット・電子マネー・QRコード等)端末によるキャッシュレス決済促進を進めており、沿線における利便性向上に努めています。

※PASMOは(株)バスモの登録商標です。

※QRコードは(株)デンソーの登録商標です。

沿線価値の創造

多彩な広告媒体の提供。

接触率が高く、大きな費用対効果

駅構内広告

駅の空間特性を生かした広告で「駅ばり」「サインボード(看板)」「インパクトアド(特殊広告)」「デジタルサイネージ(映像広告)」などがあり、多様でダイナミックな表現が可能です。乗降の多い駅への集中的な掲出や、駅全体のジャック広告など多種多様なPRができます。



駅ばり(池袋ビッグボード)



デジタルサイネージ(池袋駅地下改札外)

鉄道施設を撮影場所として提供

ロケーションサービス

映画やTVドラマなどの撮影ポイントとして駅や電車内をご利用いただき、有料で撮影に協力する事業です。企業名や施設名が作品で紹介されることにより、企業PRや沿線のイメージアップにつながっています。

直接購買に結びつきやすいメディア

車両広告

「中ぶり」や「まど上」「ステッカー」「Smileビジョン(車内映像媒体)」などがあります。なお、一部には「中ぶり」部をすべて、映像放映(Smileビジョン)できる車両があるほか、「車体広告」「広告貸切電車」などのインパクトある展開も可能です。



Smileビジョン



車体広告

楽しく創造して注目率アップ

特殊広告

BIGBOX高田馬場壁面の屋外広告などスペースの有効活用、話題になるような魅力的でインパクトのある広告掲出など、自由に発想した広告を実現できるよう努めています。

屋外広告(BIGBOX高田馬場)



地球環境への配慮

温暖化対策、騒音対策、省資源、自然環境保全にも配慮しています。

地球の未来のために私たちができること

地球温暖化対策

駅でのエコ活動

■ 駅コンコースなどへのLED照明の導入

CO₂の削減と省エネルギーを目指して、駅リニューアルなどの設備改修時に、コンコース、階段、トイレ、ホーム待合室などの各施設でLED照明化および省エネ照明化を進めています。



所沢駅 西口

■ 駅の緑化

お客さまに潤いと安らぎの空間を提供するとともに、環境保全にも貢献。駅の外壁やコンコース、ホーム待合室、屋上、トイレなど、多様な緑化に取り組んでいます。

◎椎名町・江古田・石神井公園・入間市・西武球場前・高田馬場・野方・久米川・所沢・航空公園・狭山市・武蔵境・多磨駅など



所沢駅

■ テント膜の使用

自然光を取り入れ、明るく広い駅空間を演出するとともに、電気使用量を削減します。

◎池袋・江古田・石神井公園・保谷・ひばりヶ丘・西武新宿・中井・下井草・花小金井・所沢・狭山市・本川越駅



所沢駅

■ 旅客トイレへの雨水利用

トイレ洗浄水への雨水再利用システムを導入しています。

◎石神井公園・狭山市駅

■ 太陽光発電システムの導入

◎東長崎・江古田・石神井公園・武蔵藤沢・野方・下井草・所沢・拝島駅

■ 再生材の使用

駅舎のコンコースや外壁に使用しています。

◎石神井公園・狭山市駅



石神井公園駅

■ 古レールの利用

コンコース内のりば案内の柱や、街灯の柱に再利用しています。

◎椎名町・東長崎・江古田・中村橋・野方駅

■ 床へのガラスブロックのはめ込み

所沢・狭山市駅の床面に、ガラスブロックをはめ込み、橋上駅舎のコンコースの明かりをホームへ取り入れています。

■ 自然と調和した駅舎計画

武蔵大和駅では、駅舎脇の桜の木をできる限り伐採しないよう駅舎の形を設計し、改良工事を行いました。

2011年10月には、桜並木を生かした環境配慮が特に優れていると認められ、鉄道建築協会賞「作品部門」に入賞しました。



武蔵大和駅

[車両のエコ活動]

■ LED照明の導入

2013年度以降の新造車両(30000系、40000系および001系)より、車内にLED照明を導入し、消費電力およびCO₂排出量を削減するとともに、廃棄物を削減しています。既存車も蛍光灯「0」を目標に順次LED化を進めています。

■ 車両の軽量化

◎6000系(ステンレス製、アルミ製)

◎20000系・30000系・40000系・001系
(アルミ製)



40000系

■ 車両へのVVVF(可変電圧可変周波数制御)インバータ装置の採用と高効率化への更新

2016年度以降に導入した40000系および001系には最新技術のモーターを採用。また、2014年度より6000系車両のインバータ装置の更新を順次実施しており、さらなる省エネルギー化を図っています。

◎6000系・8500系・9000系・
10000系(一部)・20000系・
30000系・40000系・001系

■ 車両の電力回生ブレーキ

(ブレーキにより発電した電力を架線に戻し、ほかの電車が再利用するシステム)の採用

◎2000系・6000系・8500系・
9000系・10000系(一部)・
20000系・30000系・40000系・001系

■ 車両のVVVFインバータ装置の主回路素子冷却用冷媒をフロンから環境負荷のない純水へ切り替え

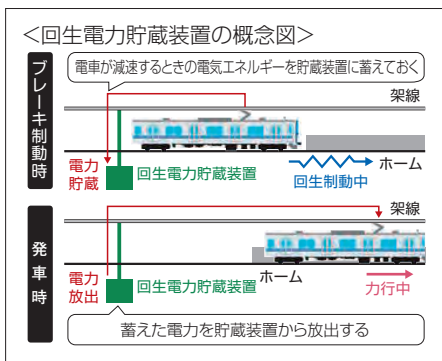
■ 熱線反射フィルムを導入

20000系、9000系、6000系、4000系、2000系の一部の車両の窓ガラスに、紫外線の透過や温度上昇を抑制する「熱線反射フィルム」を導入しています。

地球環境への配慮

電気のエコ活動

- 駅や踏切の照明にLEDを導入
 - 回生電力貯蔵装置(電力回生ブレーキにより発電された電力を蓄えて必要ときに供給する装置)の設置
- ◎田無変電所・吾野変電所・正丸変電所



駅舎補助電源装置の導入

電車がブレーキをかけたときに発生する電力(回生電力)を、駅設備(照明・空調・昇降機)の電源として用いて省エネルギー化を図る設備で、電力を有効活用することで消費電力を削減します。

◎池袋ほか12駅

100%自社グループの太陽光発電でレオライナーを運行

東京電力エナジーパートナー株式会社の協力により、山口線(レオライナー)で使用する電気使用量のすべてを、グループ運営の「西武武山ソーラーパワーステーション」が発電する環境価値が付いた電力でまかなうことを実現。これにより年間約300トン排出していたCO₂を実質ゼロで運行することが可能になりました。



沿線でのエコ活動

沿線の美化・緑化

- ◎東久留米～清瀬駅間、新井薬師前～沼袋駅間、高麗駅、横瀬駅などの線路脇などへ植樹
- ◎武蔵境駅高架橋上の線路間スペースに緑化を実施

いつもの「電車」にそのまま「自転車」で乗車できる

西武多摩川線サイクルトレイン

多摩川線において、平日の一部時間帯および土休日の終日、電車内へ自転車を持ち込み、乗車ができるサイクルトレインを運行しています。サイクルトレインは、お買い物やサイクリングなどにおけるお客さまの行動範囲を広げることで地域交通の利便性拡充に貢献します。また、自動車に比べてCO₂の排出量が少ない電車と自転車を組み合わせてご利用いただくことにより、SDGsの取り組みとして、環境保全にも効果が期待できます。



小さなことの積み重ねから始めます

省資源・廃棄物対策

省資源対策

- 使用済み乗車券類のリサイクル
- 資源ゴミのリサイクル
- 建設現場におけるリサイクル材の使用
- 座席の詰め物へのリサイクル可能なポリエステル素材の使用
- 車両製造時および廃棄時にリサイクル性の高いアルミ構体を採用

廃棄物対策

- PCB(ポリ塩化ビフェニル)廃棄物の適正管理、適正処理
- 建設リサイクル法に則った建設廃材の適切な処理
- 車両部品の非アスベスト化
- 車両の電子機器プリント基板の非鉛化

VOC(揮発性有機化合物)排出量削減対策

- 亜鉛メッキ処理
◎池袋・東長崎・ひばりヶ丘駅など



VOC対策(亜鉛メッキ処理・池袋駅)

連続立体交差化による踏切部の交通渋滞の解消

- ◎池袋線 桜台～練馬高野台駅間(19踏切廃止済)
- ◎池袋線 石神井公園駅付近(9踏切廃止済)
- ◎新宿線 中井～野方駅間(今後7踏切廃止予定)
- ◎新宿線 東村山駅付近(今後5踏切廃止予定)
- ◎多摩川線 武蔵境駅付近(3踏切廃止済)



エネルギー情勢にも対応

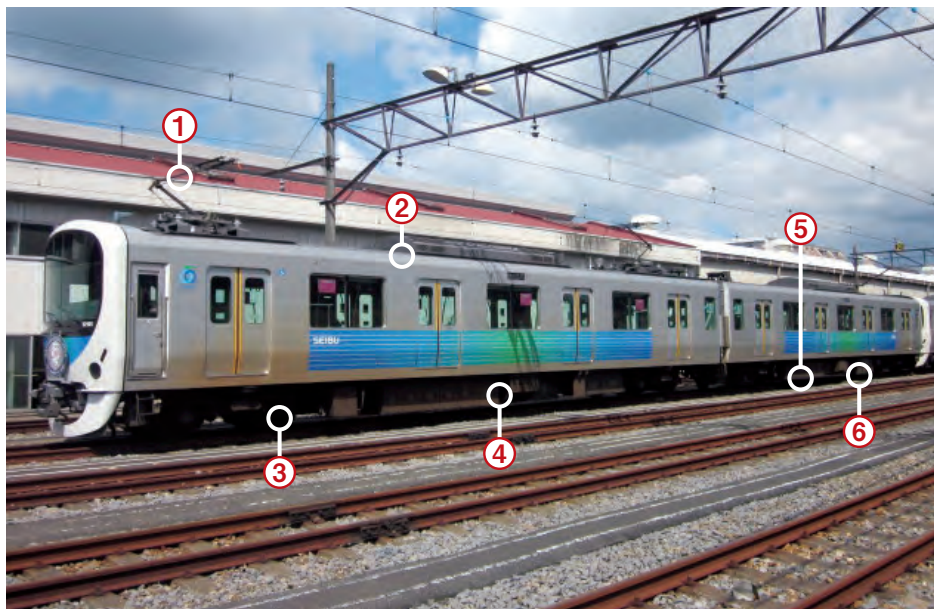
メガソーラー発電設備の設置

2013年4月より事業を開始し、武蔵丘車両検修場の屋根に太陽光パネルを設置しました。2014年1月より発電を開始し、発電した電気は電力事業者に売電しています。エネルギー情勢の変化に対応し、未来の地球環境保全に努めます。



太陽光パネル設置の様子

[車両における騒音・振動の低減]



(写真の車両は30000系)

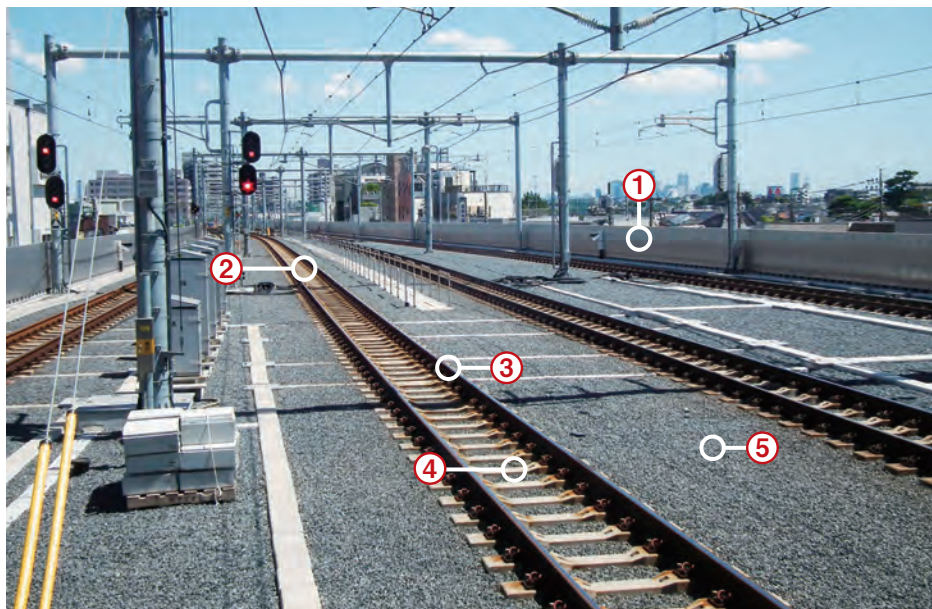
- ① 走行時の風切り音を低減するため「シングルアームパンタグラフ」を採用
- ② ステンレス製またはアルミ製による「車両の軽量化」(6000系・20000系・30000系・40000系・001系)
- ③ カーブ区間における「きしり音」などの騒音を低減するため「防音車輪」を採用
- ④ 新型交流モーターを駆動制御することで、モーター回転音の低減を図る「VVVFインバータ制御装置」を採用
- ⑤ 車内の冷暖房や蛍光灯などの電源の発電機を、回転機から静止型インバータに切り替え
- ⑥ ブレーキ装置やドアの開閉に使用する圧縮空気を作り出す電動空気圧縮機を交流化し、回転音を低減

■ その他

- ◎電車の警笛にやわらかな音色の「電子ホーン」を採用
- ◎車輪の摩擦によってできる平面を防止するため、車輪に「滑走防止装置」を設置
- ◎定期的な「車輪の削正」により、車輪表面の凹凸をなくし、走行時の騒音を低減



[軌道における騒音・振動の低減]



- ① 高架区間に、電車通過時の騒音を低減する「防音壁」を整備
- ② レールを溶接し、レールの継ぎ目個所を減少させることで、列車の騒音・振動を低減、乗り心地の向上が図れる「ロングレール化」を実施
- ③ 振動の低減を図るために、レールの重量を1mあたり50kgから60kgに交換する「レールの重軌条化」を推進
- ④ 騒音の低減、乗り心地の向上を図るために「防振マクラギ」を使用
- ⑤ 高架区間におけるコンクリート道床に、「消音碎石」を散布

■ その他

- ◎レール削正車により、レール踏面(電車の車輪がレールに接触する部分)を削正
- ◎継ぎ目の数を減らし、騒音・振動の低減が図れる「弾性分岐器」を導入
- ◎夜間作業で使用する保線機械に「防音扉」を設置
- ◎工事における騒音・振動の抑制のために、低騒音・低振動の工法・機械を採用



レール削正車

業績データ 貸借対照表

■貸借対照表(単体) (2023年3月31日現在)

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	21,915	流 動 負 債	445,834
現 金 及 び 預 金	4,187	短 期 借 入 金	298,477
未 収 運 賃	1,761	未 払 金	51,895
未 収 収 入 金	2,465	未 払 費 用	2,663
未 収 還 付 法 人 税 等	207	未 払 消 費 税 等	443
分 譲 土 地 建 物	3,233	未 払 法 人 税	110
商 材 及 び 貯 蔵 品	228	預 り 連 絡 運 賃	1,951
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,614	預 り	1,095
前 払 金	6,754	前 受 運 賃	5,269
前 払 費 用	770	前 受 金	81,088
そ の 他 の 流 動 資 産	696	賞 与 引 当 金	2,769
貸 倒 引 当 金	△ 3	事 業 所 閉 鎖 損 失 引 当 金	5
		資 産 除 去 債 務	66
固 定 資 産	793,345	固 定 負 債	131,171
鉄 道 事 業 固 定 資 産	318,514	長 期 借 入 金	95,506
鉄 道 事 業 固 定 資 産	172,911	鉄 道 ・ 運 輸 機 構 長 期 未 払 金	6,014
各 事 業 関 連 固 定 資 産	3,374	繰 延 税 金 負 債	9,838
建 設 仮 勘 定	121,129	退 職 給 付 引 当 金	15,350
投 資 所 の 他 の 資 産	177,415	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	13
関 係 会 社 株 式	130,215	役 員 株 式 給 付 引 当 金	16
投 資 有 価 証 券	44,715	資 産 除 去 債 務	949
長 期 前 払 費 用 等	1,430	そ の 他 の 固 定 負 債	3,482
そ の 他 の 投 資 等	1,055		
		負 債 合 計	577,006
		(純 資 産 の 部)	
		株 主 資 本	228,752
		資 本 金	21,665
		資 本 剰 余 金	9,687
		そ の 他 資 本 剰 余 金	9,687
		利 益 剰 余 金	197,399
		利 益 準 備 金	5,416
		そ の 他 利 益 剰 余 金	191,983
		特 別 償 却 準 備 金	854
		固 定 資 産 圧 縮 積 立 金	15,672
		固 定 資 産 圧 縮 特 別 勘 定 積 立 金	6,882
		別 途 積 立 金	2,300
		繰 越 利 益 剰 余 金	166,274
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	9,502
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	9,502
		純 資 産 合 計	238,254
資 産 合 計	815,261	負 債 純 資 産 合 計	815,261

業績データ 損益計算書

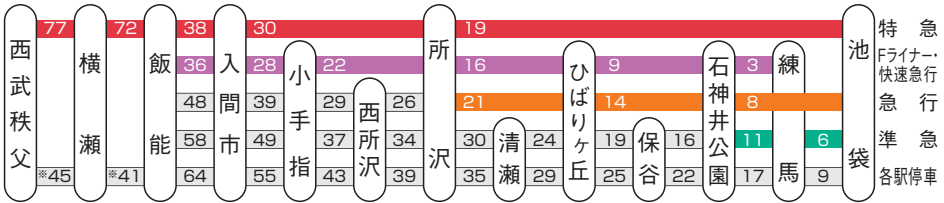
■損益計算書(単体) (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:百万円)

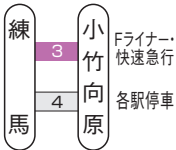
科 目	金 額	
鉄 道 事 業		
営 業 収 益	88,956	
営 業 費	83,863	
営 業 利 益		5,093
付 帯 事 業		
営 業 収 益	38,124	
営 業 費	35,370	
営 業 利 益		2,753
全 事 業 営 業 利 益		7,846
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	1,193	
そ の 他	526	1,720
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	3,594	
そ の 他	338	3,933
経 常 利 益		5,633
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	10,311	
工 事 負 担 金 等 受 入 額	249	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	1,174	11,734
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	1	
工 事 負 担 金 等 圧 縮 額	249	
減 損 損 失	10,048	
そ の 他	1,070	11,370
税 引 前 当 期 純 利 益		5,998
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	43	
法 人 税 等 調 整 額	△1,642	△1,598
当 期 純 利 益		7,597

輸送データ 起点駅から主要停車駅までの所要時分

池袋線・西武秩父線



西武有楽町線



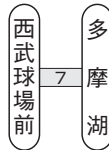
豊島線



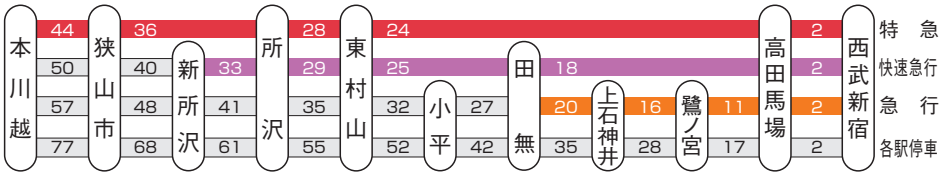
狭山線



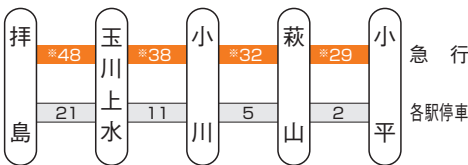
山口線



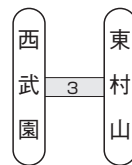
新宿線



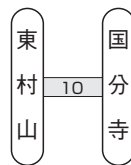
拝島線



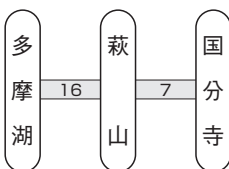
西武園線



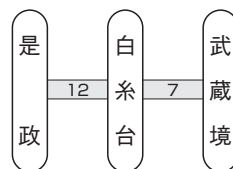
国分寺線



多摩湖線



多摩川線



は各駅停車 (単位:分)

[注意]

○列車種別は日中に運転している種別のみとしました。

○所要時分は、日中の最速時分ですので、時間帯、待ち合わせなどにより異なります。

輸送データ 駅別乗降人員(1日平均)

順位	駅名	乗降人員		指数
		'22年度	'21年度	
池袋線				
1	池袋	397,892	355,767	112
50	椎名町	18,146	16,994	107
38	東長崎	24,170	22,544	107
28	江古田	28,785	24,432	118
59	桜台	14,154	13,090	108
5	練馬	110,966	101,327	110
23	中村橋	35,844	33,149	108
35	富士見台	25,153	22,957	110
36	練馬高野台	24,395	22,480	109
10	石神井公園	71,474	65,696	109
8	大泉学園	75,513	69,496	109
14	保谷	53,701	50,054	107
12	ひばりヶ丘	63,812	58,883	108
16	東久留米	48,688	44,425	110
13	清瀬	58,830	54,478	108
9	秋津	71,805	65,338	110
40	西所沢	22,810	21,004	109
20	小手指	40,509	37,182	109
44	狭山ヶ丘	21,426	19,811	108
45	武蔵藤沢	21,288	19,367	110
69	稲荷山公園	8,657	7,518	115
29	入間市	28,740	26,651	108
67	仏子	8,963	8,299	108
75	元加治	6,373	5,415	118
33	飯能	26,414	23,536	112
79	東飯能	4,965	4,535	110
83	高麗	2,183	1,896	115
91	武蔵横手	238	249	96
88	東吾野	398	360	111
87	吾野	556	495	112

西武秩父線				
90	西吾野	256	247	104
92	正丸	173	169	102
89	芦ヶ久保	369	316	117
86	横瀬	1,249	1,049	119
78	西武秩父	5,756	4,790	120

順位	駅名	乗降人員		指数
		'22年度	'21年度	
西武有楽町線				
4	小竹向原	122,362	111,406	110
68	新桜台	8,716	7,999	109

豊島線				
66	豊島園	9,871	8,888	111

狭山線				
72	下山口	6,971	6,454	108
65	西武球場前	10,440	6,450	162

山口線				
85	西武園ゆめろく	1,667	1,611	104

新宿線				
3	西武新宿	135,139	122,945	110
2	高田馬場	250,377	223,847	112
63	下落合	10,815	9,858	110
34	中井	25,357	21,640	117
49	新井薬師前	18,321	17,112	107
54	沼袋	16,623	15,698	106
43	野方	21,546	19,979	108
55	都立家政	16,356	15,151	108
30	鷲ノ宮	28,112	25,919	109
46	下井草	20,920	19,315	108
52	井荻	17,126	15,797	108
51	上井草	17,431	16,296	107
21	上石神井	38,002	35,354	108
31	武蔵関	27,659	25,619	108
47	東伏見	20,488	18,710	110
58	西武柳沢	14,614	13,381	109
11	田無	63,936	59,316	108
15	花小金井	49,987	45,498	110
25	小平	33,184	30,576	109
27	久米川	28,861	26,474	109
19	東村山	42,555	39,397	108
7	所沢	95,294	86,613	110
41	航空公園	22,428	20,480	110
18	新所沢	45,869	42,857	107

順位	駅名	乗降人員		指数
		'22年度	'21年度	
新宿線				
57	入曽	15,393	14,168	109
24	狭山市	35,140	32,066	110
53	新狭山	16,641	15,973	104
56	南大塚	15,806	14,620	108
17	本川越	47,349	43,048	110

拝島線				
42	東大和市	21,983	20,043	110
22	玉川上水	37,552	33,445	112
62	武蔵砂川	11,196	10,123	111
64	西武立川	10,623	9,661	110
26	拝島	32,065	29,774	108

西武園線				
81	西武園	3,070	2,757	111

国分寺線				
6	国分寺	104,586	93,722	112
60	恋ヶ窪	11,713	10,773	109
39	鷹の台	23,092	19,693	117
37	小川	24,248	22,507	108

多摩湖線				
48	一橋学園	18,959	16,983	112
71	青梅街道	7,528	6,892	109
70	菰山	8,643	7,869	110
77	八坂	5,861	5,327	110
73	武蔵大和	6,825	6,108	112
84	多摩湖	2,105	1,924	109

多摩川線				
32	武蔵境	26,681	24,123	111
80	新小金井	3,624	3,315	109
61	多磨	11,589	10,284	113
76	白糸台	6,038	5,410	112
82	競艇場前	2,773	2,518	110
74	是政	6,587	6,159	107

合計		3,063,348	2,783,924	110
----	--	-----------	-----------	-----

(単位:人)

輸送データ 輸送人員

輸送人員(年間)

2022年度の輸送人員は5億59百万人、うち定期旅客は3億35百万人で、全体の60%、定期外旅客は2億24百万人で40%となっています。

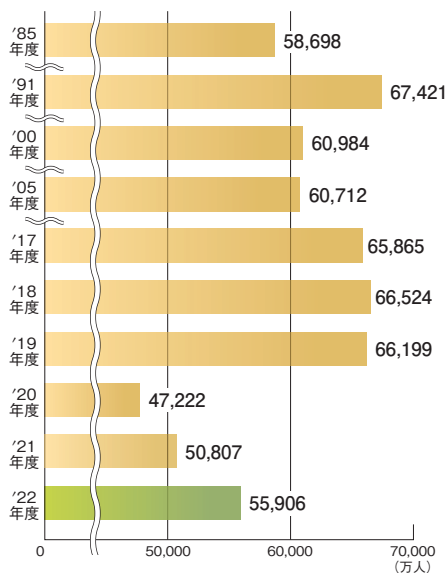
■ 年間輸送人員構成

(単位:万人)

	定期	定期外	合計
2022年度	33,552 (60%)	22,354 (40%)	55,906 (100%)
	通学 7,602 (14%)		
2021年度	31,231 (61%)	19,576 (39%)	50,807 (100%)
	通学 6,498 (13%)		
前年比	107.4%	114.2%	110.0%
	通学 117.0%		

定期の下段は、定期のうち通学定期を示しています。

■ 輸送人員の推移



輸送人員(1日平均)

2022年度の1日平均輸送人員は153万人、うち定期旅客は92万人で、全体の60%、定期外旅客は61万人で40%となっています。

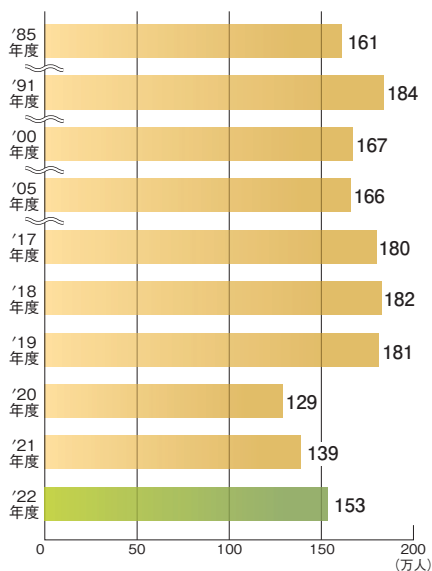
■ 1日平均輸送人員構成

(単位:万人)

	定期	定期外	合計
2022年度	92(60%)	61(40%)	153(100%)
	通学 21(14%)		
2021年度	85(61%)	54(39%)	139(100%)
	通学 18(13%)		

定期の下段は、定期のうち通学定期を示しています。

■ 1日平均輸送人員の推移



輸送データ 旅客収入

旅客収入(年間)

2022年度の旅客運輸収入は、852億13百万円となりました。内訳は、定期旅客収入が360億92百万円で全体の42%、定期外旅客収入が491億21百万円で58%となっています。旅客一人当たりの平均運輸収入は152円(定期108円、定期外220円)です。

■ 年間旅客収入構成

(単位:百万円)

	定期	定期外	合計
2022年度	36,092 (42%)	49,121 (58%)	85,213 (100%)
	通学 3,067 (4%)		
2021年度	34,861 (45%)	42,309 (55%)	77,170 (100%)
	通学 2,643 (3%)		
前年比	103.5%	116.1%	110.4%
	通学 116.0%		

定期の下段は、定期のうち通学定期を示しています。

旅客収入(1日平均)

2022年度の1日平均旅客収入については2億33百万円となりました。内訳は、定期が99百万円で全体の42%、定期外が1億35百万円で58%となっています。

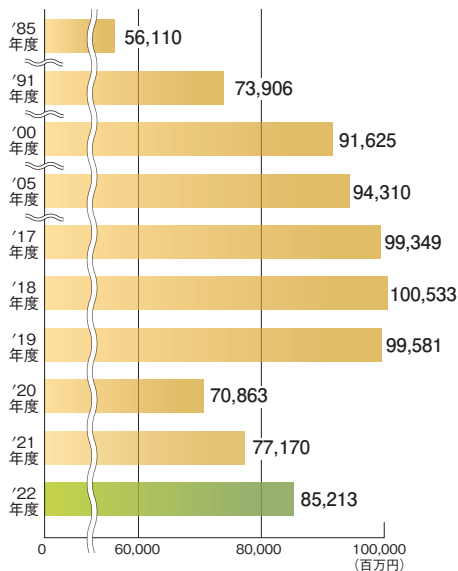
■ 1日平均旅客収入構成

(単位:百万円)

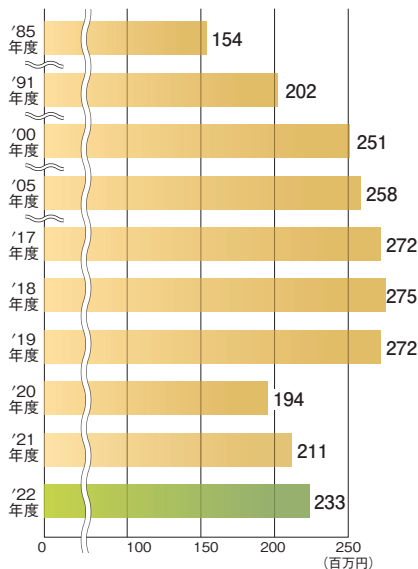
	定期	定期外	合計
2022年度	99(42%)	135(58%)	233(100%)
	通学 8(4%)		
2021年度	95(45%)	116(55%)	211(100%)
	通学 7(3%)		

定期の下段は、定期のうち通学定期を示しています。

■ 旅客収入の推移

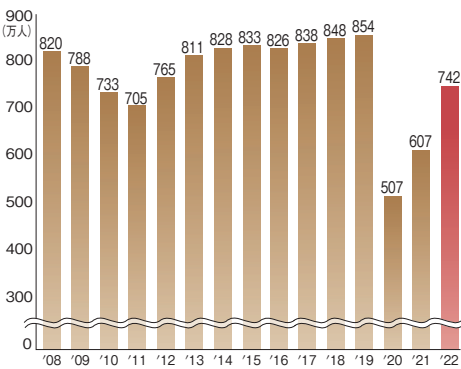


■ 1日平均旅客収入の推移



輸送データ ご利用状況・運賃・料金・大手民鉄各社の比較

■ 特急輸送人員の推移



※2022年度の座席指定列車の輸送人員は97万人です。(外数)

■ 主要駅間終日通過人員(2022年度 1日平均)(単位:人、%)

区間	上り下り合計		
	輸送力	通過人員	混雑率
池袋～椎名町	753,114	397,892	52.8
練馬高野台～石神井公園	962,170	411,991	42.8
保谷～ひばりヶ丘	713,638	292,939	41.0
秋津～所沢	656,370	211,695	32.3
西所沢～小手指	564,074	136,342	24.2
元加治～飯能	319,156	35,607	11.2
高田馬場～下落合	683,114	369,687	54.1
上井草～上石神井	683,114	280,921	41.1
西武柳沢～田無	637,522	234,756	36.8
東村山～所沢	359,800	123,132	34.2
南大塚～本川越	296,138	47,349	16.0
小川～東大和市	273,274	72,942	26.7
国分寺～恋ヶ窪	176,808	66,858	37.8

■ 普通旅客運賃の推移 (単位:円)

改定年月日	最低普通運賃	池袋～所沢駅間普通運賃
1948. 5.18	2	16
1948. 7.18	3	30
1949. 5. 5	5	30
1950. 5.12	5	35
1951. 11. 1	10	50
1953. 1.15	10	60
1959. 1.29	10	60
1962. 11. 1	10	70
1966. 1.20	20	90
1970. 10. 5	30	110
1974. 7.20	40	140
1975. 12.13	60	160
1979. 1. 8	70	170
1981. 5. 6	80	200
1984. 1.25	90	210
1988. 5.18	90	230
1989. 4. 1	90	240
1991. 11.20	110	280
1995. 9. 1	130	300
1997. 4. 1	130	310
1997. 12.28	140	330
2002. 4. 1	140	330
2014. 4. 1	144/150	340/340
2019. 10. 1	147/150	346/350

※2014-2019年の運賃表記は、(1円単位)/(10円単位)です。

- 小児の運賃は、大人の運賃の半額です。
1円単位運賃の1円未満のは数は切り捨てます。
10円単位運賃の10円未満のは数は10円単位に切り上げます。
- 1キロに満たないのは数は1キロに切り上げます。

■ 特急料金 (単位:km、円)

キロ数	料金	
～18	大人 400	小児 200
19～35	大人 500	小児 250
36～60	大人 600	小児 300
61～	大人 900	小児 450

※事前に特急券を購入しないで乗車した場合は、200円を加算した額をいただきます。

■ 指定料金(当社線内) (単位:km、円)

キロ数	料金	
～50	大人 400	小児 200
51～	大人 500	小児 250

※事前に指定券を購入しないで乗車した場合は、200円を加算した額をいただきます。

■ 鉄道駅バリアフリー料金 加算額 (単位:円)

普通旅客運賃	通勤定期旅客運賃		
	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
10	600	1,710	3,240

- ※1 小児は、鉄道駅バリアフリー料金加算後の大人の半額です。
- ※2 通勤定期旅客運賃には鉄道駅バリアフリー料金は加算しません。
- ※3 企画乗車券は、往復利用を前提としているため、1企画乗車券につき大人20円(1乗車10円の往復分)、小児10円(大人の半額相当)を基本に収受します。
- ※4 フリーきっぷタイプの記念乗車券は企画乗車券と同様、片道乗車券タイプの記念乗車券は普通旅客運賃と同様に収受します。

■ 普通旅客運賃対キロ表 (単位:km、円)

キロ数	運賃(1円単位/10円単位)	キロ数	運賃(1円単位/10円単位)	キロ数	運賃(1円単位/10円単位)
1～4	147/150	29～32	377/380	57～60	608/610
5～8	178/180	33～36	409/410	61～64	639/640
9～12	210/210	37～40	440/440	65～68	682/690
13～16	242/250	41～44	471/480	69～72	712/720
17～20	272/280	45～48	503/510	73～76	754/760
21～24	304/310	49～52	534/540	77～81	786/790
25～28	346/350	53～56	566/570		

※2023年8月1日現在

輸送データ ご利用状況・運賃・料金・大手民鉄各社の比較

■ 普通旅客運賃の乗り継ぎ割引

●下記の当社線駅と連絡鉄道線駅の間を乗り継いで乗車される場合には、以下の通り割引をいたします。

当社線駅	接続駅	連絡鉄道線駅	割引額
新小金井・多磨	武蔵境	[JR線] 三鷹・東小金井	大人20円 小児10円
恋ヶ窪・鷹の台・一橋学園 青梅街道	国分寺	[JR線] 武蔵小金井・西国分寺	大人20円 小児10円
西武立川～玉川上水 各駅	拜島	[JR線] 昭島・牛浜・福生・熊川・東福生	大人20円 小児10円
新桜台・練馬・桜台・豊島園	小竹向原	[東京メトロ線] 千川・要町・氷川台・平和台	大人20円 小児10円
東長崎～桜台 各駅 中村橋～練馬高野台 各駅 新桜台・小竹向原	練馬	[都営線] 豊島園・練馬春日町 新江古田・落合南長崎	大人20円 小児10円
椎名町・東長崎	池袋	[JR線] 目白・高田馬場・大塚・巣鴨・板橋 [東武線] 北池袋～中板橋 各駅 [東京メトロ線] 新大塚・茗荷谷・東池袋 護国寺・雑司が谷・西早稲田 要町・千川	[JR線] 大人10円 小児10円 [東武線・東京メトロ線] 大人20円 小児10円
高田馬場～中井 各駅	西武新宿	[東京メトロ線] 新宿三丁目・東新宿・北参道 新宿御苑前・西新宿 中野坂上・新中野・中野新橋 [都営線] 都庁前・新宿・西新宿五丁目 東新宿・若松河田	大人20円 小児10円
西武新宿 下落合～新井薬師前 各駅	高田馬場	[JR線] 新大久保・新宿・目白・池袋 [東京メトロ線] 早稲田・神楽坂・落合・中野	[JR線] 大人10円 小児10円 [東京メトロ線] 大人20円 小児10円
西武新宿～下落合 各駅 新井薬師前～野方 各駅	中井	[都営線] 東中野・中野坂上・落合南長崎 新江古田	大人20円 小児10円

■ 大手民鉄各社の比較 (2022年度)

	会社創立 年月日	資本金 (百万円)	営業収益 (百万円)	従業員数 (人)	旅客営業 キロ (km)	駅数 (駅)	旅客運輸 収入 (百万円)	輸送人員 (千人)	在籍 車両数 (両)	旅客人キロ (百万人キロ)
西武鉄道	1912. 5. 7	21,665	127,081	3,650	176.6	92	85,212	559,061	1,227	7,312
東武鉄道	1897.11. 1	102,135	204,585	3,346	463.3	205	126,090	798,420	1,817	10,414
京成電鉄	1909. 6.30	36,803	72,773	1,831	152.3	69	51,684	251,208	606	3,370
京王電鉄	1910. 9.21	59,023	115,954	2,410	84.7	69	67,130	553,889	877	6,404
小田急電鉄	1923. 5. 1	60,359	144,058	3,712	120.5	70	101,034	648,656	1,062	9,773
東急電鉄	1922. 9. 2	100	135,397	3,657	110.7	99	120,341	988,883	1,304	9,149
京浜急行電鉄	1898. 2.25	43,738	104,491	2,891	87	73	65,997	404,440	790	5,352
東京メトロ	2004. 4. 1	58,100	327,042	9,721	195.0	180	281,364	2,171,910	2,722	17,673
相模鉄道	1917.12.18	100	29,828	1,040	42.2	27	27,356	199,091	426	2,097
名古屋鉄道	1894. 6.25	101,158	90,332	4,987	444.2	275	75,026	341,058	1,076	6,193
近畿日本鉄道	1910. 9.16	100	135,705	6,773	501.1	286	122,040	501,393	1,885	8,999
南海電気鉄道	1885.12.27	72,983	92,065	2,635	153.3	98	46,457	203,712	696	3,202
京阪電気鉄道	1906.11.19	100	48,877	1,324	91.1	89	43,085	243,608	696	3,431
阪急電鉄	1907.10.19	100	176,054	3,063	143.6	90	84,809	571,636	1,291	7,906
阪神電気鉄道	1899. 6.12	29,384	76,263	1,341	48.9	51	30,462	218,671	358	2,033
西日本鉄道	1908.12.17	26,157	199,705	4,502	106.1	72	17,829	92,504	297	1,336

データ集

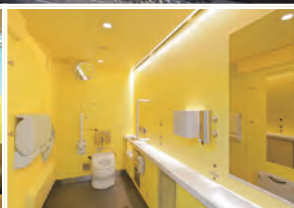
車両紹介 快適性を追求した新型車両を導入



001系車両

これからの西武鉄道の未来を担う新たなフラッグシップトレインとして、2019年3月16日にデビューしました。

愛称「Laview(ラビュー)」には、「L」贅沢(Luxury)なりビング(Living)のような空間、「a」矢(arrow)のような速達性、「view」大きな窓から移りゆく眺望(view)、都市や自然の中でやわらかく風景に溶け込む特急として、多くのお客さまに特急電車での旅を楽しんでいただきたいという想いが込められています。



10000系車両(ニューレッドアロー)

5000系初代レッドアローに替わり、1993年に登場。ゆとりある座席スペースを持つ7両編成の特急車両です。車いす対応シートを備えるほか、サンタリー設備やLEDによる車内案内表示器、自動放送装置、通話式非常通報装置なども設置し、さらに2016年には全車両にWi-Fiを導入するなどサービスの向上を図っています。また、2006年より全車禁煙になっています。



40000系車両



「人にやさしい、みんなと共に進む電車」をコンセプトに、2017年3月に登場。当社初の「ロング・クロスシート転換車両」、車いすやベビーカーをご利用の方に便利な「パートナーゾーン」を設置し、新たな「車両バリアフリー」を提案しています。

さらに、快適性向上のため車内に空気清浄機を搭載し、Wi-Fiアクセスポイントやお客さま用のコンセントも設置しています。また最新技術のモーターを採用するなど、省エネルギー化・低騒音化に配慮した車両です。2017年にはキッズデザイン賞「内閣総理大臣賞」(最優秀賞)、グッドデザイン賞を受賞しました。



30000系車両(スマイルトレイン)



「Smile Train～人にやさしく、みんなの笑顔をつくりだす車両～」をコンセプトにした通勤車両で、2008年4月に登場。安全性(アルミダブルスキン車体)・快適性(拡幅車体・全自動空調制御)に加え、スマイルビジョン(カラー液晶画面)による情報提供や車体の低床化など、ユニバーサルデザインにも配慮しました。2009年にはキッズデザイン賞を受賞。

また、2013年度増備分より従来のデザインはそのままに、荷棚の高さの変更やLED照明の本格採用など、さらに使いやすさの向上と省エネルギー化に配慮した車両となっています。



車両紹介



20000系車両

「環境と人にやさしい」をテーマに開発された車両で、2000年2月にデビューしました。車体の素材にはアルミを使用し、大幅な軽量化を実現。走行音を減少させるとともに、電力回生ブレーキの採用と相まって電力消費量を抑え、省エネルギーにも貢献しています。また、このアルミ車体や座席のクッションなどは、リサイクルにも配慮しています。また、西武鉄道の車両としては初めて、ワンハンドル・マスコンや、LEDによる車外の種別・行先表示を採用。2002年以降の車両は床面を30mm下げてホームとの段差を少なくしています。



9000系車両

1993年に登場した当時は、10両固定編成の通勤車両で、車内案内表示器、車いすスペースなどサービス設備が充実。2003年から制御装置をVVVFインバータに、ブレーキを回生機能付にする改造工事を進め、2007年度に全編成の工事が終了。その後、国分寺～多摩湖駅間でワンマン運転を実施するために、2019年度よりワンマン運転対応と4両固定編成化するための改造を実施し、2020年度に工事が終了しました。



6000系車両

東京メトロ有楽町線との相互直通運転対応車として1992年に登場。10両固定編成の通勤車両で、車体は当社初のオールステンレス製。VVVFインバータ装置により誘導電動機を駆動するハイテク・省エネ車両です。快適な空調、車内案内表示器、自動放送、ドア開閉予告チャイム、車いすスペースなどのサービス設備も充実しています。1996年12月からの増備車両は車体をアルミに変更し、車号が6050番台となりました。さらに1998年2月には、台車をモノリンク式にして戸袋窓を廃止することなどにより、さらに軽量化した新型の6000系が登場しました。



2000系車両

新宿線の各駅停車の乗降時分短縮と混雑緩和のため、当社初の両開き4ドア車として1977年に登場しました。回生ブレーキ付の界磁チョッパ制御を採用した省エネ車両で、2・4・6・8両と多彩な編成があり、フレキシブルな輸送形態に対応。1988年には、イメージチェンジをした新2000系が登場し、池袋線にも投入されました。

車両紹介



4000系車両

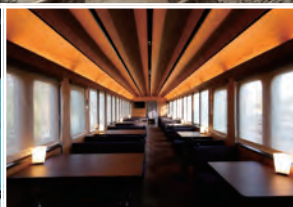
西武秩父線の開業20周年を迎え、多様化するお客さまのニーズに対応すべく、1988年に登場。4両編成2扉セミクロスシート車両で通勤、行楽に対応し、秩父鉄道線内にも直通運転しています。車両性能は、101系と同様で山岳区間を安全に運転するための抑速ブレーキ付発電ブレーキも備え、寒冷地対策、トイレ、半自動式のドア、行先別に案内放送ができる分割放送などの旅客サービスも十分に配慮。4+4の8両編成でも運転し、横瀬駅で秩父鉄道の三峰口駅行きと長瀬駅行きに分割して運転しています。2003年からワンマン運転が可能な改造を実施しました。



4000系52型車両

西武線沿線各地域の活性化と新しい旅行スタイルの提供を目的に、全席レストラン車両として2016年4月に登場。愛称は、西武 旅するレストラン「52席の至福」としました。

建築家の隈研吾氏によるデザインで、外装は秩父の四季と荒川の流れをダイナミックに表現。内装は渓谷などの自然をモチーフとしてイメージし、天井に柿渋和紙や西川材を使用。4000系車両(4両1編成)をリメイクし、52名の定員で臨時電車として、池袋～西武秩父駅間・西武新宿～西武秩父駅間など土休日を中心に年間100日程度運行しています。





101系車両

1969年の西武秩父線開業に合わせて登場しました。3ドア車体の通勤車両で、山岳区間の運転からラッシュ輸送まで幅広く対応できる車両性能を備えています。特に主電動機は150KWという強力なもので、抑速ブレーキ付発電ブレーキと相まって山岳区間を安全に運転しました。これらの性能は10000系車両(ニューレッドアロー)まで踏襲されています。現在は、ワンマン運転に対応し、狭山線・多摩川線で活躍しています。



8500系車両(レオライナー)

1985年に登場。電力回生ブレーキ付VVVFインバータによる誘導電動機で駆動する省エネルギー車両で、ゴムタイヤで走行します。車内からは視界も広く、振動の少ない乗り心地の良い車両です。2021年4月1日より、山口線(レオライナー)で使用する電気使用量のすべてをグループで運営する「西武武山ソーラーパワーステーション」が発電する環境価値がついた電力でまかなうことで、実質CO₂排出ゼロで運行しています。

主要諸元

車両形式	愛称	固定編成	保有車両数	製造初年	扉数
001系	Laview	8	56	2018年	1
10000系	ニューレッドアロー	7	35	1993年	1または2
40000系		10	160	2017年	4
30000系	スマイルトレイン	2・8・10	216	2008年	4
20000系		8・10	144	1999年	4
9000系		4	20	1993年	4
6000系		10	250	1992年	4
4000系		4	44	1988年	2
4000系52型	西武 旅するレストラン [52席の至福]	4	4	1989年	1
2000系		2・4・6・8	258	1977年	4
101系		4	28	1968年	3
8500系	レオライナー	4	12	1985年	1

座席配置	サービス設備	モーター出力kw	制御方式	ブレーキ
クロス	自動放送／案内表示 車いす対応座席 多目的トイレ 女性専用トイレ／パウダールーム 電源コンセント SEIBU FREE Wi-Fi AED	170	VVVF	空気・回生
クロス	自動放送／案内表示 車いす対応座席 トイレ 自動販売機 SEIBU FREE Wi-Fi	抵抗150 VVVF135	抵抗または VVVF	空気・発電・抑速 または 空気・回生
ロング ロング/クロス両用座席	自動放送／案内表示 弱冷房車 パートナーゾーン 多機能トイレ(一部編成) 電源コンセント(一部編成) SEIBU FREE Wi-Fi(一部編成) プラズマクラスター	190	VVVF	空気・回生
ロング	優先席／自動放送／案内表示 車いすスペース 弱冷房車(8、10両のみ)	165	VVVF	空気・回生
ロング	優先席／自動放送／案内表示 車いすスペース／弱冷房車	135	VVVF	空気・回生
ロング	優先席／自動放送／案内表示 車いすスペース／弱冷房車	135	VVVF	空気・回生
ロング	優先席／自動放送／案内表示 車いすスペース／弱冷房車	155 170 190	VVVF	空気・回生
セミクロス	優先席／トイレ／自動放送	150	抵抗	空気・発電・抑速
—	多目的トイレ	150	抵抗	空気・発電・抑速
ロング	優先席／弱冷房車(6・8両編成) 車いすスペース(一部) 案内表示(一部)／自動放送(一部)	130	界磁チヨッパ	空気・回生
ロング	優先席／弱冷房車 車いすスペース／ 案内表示／自動放送	150	抵抗	空気・発電・抑速
クロス	優先席／自動放送	95	VVVF	空気・回生

※2023年3月31日現在

駅一覧

駅名	よみ	所在地	開業年月日
池袋線			
池袋	いけぶくろ	〒171-0022 東京都豊島区南池袋1-28-1	1915. 4.15(大正 4年)
椎名町	しいなまち	〒171-0051 東京都豊島区长崎1-1-22	1924. 6.11(大正13年)
東長崎	ひがしながさき	〒171-0051 東京都豊島区长崎5-1-1	1915. 4.15(大正 4年)
江古田	えこだ	〒176-0005 東京都練馬区旭丘1-78-7	1922.11. 1(大正11年)
桜台	さくらだい	〒176-0002 東京都練馬区桜台1-5-1	1936. 7.10(昭和11年) Ⓔ1945. 2. 3(昭和20年) Ⓕ1948. 4. 1(昭和23年)
練馬	ねりま	〒176-0001 東京都練馬区練馬1-3-5	1915. 4.15(大正 4年)
中村橋	なかむらばし	〒176-0023 東京都練馬区中村北4-2-1	1924. 6.11(大正13年)
富士見台	ふじみだい	〒176-0021 東京都練馬区貫井3-7-4	1925. 3.15(大正14年)
練馬高野台	ねりまたかのだい	〒177-0033 東京都練馬区高野台1-7-27	1994.12. 7(平成 6年)
石神井公園	しゃくじこうえん	〒177-0041 東京都練馬区石神井町3-23-10	1915. 4.15(大正 4年)
大泉学園	おおいずみがくえん	〒178-0063 東京都練馬区東大泉1-29-7	1924.11. 1(大正13年)
保谷	ほや	〒202-0012 東京都西東京市東町3-14-30	1915. 4.15(大正 4年)
ひばりヶ丘	ひばりがおか	〒202-0005 東京都西東京市住吉町3-9-19	1924. 6.11(大正13年)
東久留米	ひがしくるめ	〒203-0014 東京都東久留米市東本町1-8	1915. 4.15(大正 4年)
清瀬	きよせ	〒204-0021 東京都清瀬市元町1-2-4	1924. 6.11(大正13年)
秋津	あきつ	〒189-0001 東京都東村山市秋津町5-7-8	1917.12.12(大正 6年)
西所沢	にしところざわ	〒359-1144 埼玉県所沢市西所沢1-11-9	1915. 4.15(大正 4年)
小手指	こてさし	〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町1-8-1	1970.11.20(昭和45年)
狭山ヶ丘	さやまがおか	〒359-1161 埼玉県所沢市狭山ヶ丘1-2980	1915. 4.15(大正 4年)
武蔵藤沢	むさしふじさわ	〒358-0011 埼玉県入間市下藤沢1-15-4	1926. 4. 1(大正15年)
稲荷山公園	いなりやまこうえん	〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山1-1	1933. 4. 1(昭和 8年)
入間市	いるまし	〒358-0008 埼玉県入間市河原町2-1	1915. 4.15(大正 4年)
仏子	ぶし	〒358-0053 埼玉県入間市仏子880	//
元加治	もとかじ	〒358-0054 埼玉県入間市野田167	1926. 4. 3(大正15年)
飯能	はんのう	〒357-0038 埼玉県飯能市仲町11-21	1915. 4.15(大正 4年)
東飯能	ひがしはんのう	〒357-0034 埼玉県飯能市東町1-5	1931.12.10(昭和 6年) (1999.2.10(平成11年)JRと分離)
高麗	こま	〒350-1255 埼玉県日高市武蔵台1-1-1	1929. 9.10(昭和 4年)
武蔵横手	むさしよこて	〒350-1257 埼玉県日高市横手山下750	1929. 9.10(昭和 4年) Ⓔ1954.10.10(昭和29年) Ⓕ1970. 2. 1(昭和45年)
東吾野	ひがしあかの	〒357-0211 埼玉県飯能市平戸220	1929. 9.10(昭和 4年)
吾野	あかの	〒357-0213 埼玉県飯能市坂石町分326-1	//
西武秩父線			
西吾野	にしあかの	〒357-0216 埼玉県飯能市吾野下ノ平579	1969.10.14(昭和44年)
正丸	しょうまる	〒357-0218 埼玉県飯能市坂元1658	//
芦ヶ久保	あしがくぼ	〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保1925	//
横瀬	よこせ	〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬4067	//
西武秩父	せいぶちちぶ	〒368-0033 埼玉県秩父市野坂町1-16-15	//
西武有楽町線			
小竹向原 (東京メトロ・西武)	こたけむかいはら	〒176-0004 東京都練馬区小竹町2-16-15	1983.10. 1(昭和58年)
新桜台	しんさくらだい	〒176-0002 東京都練馬区桜台1-28-11	//

駅名	よみ	所在地	開業年月日
豊島線			
豊島園	としまえん	〒176-0001 東京都練馬区練馬4-16-5	1927.10.15(昭和2年)
狭山線			
下山口	しちやまくち	〒359-1145 埼玉県所沢市山口1254-3	1929.5.1(昭和4年) Ⓒ1954.10.10(昭和29年) Ⓓ1976.6.4(昭和51年)
西武球場前	せいぶきゅうじょうまえ	〒359-1153 埼玉県所沢市上山口2090-3	1929.5.1(昭和4年) Ⓒ1944.2.28(昭和19年) Ⓓ1951.10.7(昭和26年)
山口線			
西武園ゆうえんち	せいぶえんゆうえんち	〒359-1145 埼玉県所沢市山口2939	1985.4.25(昭和60年)
新宿線			
西武新宿	せいぶしんじゅく	〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-30-1	1952.3.25(昭和27年)
高田馬場	たかだのばば	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-35-2	1927.4.16(昭和2年)
下落合	しもおちあい	〒161-0033 東京都新宿区下落合1-16-1	//
中井	なかい	〒161-0032 東京都新宿区中落合1-19-1	//
新井薬師前	あらいやくしまえ	〒164-0002 東京都中野区上高田5-43-20	//
沼袋	ぬまぶくろ	〒165-0025 東京都中野区沼袋1-35-1	//
野方	のなた	〒165-0027 東京都中野区野方6-3-3	//
都立家政	とりつかせい	〒165-0032 東京都中野区鷺宮1-16-1	1937.12.25(昭和12年)
鷺ノ宮	さぎのみや	〒165-0032 東京都中野区鷺宮3-15-1	1927.4.16(昭和2年)
下井草	しちいぐさ	〒167-0022 東京都杉並区下井草2-44-10	//
井荻	いおぎ	〒167-0022 東京都杉並区下井草5-23-15	//
上井草	かみいぐさ	〒167-0023 東京都杉並区上井草3-32-1	//
上石神井	かみしやくしい	〒177-0044 東京都練馬区上石神井1-2-45	//
武蔵関	むさしせき	〒177-0051 東京都練馬区関町北2-29-1	//
東伏見	ひがしふしみ	〒202-0021 東京都西東京市東伏見2-5-1	//
西武柳沢	せいぶやざわ	〒202-0015 東京都西東京市保谷町3-11-24	//
田無	たなし	〒188-0011 東京都西東京市田無町4-1-1	//
花小金井	はなごかねい	〒187-0002 東京都小平市花小金井1-10-5	//
小平	こだいら	〒187-0041 東京都小平市美園町1-34-1	//
久米川	くめがわ	〒189-0013 東京都東村山市米町2-3-1	//
東村山	ひがしむらやま	〒189-0014 東京都東村山市本町2-3-32	1894.12.21(明治27年) (久米川仮駅として開業)
所沢	ところざわ	〒359-0037 埼玉県所沢市くすのき台1-14-5	1895.3.21(明治28年)
航空公園	こうくうこうえん	〒359-0042 埼玉県所沢市並木2-4-1	1987.5.28(昭和62年)
新所沢	しんとところざわ	〒359-1111 埼玉県所沢市緑町1-21-25	1951.6.11(昭和26年)
入曽	いりそ	〒350-1316 埼玉県狭山市南入曽567	1895.3.21(明治28年)
狭山市	さやまし	〒350-1305 埼玉県狭山市入間川1-1-1	//
新狭山	しんさやま	〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山3-12-1	1964.11.15(昭和39年)
南大塚	みなみおおつか	〒350-1165 埼玉県川越市南台3-14	1897.11.14(明治30年)
本川越	ほんかわこえ	〒350-0043 埼玉県川越市新富町1-22	1895.3.21(明治28年)

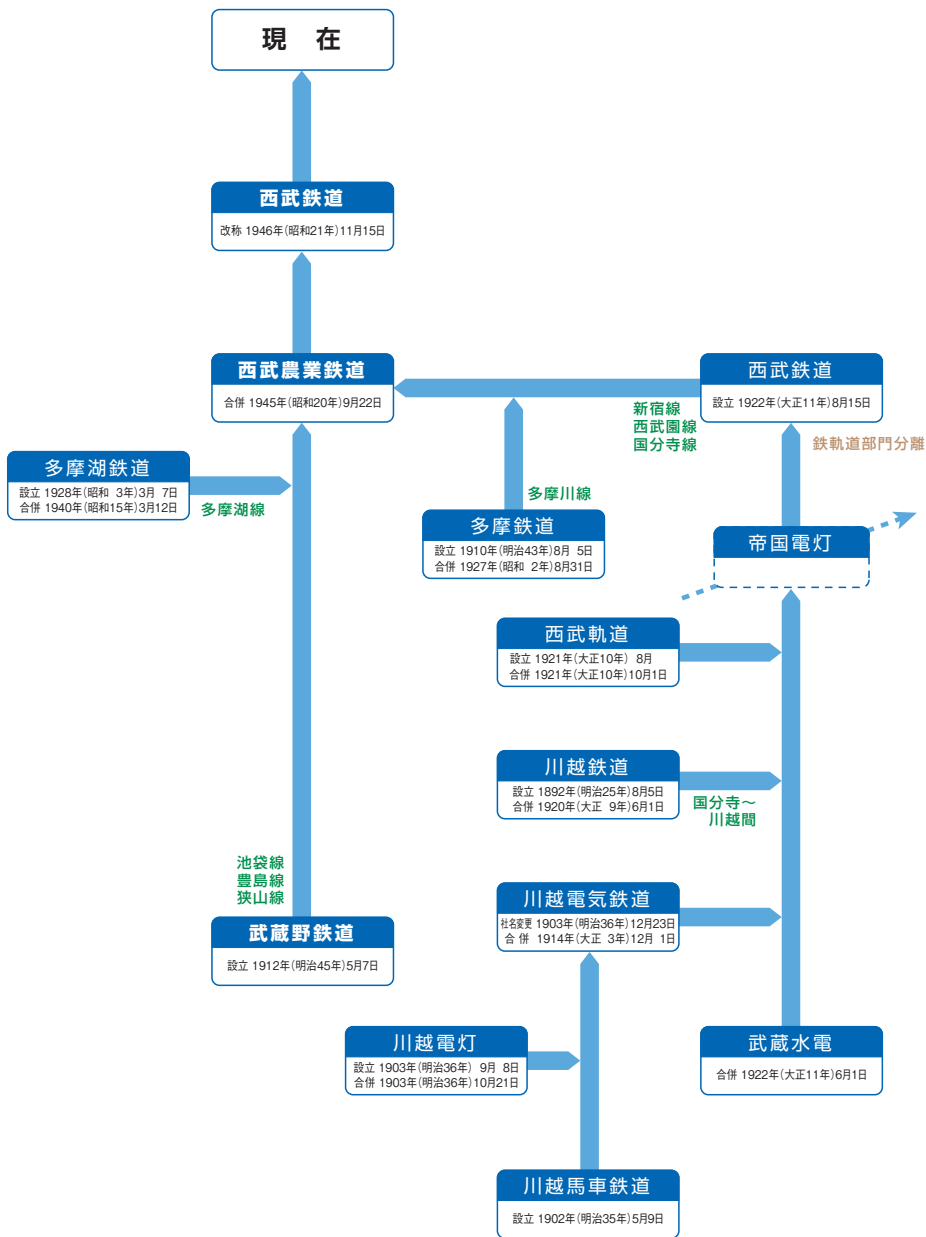
駅一覧

駅名	よみ	所在地	開業年月日
拝島線			
東大和市	ひがしやまとし	〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1415-1	1950. 5.15(昭和25年)
玉川上水	たまがわじょうすい	〒190-0002 東京都立川市幸町6-36-1	//
武蔵砂川	むさしすなかわ	〒190-0032 東京都立川市上砂町5-44-4	1983.12.12(昭和58年)
西武立川	せいぶたちかわ	〒190-0034 東京都立川市西砂町1-21-2	1968. 5.15(昭和43年)
拝島	はいしま	〒196-0001 東京都昭島市美堀町5-21-2	// (2007.8.24(平成19年)JRと分離)
西武園線			
西武園	せいぶえん	〒189-0026 東京都東村山市多摩湖町4-29-1	1930. 4. 5(昭和 5年) Ⓓ1944. 5.10(昭和19年) Ⓓ1948. 4. 1(昭和23年)
国分寺線			
国分寺	こくぶんじ	〒185-0012 東京都国分寺市本町2-1-23	1894.12.21(明治27年)
恋ヶ窪	こいがかぼ	〒185-0003 東京都国分寺市戸倉1-1-4	1955. 2.10(昭和30年)
鷹の台	たかのだい	〒187-0024 東京都小平市たかの台45-4	1948.10.21(昭和23年)
小川	おがわ	〒187-0031 東京都小平市小川東町1-20-1	1894.12.21(明治27年)
多摩湖線			
一橋学園	ひとつばしがくえん	〒187-0045 東京都小平市学園西町2-1-1	1933. 9.11(昭和 8年) (商大予科前駅として開業)
青梅街道	おうめかいどう	〒187-0032 東京都小平市小川町2-1846	1928. 4. 6(昭和 3年)
秋山	あきやま	〒189-0012 東京都東村山市秋山町2-1-1	//
八坂	やさか	〒189-0013 東京都東村山市栄町3-18-1	1942.10. 1(昭和17年)
武蔵大和	むさしやまと	〒189-0025 東京都東村山市廻田町3-9-19	1930. 1.23(昭和 5年)
多摩湖	たまこ	〒189-0026 東京都東村山市多摩湖町3-15-18	1936.12.30(昭和11年)
多摩川線			
武蔵境	むさしさかい	〒180-0023 東京都武蔵野市境南町2-1-12	1917.10.22(大正 6年) (2004.11.7(平成16年)JRと分離)
新小金井	しんこがねい	〒184-0011 東京都小金井市東町4-24-1	1917.10.22(大正 6年)
多磨	たま	〒183-0004 東京都府中市紅葉丘3-42-2	1929. 1. 5(昭和 4年)
白糸台	しろいとだい	〒183-0011 東京都府中市白糸台2-71-6	1917.10.22(大正 6年)
競艇場前	きょうていじょうまえ	〒183-0013 東京都府中市小柳町4-10-11	1919. 6. 1(大正 8年)
是政	これまさ	〒183-0014 東京都府中市是政5-8-2	1922. 6.20(大正11年)

駅名の変遷

現在の駅名	旧駅名と変更日
富士見台	貫井 1925.3.15(大正14年) → 富士見台 1933.3.1(昭和8年)
石神井公園	石神井 1915.4.15(大正4年) → 石神井公園 1933.3.1(昭和8年)
大泉学園	東大泉 1924.11.1(大正13年) → 大泉学園 1933.3.1(昭和8年)
ひばりヶ丘	田無町 1924.6.11(大正13年) → ひばりヶ丘 1959.5.1(昭和34年)
西所沢	小手指 1915.4.15(大正4年) → 西所沢 1915.9.1(大正4年)
狭山ヶ丘	元狭山 1915.4.15(大正4年) → 三ヶ島村 1915.8(大正4年)
	→ 狭山ヶ丘 1933.3.1(昭和8年)
入間市	豊岡町 1915.4.15(大正4年) → 入間市 1967.4.1(昭和42年)
東吾野	虎秀 1929.9.10(昭和4年) → 東吾野 1933.3.1(昭和8年)
豊島園	豊島 1927.10.15(昭和2年) → 豊島園 1933.3.1(昭和8年)
西武球場前	村山公園 1929.5.1(昭和4年) → 村山貯水池際 1933.3.1(昭和8年)
	→ 村山 1941.4.1(昭和16年)
	→ 狭山湖 1951.10.7(昭和26年)
	→ 西武球場前 1979.3.25(昭和54年)
西武園ゆうえんち	遊園地西 1985.4.25(昭和60年) → 西武園ゆうえんち 2021.3.13(令和3年)
都立家政	府立家政 1937.12.25(昭和12年) → 都立家政 1943.7.1(昭和18年)
東伏見	上保谷 1927.4.16(昭和2年) → 東伏見 1929.11.20(昭和4年)
東村山	久米川仮駅 1894.12.21(明治27年) → 東村山 1895.8.6(明治28年)
新所沢	北所沢 1951.6.11(昭和26年) → 新所沢 1959.2.1(昭和34年)
狭山市	入間川 1895.3.21(明治28年) → 狭山市 1979.3.25(昭和54年)
本川越	川越 1895.3.21(明治28年) → 本川越 1940.7.22(昭和15年)
東大和市	青梅橋 1950.5.15(昭和25年) → 東大和市 1979.3.25(昭和54年)
西武園	村山貯水池前 1930.4.5(昭和5年) → 狭山公園 1941.3.1(昭和16年)
	→ 村山貯水池 1948.4.1(昭和23年)
	→ 西武園 1951.3.1(昭和26年)
一橋学園	商大予科前 1933.9.11(昭和8年) → 一橋大学 1949.5(昭和24年)
	→ 一橋学園 1966.7.1(昭和41年)
	[小平学園駅を併合]
武蔵大和	村山貯水池 1930.1.23(昭和5年) → 武蔵大和 1936.12.30(昭和11年)
多摩湖	村山貯水池 1936.12.30(昭和11年) → 狭山公園前 1941.4.1(昭和16年)
	→ 多摩湖 1951.9.1(昭和26年)
	→ 西武遊園地 1979.3.25(昭和54年)
	→ 多摩湖 2021.3.13(令和3年)
多磨	多磨墓地前 1929.1.5(昭和4年) → 多磨 2001.3.28(平成13年)
白糸台	北多磨 1917.10.22(大正6年) → 白糸台 2001.3.28(平成13年)
競艇場前	常久 1919.6.1(大正8年) → 競艇場前 1954.5.1(昭和29年)

沿革図



年 譜

年月日	事 項	
1911年(明治44年)		
1911.10.18	武蔵野鉄道免許	
1912年(明治45年)		
1912. 5. 7	武蔵野鉄道会社設立	
1915年(大正 4年)		
1915. 4.15	池袋～飯能間営業開始	武蔵野鉄道4号機関車
1922年(大正11年)		
1922.11. 1	池袋～所沢間電化、 保谷車庫開設	
1925年(大正14年)		
1925. 3.15	所沢～西所沢間電化	
1925.12.23	西所沢～飯能間電化	
1927年(昭和 2年)		
1927.10.15	豊島線(練馬～豊島 〈現豊島園〉)営業開始	
1928年(昭和 3年)		
1928. 8.11	池袋～練馬間複線 運転開始	
1929年(昭和 4年)		旧西武鉄道モハ551形559号
1929. 3.20	練馬～保谷間複線 運転開始	
1929. 5. 1	狭山線 (西所沢～村山公園 〈現西武球場前〉) 営業開始	
1929. 9.10	飯能～吾野間営業開始	
1940年(昭和15年)		多摩湖鉄道モハ10形12号
1940. 3.12	多摩湖鉄道を合併	
1944年(昭和19年)		
1944. 2.28	西所沢～村山(現西武球場前)間営業休止	
1945年(昭和20年)		
1945. 9.22	旧西武鉄道、食糧増産を合併し 西武農業鉄道と社名変更	
1946年(昭和21年)		
1946. 2.14	保谷～田無町(現ひばりヶ丘)間複線運転開始	
1946.11.15	社名を西武鉄道と変更	
1948年(昭和23年)		
1948. 4. 1	東村山～村山貯水池(現西武園)間営業再開	
1948.11. 5	東村山～国分寺間電化	
1949年(昭和24年)		
1949.11.15	多摩湖線本小平駅を小平駅に統合	
1950年(昭和25年)		
1950. 4. 6	東村山～柳瀬信号所間複線運転開始	
1950. 5.15	小川～玉川上水間営業開始	
1950. 5.23	東村山～村山貯水池間に野口信号所を新設、 野口信号所～西武園間営業開始	
1950. 7.11	武蔵境～北多磨(現白糸台)間電化	
1950. 8. 1	おとぎ電車多摩湖ホテル前～上堰堤間営業開始	
1950.11. 1	北多磨(現白糸台)～是政間電化	
1951年(昭和26年)		
1951. 4. 1	新宿軌道線(新宿駅～荻窪駅)を東京都へ譲渡	

年月日	事 項	
1951年(昭和26年)		
1951. 9.16	おとぎ電車上堰堤～ユネスコ村間営業開始	
1951.10. 7	西所沢～狭山湖(現西武球場前)間営業再開 (ガンリンカー運転)	
1952年(昭和27年)		
1952. 3.21	西所沢～狭山湖(現西武球場前)間電化	
1952. 3.25	高田馬場～西武新宿間営業開始	
1952. 7.15	おとぎ電車を地方鉄道に変更、線名を山口線とする	
1953年(昭和28年)		
1953. 3.28	田無町(現ひばりヶ丘)～東久留米間複線運転開始	
1953. 9.26	東久留米～清瀬間複線運転開始	
1954年(昭和29年)		
1954.10.12	小川～玉川上水間電化	
1958年(昭和33年)		
1958. 9.16	新宿線から小平、萩山經由多摩湖へ直通運転 開始	
1958.12.19	柳瀬信号所～所沢間複線運転開始	
1959年(昭和34年)		
1959.12.21	清瀬～秋津間複線運転開始	
1960年(昭和35年)		
1960. 5.25	秋津～所沢間複線運転開始	
1961年(昭和36年)		
1961. 9.20	多摩湖線0.4km延伸、多摩湖駅移設	
1962年(昭和37年)		
1962. 9. 1	萩山～小川間営業開始	
1962.12.28	変電所集中制御 システム使用開始	
1963年(昭和38年)		
1963.11. 1	池袋～所沢間で 私鉄初の10両運転開始	
1963.12.24	701系通勤車登場	
1964年(昭和39年)		
1964.11.15	新狭山駅開業	
1965年(昭和40年)		
1965.11. 5	所沢～西所沢間 複線運転開始	
1966年(昭和41年)		
1966. 5.16	小手指検車区 (現車両基地)開設	
1966. 5.25	西所沢～小手指間複線運転開始	
1966.10.28	小手指～武蔵藤沢間複線運転開始	
1967年(昭和42年)		
1967. 6. 1	急緩行列車選別装置使用開始	
1967.10.27	所沢～新所沢間複線運転開始	
1967.11. 7	小平～萩山間複線運転開始	
1968年(昭和43年)		
1968. 5.15	玉川上水～ 拝島間営業開始	
1968.11.12	恋ヶ窪～ 羽根沢信号所 間複線運転開始	
1968.11.13	武蔵藤沢～入間市間複線運転開始	拝島線開通記念乗車券

年 譜

年月日	事 項
1969年(昭和44年)	
1969. 3. 5	101系通勤車登場
1969. 9.26	新所沢～入曽間 複線運転開始
1969.10. 1	南入曽検車区 (現車両基地)開設
1969.10. 2	仏子～笠縫信号所間 複線運転開始
1969.10.14	西武秩父線営業開始、特急レッドアロー号登場 ATS使用開始(多摩川 線・安比奈線・山口線を 除く)、仏子～西武秩父 間CTC使用開始
1969.12.16	ITV使用開始
1970年(昭和45年)	
1970. 1. 1	横瀬検車区(現車両基地)開設
1970. 8.16	踏切支障検知装置使用開始
1970.11.20	小手指駅開業
1972年(昭和47年)	
1972. 7. 1	通勤冷房車(101系) 登場
1973年(昭和48年)	
1973. 6. 8	田無～西武柳沢間 立体交差化工事完成
1973.11.29	最高速度100キロ運転実施
1974年(昭和49年)	
1974. 3. 1	電車行先方向幕を全列車に使用開始
1974. 9. 6	多摩川線単線自動化およびATS使用開始
1974.10.20	池袋駅地下連絡通路使用開始
1975年(昭和50年)	
1975. 3.20	入間市～仏子間複線運転開始
1975. 6. 2	西武新宿～本川越間急行10両運転開始
1975. 6.16	定期乗車券集約発売実施
1975.11.26	入曽～入間川(現狭山市)間複線運転開始
1975.12. 8	西武新宿～拝島・多摩湖間 急行10両運転開始
1976年(昭和51年)	
1976. 3. 1	所沢～新秋津間、貨物連絡設備竣工
1976. 3. 1	池袋・国分寺両駅の貨物中継を新秋津駅へ変更
1976. 3. 1	特急レッドアロー号の毎時運転開始
1976.12. 1	列車無線全線使用開始(安比奈線・山口線を除く)
1977年(昭和52年)	
1977. 3. 3	西武新宿駅新装・ 西武新宿ビルオープン
1977. 4. 1	新宿線に2000系通勤車登場
1977. 6.23	北多磨(現白糸台)駅改良 工事完成
1977. 8.31	高麗駅改良工事完成
1977.12.19	西武新宿～新所沢間準急 10両運転開始
1977.12.19	小平～多摩湖間折り返し 運転実施



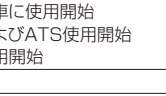
西武秩父駅



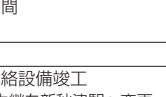
5000系特急レッドアロー号



101系



101系



西武新宿ビル

年月日	事 項
1978年(昭和53年)	
1978. 2.15	保有車両数800両突破
1978.11.30	狭山湖(現西武球場前)駅現在地に移設
1979年(昭和54年)	
1979. 3.30	小手指駅橋上駅舎完成
1979. 4.27	狭山市駅新装・狭山ステーションビルオープン
1979.11. 1	鷹ノ宮駅橋上駅舎完成
1979.12. 7	萩山～小川間複線運転開始
1980年(昭和55年)	
1980. 2.28	入曽駅跨線橋工事完成
1980. 3.12	南大塚～脇田信号所間複線運転開始
1980. 3.14	池袋駅構内改良工事完成
1980. 3.15	本川越駅構内改良工事完成
1980. 6.16	構内無線、乗務員無線使用開始
1980. 7.17	東大和市駅立体交差化工事完成
1980.10.11	西武新宿駅北口使用開始
1980.12.22	南大塚駅橋上駅舎使用開始
1980.12.25	踏切支障報知装置使用開始
1981年(昭和56年)	
1981. 3. 6	下山口駅構内改良工事完成
1981.10.30	新井葉師前駅新駅舎使用開始
1981.12.27	久米川駅新駅舎使用開始
1982年(昭和57年)	
1982. 2. 1	鷹の台駅旅客地下道使用開始
1982. 8. 3	下井草駅新駅舎使用開始
1982. 9.13	遊園地前～西武遊園地(現多摩湖)間地方鉄道免許
1983年(昭和58年)	
1983. 3.24	東伏見駅橋上駅舎使用開始
1983. 4. 5	所沢駅跨線橋使用開始
1983. 4.14	野方駅新駅舎使用開始
1983. 4.16	東吾野駅新駅舎使用開始
1983. 6. 9	沼袋駅新駅舎使用開始
1983. 7.28	都立家政駅新駅舎使用開始
1983.10. 1	西武有楽町線(新桜台～小竹向原間)営業開始
1983.11.10	保有車両数900両突破
1983.11.12	大泉学園駅橋上駅舎使用開始
1983.11.27	池袋線に3000系通勤車登場
1983.12. 1	武蔵砂川～西武立川間複線運転開始
1983.12.12	武蔵砂川駅開業
1984年(昭和59年)	
1984. 4.15	仏子駅新駅舎使用開始
1984. 5.14	山口線営業休止
1984. 9. 1	仏子駅南口開設
1985年(昭和60年)	
1985. 3.12	鷹の台駅新駅舎使用開始
1985. 4.25	山口線新交通システム開業
1985. 6. 1	ATS更新(多摩川線除く)
1986年(昭和61年)	
1986. 4.26	下落合駅新駅舎使用開始
1986. 5. 1	椎名町駅新駅舎使用開始
1986. 8. 5	本社ビルを所沢に移転
1986.10.20	恋ヶ窪駅跨線橋使用開始
1986.12.13	鷹の台駅構内改良工事完成



山口線

新交通システム

年月日	事項
1987年(昭和62年)	
1987. 3. 3	中村橋駅北口新駅舎使用開始
1987. 3. 5	西小川信号所使用開始
1987. 3. 9	小川変電所使用開始
1987. 4. 21	上井草駅新駅舎使用開始
1987. 5. 28	航空公園駅開業
1987.11.20	CTC区間を高麗～西秩父父間に変更
1987.12.10	石神井公園～富士見台間連続立体交差化工事完成
1988年(昭和63年)	
1988. 2. 17	新小金井駅新駅舎使用開始
1988. 3. 5	多磨臺地前(現多磨)駅新駅舎使用開始
1988. 3. 21	稲荷山公園駅新駅舎使用開始
1988. 4. 1	レオカード発売開始
1988. 4. 5	西所沢駅新駅舎使用開始
1988. 4. 27	東飯能～高麗間高架工事一部竣工
1988. 5. 12	誤通過防止装置使用開始
1988. 6. 1	弱冷房車登場
1988.11. 2	東大和市～玉川上水間複線運転開始
1988.11. 4	4000系セミクロスシート車登場
1988.11.16	武蔵丘信号所(現信号場)完成
1989年(平成元年)	
1989. 3.16	駅管区制の導入
1989. 3.23	保有車両数1000両突破
1989. 4. 1	秩父鉄道へ直通運転開始
1989. 9.11	所沢駅西口新駅舎使用開始
1989.12.11	飯能駅新駅舎使用開始
1989.12.14	新狭山～南大塚間複線運転開始
1989.12.15	ATS更新(多摩川線)
1990年(平成 2年)	
1990. 3.31	萩山駅橋上駅舎増改築完成使用開始
1990. 6. 9	元加治駅新駅舎使用開始
1990. 6.23	351系電車でよなら運転
1990. 6.24	多摩湖線・国分寺駅新ホーム使用開始
1990. 6.30	車両冷房化率100%達成
1990. 7.10	西武園駅新駅舎使用開始
1990. 8. 1	所沢駅北側乗換跨線橋使用開始
1990. 8. 2	本川越駅構内改良工事完成使用開始
1990. 9.16	玉川上水車両管理支所(現車両基地)開設
1990.12.23	秋津駅北口開設
1990.12.23	石神井公園駅新駅舎使用開始
1991年(平成 3年)	
1991. 1.27	所沢駅(東口)改札口移設、自由通路使用開始
1991. 2. 14	清瀬第3号踏切立体交差化工事完成使用開始
1991. 2. 14	東村山駅乗換跨線橋使用開始
1991. 3. 9	自動改札機導入、豊島園駅で使用開始
1991. 3.15	西武研修センター使用開始
1991. 3.16	特急券オンライン自動発行、使用開始
1991. 3.29	小川～西小川信号所間複線運転開始



航空公園駅



西秩父線を走る4000系



10000系特急ニューレッドアロー



西武研修センター

年月日	事項
1991年(平成 3年)	
1991. 5.11	鷲ノ宮駅北口駅ビルオープン
1991. 7.27	狭山市～新狭山間複線運転開始
1991. 9. 5	西武本川越ステーションビルオープン
1991.12.12	都営12号線(現大江戸線)との連絡運転開始
1991.12.27	保谷駅新駅舎使用開始
1992年(平成 4年)	
1992. 1.14	横瀬駅新駅舎使用開始
1992. 1.16	変電所集中制御システム更新
1992. 3.19	車いす用階段昇降機導入(練馬駅)
1992. 4. 1	運行管理システム(SEMTRAC)本使用開始
1992. 4. 8	所沢総合管理事務所使用開始
1992. 5.28	飯能駅南北自由通路完成使用開始
1992. 6. 1	池袋線にステンレス製6000系通勤車登場
1992.10.23	西武飯能ステーションビルオープン
1992.11.28	秋津駅北口新駅舎使用開始
1993年(平成 5年)	
1993. 2.10	新型の回数券・きっぷ自動発券機導入、回数券をエンコード化
1993. 4. 1	狭山ヶ丘駅東口開設
1993. 5.12	天皇・皇后両陛下秩父へ(池袋～西秩父父間)ご乗車
1993. 9.14	入間市駅構内改良工事完成使用開始
1993.12. 6	新宿線に10000系特急ニューレッドアロー登場
1993.12. 6	特急電車の停車駅に「入間市」を追加
1993.12.16	9000系第一編成完成
1994年(平成 6年)	
1994. 8. 8	新宿線に6000系通勤車登場
1994.10. 1	池袋駅新特急ホーム使用開始
1994.10.15	池袋線に10000系特急ニューレッドアロー登場
1994.11.16	東久留米駅橋上駅舎使用開始
1994.12. 7	練馬高野台駅開業
1994.12. 7	西武有楽町線(練馬～新桜台間)営業開始
1994.12.15	是政駅構内改良工事完成使用開始
1995年(平成 7年)	
1995. 2.28	青梅街道駅舎改修工事完成使用開始
1995. 9. 1	時差回数券、土・休日割引回数券発売開始
1995.10.14-15	5000系特急レッドアロー号さよなら運転
1996年(平成 8年)	
1996. 2.29	入曽駅西口開設
1996. 3.28	多摩湖線(国分寺～西武遊園地(現多摩湖)間)運行管理システム(SEMTRAC)使用開始
1996. 4. 1	多摩川線ワンマン運転開始
1996. 4. 1	所沢～東横瀬間貨物輸送廃止
1996. 5.25	E851形電気機関車さよなら運転
1996.12. 3	新6000系アルミ車両登場



西武本川越ステーションビル



10000系特急ニューレッドアロー



東久留米駅

年 譜

年月日	事 項	
1997年(平成 9年)		
1997. 1. 1	西武鉄道Webサイト開設	
1997. 2. 22	401系・701系さよなら運転	
1997. 3. 7	保有車両数1,200両突破	
1997. 3.26	池袋駅「西武南口」開設	
1997. 4.25	吾野駅新駅舎使用開始	
1997. 4.26	特急レッドアロー号利用者数1億人突破	
1997. 8. 2	桜台～練馬間高架化	
1997.12.13	中村橋～富士見台間高架化	
1998年(平成10年)		
1998. 3.26	池袋線～営団有楽町線相互直通運転開始	
1998. 3.26	特急電車の停車駅を「芦ヶ久保」から「横瀬」に変更	
1998. 9.30	武蔵藤沢駅構内改良工事完成使用開始	
1998.10. 1	西武・電車テレホンセンター開設	
1998.11.20	多摩湖線・国分寺～萩山間ワンマン運転開始	
1998.11.27	玉川上水駅橋上駅舎使用開始	
1998.12.11	花小金井駅南口開設・橋上駅舎使用開始	
1999年(平成11年)		
1999. 2.10	東飯能駅橋上駅舎使用開始	
1999. 4.24	田無駅橋上駅舎使用開始	
1999. 6. 1	使用済乗車券再生資源活用開始	
1999. 8.28	井荻駅北口新駅舎使用開始	
2000年(平成12年)		
2000. 2.20	新宿線に 20000系 通勤車登場	
2000. 3.29	武蔵丘車両管理所 (現車両基地)開設	
2000. 6.10	八坂駅新駅舎使用開始	新宿線20000系通勤電車
2000. 6.15	所沢車両工場閉鎖	
2000. 6.16	武蔵丘車両検修場開設	
2000. 6.30	沼袋駅南口開設	
2000. 7. 1	使用済定期乗車券再生資源活用開始	
2000.10. 1	SFLカード発売開始	
2000.10.14	共通乗車カードシステム「パスネット」導入	
2000.12.14	練馬駅西口開設	
2000.12.22	所沢駅新改札口開設(南口・東口改札を統合)	
2000.12.22	武蔵丘車両検修場ISO14001取得	
		武蔵丘車両検修場
2001年(平成13年)		
2001. 3. 4	練馬～中村橋間高架化(逆立体化)	
2001. 3.10	高田馬場駅構内改良工事完成・戸山口開設	
2001. 4. 1	自動改札機で乗車券類の複数枚処理開始	
2001. 4. 1	フェアスルーシステム(不正乗車防止システム)導入	
2001.12. 6	笠縫～飯能間複線運転開始	
2001.12.15	中村橋～練馬高野台間高架複々線使用開始	

年月日	事 項
2002年(平成14年)	
2002. 2.28	一般認定鉄道事業者として認定を受ける
2002. 4. 1	日本民営鉄道協会に入会
2002. 4. 1	Webサイト上で運行状況の情報提供を開始
2002. 9. 1	お忘れ物取扱システム導入
2002. 9. 1	駅シエルバ開始
2003年(平成15年)	
2003. 3.12	練馬～中村橋間高架複々線使用開始
2003. 3.12	飯能～西武秩父間ワンマン運転開始
2003. 6. 2	池袋線に列車情報装置使用開始
2004年(平成16年)	
2004. 3.25	下井草駅整備株式会社設立
2004. 3.27	車体広告電車運転開始(池袋線・新宿線)
2004. 3.30	東長崎駅整備株式会社設立
2004. 5.24	西武鉄道企業倫理規範制定(2006.3.27 西武グループ企業倫理規範制定に伴い廃止)
2004. 6.10	新宿線に列車情報装置使用開始
2004. 7.26	第1回企業倫理委員会開催
2004.11.16	東京証券取引所における当社株式の上場廃止 (12月17日付)決定
2004.12.16	企業倫理ホットライン開設
2005年(平成17年)	
2005. 5. 9	池袋線・新宿線に女性専用車両導入
2005. 5.31	池袋駅上家建替え工事完了
2005. 6.28	執行役員制度導入
2005. 7. 2	運行管理システム更新(池袋線)
2005.10.31	有楽町線直通電車女性専用車両導入
2005.11. 9	電源二重化工事完成 (池袋～武蔵丘・西武新宿～本川越)
2006年(平成18年)	
2006. 2. 1	池袋駅、高田馬場駅、所沢駅にAED設置(当社初)
2006. 3.27	持株会社方式によるグループ再編完了
2006. 3.27	グループビジョン策定
2006. 4. 1	西武鉄道お客さまセンター開設
2006. 7.19	江古田駅整備株式会社設立
2006. 9.24	運行管理システム更新(新宿線)
2006.10. 1	特急の全車禁煙化を実施
2007年(平成19年)	
2007. 2. 3	下井草駅新駅舎使用開始
2007. 3.16	東長崎駅新駅舎使用開始
2007. 3.18	ICカード「PASMO」サービス開始
2007. 3.28	天皇・皇后両陛下川越へ (西武新宿～本川越間往復ご乗車)
2007. 4. 1	シンボルマークおよびコーポレートカラー制定
2007. 4.27	「早期地震警報システム」導入
2007. 5. 8	特急インターネット予約サービス開始
2007. 6.20	株式会社西武レイト設立
2007. 6.27	「遠隔放送装置」導入
2007. 7. 3	練馬駅、練馬高野台駅、西所沢駅に 新型駅売店「トモニー」オープン
2007. 7.27	簡易筆記器全駅(小竹向原除く)に設置
2007. 8.24	拜島駅橋上駅舎使用開始
2007. 8.31	「Emio練馬」オープン
2007.12. 3	環境配慮型蓄電装置を吾野・正丸変電所に導入

年月日	事項
2008年(平成20年)	
2008. 2. 9	武蔵藤沢駅橋上駅舎使用開始
2008. 3.27	「コーポレートシンボル」を全制服に取り入れ、制服をリニューアル
2008. 3.29	武蔵境駅新駅舎使用開始
2008. 4.26	新宿線に30000系通勤車登場
2008. 6.14	池袋線～東京地下鉄副都心線相互直通運転開始
2008. 6.14	遅延証明書をWebサイト上で発行開始
2008. 6.16	東京メトロ副都心線直通電車女性専用車両導入
2008. 8. 6	車両内側ドアに点字案内を設置
2008.11.22	列車非常通報装置全駅(小竹向原除く)に設置
2009年(平成21年)	
2009.10. 3	久米川駅北口新駅舎、使用開始
2009.10.12	新電力管理システム使用開始 (総合司令ワンフロア化完成)
	
2009.10.19	自動改札機導入通路の一部を IC専用化(76駅113通路) 司令
2009.12.14	西武鉄道Webサイトをリニューアル
2010年(平成22年)	
2010. 4.23	「SEIBU スマイルリンク サービス」開始
2010. 7. 1	「西武東京メトロパス」発売開始
2011年(平成23年)	
2011. 6.13	「西武鉄道キッズ Go!Go! スマイルトレイン」公開
2011.11.27	レッドアロークラシック登場
2012年(平成24年)	
2012. 4. 9	「Twitter」による列車運行情報発信開始
2012. 5. 7	西武鉄道 創立100周年を迎える
2012.10.20	本川越駅に副駅名「時の鐘と蔵のまち」表示を開始
2012.12. 9	「さよなら101系・301系イベント」開催
2013年(平成25年)	
2013. 3. 1	テレビCMの放送開始
2013. 3.16	ダイヤ改正 / 副都心線を經由し東急東横線、 横浜高速みなとみらい線との相互直通運転開始 特急停車駅に「東村山」を追加 多摩湖線萩山～西武遊園地(現多摩湖)間 ワンマン運転開始
2013. 6. 9	チケットレスサービス「Smooz」開始
2014年(平成26年)	
2014. 1.14	中井～野方駅間連続立体交差事業工事着手
2014. 1.28	武蔵江車両検修場メガソーラー発電開始
2014. 4.23	西武ホールディングスが東京証券取引所市場第一部へ上場
2014. 9.12	「西武飯能日高ソーラーパワーステーション」発電開始式開催
2015年(平成27年)	
2015. 1.27	東村山駅付近連続立体交差事業工事着手
2015. 3.14	台湾鉄道管理局と西武ホールディングスが 「包括的事業連携に関する友好協定」締結、 西武鉄道が「姉妹鉄道協定」締結
2015. 4.15	池袋線(池袋～飯能間)開業100周年を迎える
2015.10.30	「SEIBU Tourist Information Center Ikebukuro」オープン
2015.10.30	「SEIBU FREE Wi-Fi」提供開始

年月日	事項
2016年(平成28年)	
2016. 2.20	本川越駅西口供用開始
2016. 3. 5	池袋駅2番ホームでホームドア使用開始
2016. 3.21	「SEIBU 100th Anniversary "SMILE DAY"」開催
2016. 3.31	池袋駅リニューアル工事完了
2016. 4.17	西武 旅するレストラン「52席の至福」運行開始
2016. 8. 1	所沢駅東口駅ビル計画着工
2016.12.17	中井駅 南北自由通路-北口使用開始
2016.12.21	当社初「オープン型宅配ロッカー(無人受取りサービス)」 設置(下落合駅・エミオ線馬高野台)
2017年(平成29年)	
2017. 2.23	西武鉄道Webサイトをリニューアル
2017. 3. 7	飯能-西武の森「社会・環境貢献緑地評価システム(SEGES)」の最高位を獲得
2017. 3.14	KTMB(マレーシア鉄道公社)と姉妹鉄道協定締結
2017. 3.25	池袋線に40000系通勤車登場 タイヤ改正 / S-TRAIN運行開始
2017. 3.31	池袋線 連続立体交差事業完了 西武秩父駅リニューアル工事完了
2017. 5.31	安比奈線の鉄道事業廃止
2017. 9.25	40000系車両が第11回キッズデザイン賞 「内閣総理大臣賞」(最優秀賞)を受賞
2017.10. 4	GSシステム、西武秩父駅前温泉 祭の湯、 40000系車両がグッドデザイン賞を受賞
2017.10.22	多摩川線開業100周年を迎える
2017.11.21	ブランドWebサイト・SNSをオープン
2017.12.20	お子さま向けWebサイト「西武鉄道キッズ」をリニューアル
2018年(平成30年)	
2018. 3. 2	「グランエミオ所沢」第1期開業
2018. 3.10	「拜島ライナー」運行開始
2018. 3.26	「西武線アプリ」配信開始
2018. 5.15	拜島線開通50周年を迎える
2018.11. 1	西武グループ企業主導型保育園「えみきっず」開園
2019年(平成31年・令和元年)	
2019. 1.28	「ダイヤゲート池袋」豊島区と「帰宅困難者対策の連携協力に関する協定」を締結
2019. 2.28	「ダイヤゲート池袋」竣工
2019. 3. 9	飯能駅リニューアル工事完了
2019. 3.16	新型特急車両「Lview」運行開始
2019. 3.31	西武新宿駅リニューアル工事完了
2019. 4. 1	「SEIBU Tourist Information Center Shinjuku」オープン
2019. 10. 2	Lview が「2019 年度グッドデザインベスト100」を受賞
2019.10.14	西武秩父線開業・特急電車運行開始50周年を迎える
2019.10.31	Lview が「グッドデザイン金賞」 (経済産業大臣賞)を受賞
	

年 譜

年月日	事 項
2020年(令和2年)	
2020. 2.14	Laviewが「iF デザインアワード 2020」受賞
2020. 2.29	英国「ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館」の「着物をテーマとした大展覧会」で浮世絵をモチーフにした「迷惑図絵」マナーポスターが展示開始
2020. 3.13	10000系ニューレッドアロー 池袋線-西武秩父線での定期運行を終了
2020. 6. 5	Laview が「ブルーリボン賞」を受賞
2020. 8.31	「としまえん」閉園
2020. 9. 2	「グランエミオ所沢」第II期開業、所沢駅リニューアル工事完了
2020. 9.15	「SDGs×Lions GREEN UP」プロジェクトレインを山口線(レオライナー)で運行開始
2020.10. 1	「株式会社豊島園」を「株式会社西武園ゆうえんち」に商号変更
2020.10.25	Laview ブルーリボン賞受賞式開催
2020.12.23	多磨駅橋上駅舎-自由通路供用開始
2021年(令和3年)	
2021. 3.13	ダイヤ改正/駅名変更(遊園地西駅→西武園ゆうえんち駅、西武遊園地駅→多摩湖駅)
2021. 3.26	メットライフドームエリア グランドオープン
2021. 4. 1	100%自社の太陽光発電でレオライナーを運行
2021. 4.29	レッドアロークラシック定期運行終了
2021. 5.19	西武園ゆうえんち グランドオープン
2021. 7.27	「エミオひばりヶ丘」スケールアップオープン
2021.10. 1	「西武多摩川線サイクルトレイン」本実施
2021.12.23	多磨駅橋上駅舎化-自由通路整備事業完了
2022年(令和4年)	
2022. 2.28	西武線アプリ大幅アップデート
2022. 3.15	西武鉄道Webサイトフルリニューアル
2022. 3.25	「駅の推し獅子」プロジェクトを始動
2022. 5. 7	「西武鉄道創立110周年」×「鉄道開業150周年」記念企画を展開
2022. 7.11	乗車ポイントサービススタート
2022.10.22	BIGBOX東大和「東大和スケートセンター」「屋内型キッズランドあそびっく」リニューアルオープン
2022.12.18	チケットレスサービス「Smooz」フルリニューアル
2023年(令和5年)	
2023. 3. 1	駅営業体制の一部変更(武蔵横手-東吾野・西吾野-正丸-芦ヶ久保)
2023. 3.18	鉄道駅リニアフリー料金適用開始 遅延証明書配布方法変更
2023. 3.20	拝島ライナー上り運行開始
2023. 5.16	池袋駅-豊島園駅リニューアル記念セレモニーおよび「スタジオツアー東京 エクスプレス」出発式実施

■旧西武鉄道

年月日	事項
1892年(明治25年)	
1892. 6.21	川越鉄道免許
1892. 8. 5	川越鉄道会社設立
1894年(明治27年)	
1894.12.21	国分寺～久米川仮駅(現東村山)間営業開始
1895年(明治28年)	
1895. 3.21	川越(現本川越)まで全線営業開始、 甲武鉄道が営業を管理
1906年(明治39年)	
1906. 9.30	甲武鉄道の委託管理を解除、自営となる
1920年(大正 9年)	
1920. 6. 1	武蔵水電会社に合併 (武蔵水電は川越電気鉄道を経営)
1921年(大正10年)	
1921.10. 1	武蔵水電が西武軌道(新宿～荻窪)を合併
1922年(大正11年)	
1922. 6. 1	武蔵水電が帝国電灯に合併、 鉄軌道業を武蔵鉄道に譲渡
1922. 8.15	武蔵を西武と改め西武鉄道(以下旧西武鉄道)設立
1925年(大正14年)	
1925. 2.15	安比奈線開業
1927年(昭和 2年)	
1927. 4.16	東村山～高田馬場間営業開始(複線)、 東村山～川越(現本川越)間電化
1927. 8.31	多摩鉄道会社(武蔵境～是政)を買収
1928年(昭和 3年)	
1928. 1.27	上石神井電車庫(現車両基地)開設
1929年(昭和 4年)	
1929. 1.20	国鉄高田馬場駅へ乗り入れ
1930年(昭和 5年)	
1930. 4. 5	東村山～村山貯水池前間営業開始
1935年(昭和10年)	
1935.12.27	新宿軌道線(新宿駅～荻窪駅)を東京乗合自動車 に経営委託、その後1951年東京都へ譲渡
1941年(昭和16年)	
1941. 2.28	大宮線(川越久保町～大宮)を廃止
1944年(昭和19年)	
1944. 5.10	東村山～狭山公園(現西武園)間営業休止
1945年(昭和20年)	
1945. 9.22	武蔵野鉄道に合併

■多摩湖鉄道

年月日	事項
1920年(大正 9年)	
1920. 3. 1	箱根土地株式会社設立
1924年(大正13年)	
1924. 6. 1	国立開発に着手
1928年(昭和 3年)	
1928. 3. 7	箱根土地が多摩湖鉄道会社設立
1928. 4. 6	国分寺～萩山間営業開始
1928.11. 2	萩山～本小平間営業開始
1930年(昭和 5年)	
1930. 1.23	萩山～村山貯水池(仮駅、国分寺起点8.0km) 間営業開始
1936年(昭和11年)	
1936.12.30	村山貯水池仮駅を国分寺起点8.9kmに移転し 本駅(現多摩湖)とする
1936.12.30	武蔵大和駅営業開始
1940年(昭和15年)	
1940. 3.12	武蔵野鉄道に合併

■多摩鉄道

年月日	事項
1910年(明治43年)	
1910. 8. 5	多摩鉄道会社設立
1917年(大正 6年)	
1917.10.22	境(現武蔵境)～北多磨(現白糸台)間営業開始、 北多磨機関庫(現白糸台車両基地)開設
1919年(大正 8年)	
1919. 6. 1	北多磨(現白糸台)～常久(現競艇場前)間営業開始
1922年(大正11年)	
1922. 6.20	常久(現競艇場前)～是政間営業開始
1927年(昭和 2年)	
1927. 8.31	旧西武鉄道に合併

主な沿線施設

心あたたまる幸福感に包まれる世界

■ 西武園ゆうえんち

【西武園ゆうえんち駅前】

西武園ゆうえんちは2020年に開業70周年を迎え、「心あたたまる幸福感に包まれる世界」をコンセプトにリニューアルし、2021年5月19日にグランドオープンしました。

新しい西武園ゆうえんちは、新しいのに懐かしい非日常のエンターテインメント体験へ巻き込むことで、多くのゲストの心を強烈に、エモーショナルに揺さぶります。生きた昭和の熱気がほとぼしる「夕日の丘商店街」では、おせっかいで人情味あふれる住人が予想もつかないライブパフォーマンスを繰り広げます。また、夕日の丘商店街を見下ろす高台に建つ、商店街の住人にとって憩いの映画館（夕陽館）では「ゴジラ」をテーマにした大型ライド・アトラクション「ゴジラ・ザ・ライド 大怪獣頂上決戦」が絶賛上映中。

2023年7月には、「ウルトラマン」をテーマにした「ウルトラマン・ザ・ライド世紀の大決闘」がオープンしました。



©TSUBURAYA PROD.

■ 西武秩父駅前温泉 祭の湯

【西武秩父駅前】

秩父名物の“祭”をコンセプトにした複合型温泉施設。4つの露天風呂と高濃度人工炭酸泉をはじめとする6つの内湯（男性内湯は5つ）が楽しめる、豊富な種類が自慢の温泉エリアや、秩父のおいしい名物が堪能できるフードコート「呑喰祭 祭の宴」、おみやげにぴったりの特産品がそろった物販エリア「ちちぶみやげ市」など、秩父の魅力がたっぷり詰まっています。



ボールパーク化とチーム／育成の強化

■ ベルーナドーム

【西武球場前駅から徒歩約1分】

狭山丘陵の豊かな自然とドームの特性を生かし、開放感に満ちあふれた、四季折々の風情が楽しめるボールパークです。2021年3月までに座席を大幅に改修・新設したほか、お子さまが遊べる「テイキョウキッズルーム」「テイキョウキッズフィールド」を整備。12球団最大級の約70店舗、1,000種類以上のメニュー数を誇るスタジアムグルメなども充実し、観戦環境が大幅に向上しました。また、選手の育成環境整備のため、室内練習場の「ライオンズトレーニングセンター」やファーム本拠地の「CAR3219フィールド」などの施設を刷新しました。そして、新しいシンボルとして、車体にライオンズカラーやレオ・ライナをラッピングした「L-train101」をライトスタンド後方の「トレイン広場」に設置。あらゆる世代のお客さまにお楽しみいただけます。天候に左右されず、野球以外にも、コンサート、展示会、運動会など多目的にご利用いただけます。



©SEIBU Lions



©SEIBU Lions

■ 狭山スキー場

【西武球場前駅から徒歩約3分】

全長300m、幅30mの屋内型グレンデです。人工造雪機の良質な雪でいつでも気軽にスキー、スノーボードが滑走できます。2020年にリニューアルオープンし、「スノーエスカレーター」や「キッズグレンデ」を新設しました。夏は「グレンデスライダー」によるウォーターフェスを開催しており、年間を通してお楽しみいただけます。



施設名	所在地	電話番号	開業年月日
西武園 ゆうえんち	〒359-1145 埼玉県所沢市山口2964	(04)2929-5354	1950. 1.25(昭和25年)
中国割烹旅館 掬水亭	〒359-1145 埼玉県所沢市山口2942	(04)2925-7111	1957. 5.20(昭和32年) (掬水亭として開業)
ペルーナドーム	〒359-1189 埼玉県所沢市上山口2135	(04)2925-1141	1979. 4. 8(昭和54年) (西武ライオンズ球場として開業)
西武ドームテニスコート	〒359-1153 埼玉県所沢市上山口2135	(04)2924-2277	1982. 4. 2(昭和57年) (球場テニスコートとして開業)
西武園競輪場	〒359-1133 埼玉県所沢市荒幡1215	(04)2922-4100	1950. 5.24(昭和25年) (村山競輪場として発足)
狭山スキー場	〒359-1153 埼玉県所沢市上山口2167	(04)2922-1384	1959.12.22(昭和34年)
西武秩父駅前温泉 祭の湯	〒368-0033 埼玉県秩父市野坂町1-16-15	(0494)22-7111	2017. 4.24(平成29年)
上里レストランプリンス	〒369-0317 埼玉県児玉郡上里町五明若宮825-1	(0495)33-2666	1980. 7.17(昭和55年)
BIGBOX 高田馬場	〒169-8677 東京都新宿区高田馬場1-35-3	(03)3208-7171	1974. 5. 5(昭和49年)
BIGBOX 東大和	〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19	(042)566-6411	1998. 7.15(平成10年)
Spa & Sports EMINOWA 西武フィットネスクラブ所沢	〒359-0037 埼玉県所沢市くすのき台1-11-2	(04)2990-7777	2009. 4.26(平成21年)
西武フィットネスemifit 鷲ノ宮	〒165-0035 東京都中野区白鷲1-28-6エミplib鷲ノ宮1階	(03)3330-2131	2018. 4. 7(平成30年)
西武フィットネスemifit 東久留米	〒203-0014 東京都東久留米市東本町1-8エミオ東久留米2階	(042)470-0063	2018.11.27(平成30年)
ダイドードリンコアイスアリーナ	〒202-0021 東京都西東京市東伏見3-1-25	(042)467-7171	1984. 8.10(昭和59年) (東伏見アイスアリーナとして開業)
東大和スケートセンター	〒207-0022 東京都東大和市桜が丘1-1330-19	(042)566-6898	1993. 4. 4(平成 5年)
豊島園庭の湯	〒176-8531 東京都練馬区向山3-25-1	(03)5984-4126	2003. 6.28(平成15年)
オートレース多摩川	〒183-0014 東京都府中市是政4-11	(042)369-1811	1954. 6. 9(昭和29年)

2023会社要覧(2023年10月発行)

編集発行 西武鉄道株式会社 広報部 〒359-8520 埼玉県所沢市くすのき台一丁目11番地の1

※特に日付の記載がない場合は2023年7月15日現在の内容となります。

2023.9.27HA

西武鉄道 Webサイト <https://www.seiburailway.jp>



この印刷物は環境に配慮し、FSC®森林認証紙と、VOC削減効果の高いNON-VOCインキを使用し、印刷はアルカリ性現像廃液を出さず、インプロビアルアルコールを含む洗水水が不要な水なし印刷方式を採用しています。

西武線 沿線施設 マップ



長瀬
上長瀬
親鼻
皆野
和銅黒谷
大野原
秩父
御花畑
影森
浦山口
武州中川
武州日野
白久
三峰口

西武秩父

横瀬

芦ヶ久保

正丸

西吾野

吾野

東吾野

武蔵横手

高麗

東飯能

元加治

仏子

入間市

西武秩父線

飯能



西武球場前

西武園
ゆうえんち

山口線(レオライナー)

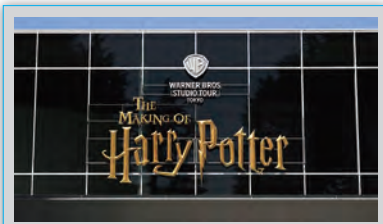
多摩湖

西武立川
拝島





豊島園 庭の湯



ワーナー ブラザース スタジオツアー東京 - メイキング・オブ・ハリー・ポッター
 "Wizarding World" and all related names, characters and indicia are trademarks of and
 © Warner Bros. Entertainment Inc. - Wizarding World publishing rights © J.K. Rowling.



サンシャインシティ
プリンスホテル

Emio



新宿プリンスホテル

西武新宿ベベ



BIGBOX 高田馬場

凡例

- Grand Emio Emio 商業施設
- Nicot 駅チカ保育所
- emiffice EmiCube ワークスペース
- emifit emifit 東久留米 emifit 鷺ノ宮 フィットネス

Seibu Group
でかける人を、ほほえむ人へ。